



# 記事の内容

No.1416 二〇一三年九月十五日

一面 自治労第八十六回定期大会（八／二十六～二十八 大阪城ホール）

地公賃金 政治対応に議論集中

影響力ある運動へ総務省対策を強化

氏家体制がスタート

豊岡公災認定のたたかいを発言

迅速・公平な補償求める

県人事委へ申し入れ（九／三）

総合的見直しは拙速

指定管理で学習会（三田市職労）

サービス低下が懸念

しこう

いまいち座 憤りの押印 大西英剛

二面 県本部第六十三回定期大会基調（要旨）

職場のたたかい持ち寄ろう

組織強化が重要課題

県本部第六十三回定期大会（案内）

No.1417 二〇一三年十月一日

二面 第十五次沖繩視察団（九／七～九）

強まる沖繩切り捨て

沖繩に学び反基地闘争を強化

沖繩視察団参加者の感想

県民の暮らし脅かす米軍基地

米軍を過剰に優遇 政府の愚行知る

えさきさんが単組訪問（九／十一～十三）

職場の現状を聞く

共済労組からは要請書も

県議会に請願書提出（九／二十四）

地方財政の充実求める

しこう

いまいち座 状況はコントロールされている

おやすみ漫

二面 評議会の総会報告①

町職連協（九／十三 佐用町文化情報センター）

課題確認し、新たな一歩

再任用の制度化を

一三確定で全単組が交渉

公共民間協（九／十四 神戸市フルーツフラワーパーク）

仲間の支援が重要

みのり労組の雇用確保へ

日本ヘルス労組と初交流

委託職場の労安などで議論

現業公企闘争統一行動日は二十五日

九月十八日闘争委員会を発足

新規加盟単組紹介

競走会労組尼崎

公正なレース運営に尽力

No.1418 二〇一三年十月十五日

一面 第六十三回県本部定期大会（九／二十七～二十八 神戸市舞子ビラ）

厳しいからこそ団結を

改憲阻止の運動強める

大野、隅田新副委員長を選出

法人格取得へ規約改正

本多委員長あいさつ

働く者の分岐点となる大会

改憲勢力と抗する

県本部組織内候補

しこう

いまいち座 こんなことにならなければよいが…

吉田ノボ

二面～三面 経過報告 雇用確保、賃下げ阻止に奮闘

経過報告で六人が発言

復興支援できる体制を 兵庫県職労 大西代議員

一時金の水準を守る 尼崎競艇労組 小川代議員

控訴審の支援も 豊岡市職労 川端代議員

労使対等にこだわる 高砂市職 石野代議員

不当な扱いは許さない 全国一般兵庫労組 西川

代議員

三年で雇い止めは不当 相生市職 大道代議員

方針で十二人が発言

賃金の復元めざす 兵庫県職労 金本代議員

総合的見直しに懸念 神戸市従 吹田代議員

共済制度の充実を 市町村共済労組 生駒代議員

市民と「平和」考える 明石市職労 船曳代議員

「憲法たんば」で上映会 丹波市職労 堀内代議員

交通基本法制定めざす 神戸交通労組 平田代議員

特養の民営化で交渉 淡路市職労 谷添代議員

組合費の引き下げを 神戸市職労 門野代議員

自主福祉の強化で要請 高砂市職 山下代議員

青年部の活動発言 豊岡市職労 藤原代議員

図書館の直営守る 三田市職労 前川代議員

非正規の雇用守る 丹波臨職労 南代議員

退任役員

新執行部体制

強まる改憲の動きを許さず、平和・人権・民主主義

を確立するたたかいを強化する決議

二単組の加盟承認

南但広域労組・北播磨ユニオン

評議会の総会報告②

青年部（九／十五 ひょうご共済会館）

新部長に藤原さん

「疲弊した職場を変えよう」

臨職評（十／五 神戸市教育会館）

雇い止め阻止のポイントを学習

女性部（九／十五 ひょうご共済会館）

育休の延伸を復元

取り組みの成果持ち寄る

障労評（九／二十一～二十二 神戸フルーツフラ

ワーパーク）

差別解消法を学ぶ

職場で合理的配慮求めよう

公企評（九／二十一～二十二 淡路市）

苦情処理会議の設置へ

但丹Bの組織化へ努力も

滋賀県あいは野で反対集会（九／三十）

オスプレイ来るな！

No.1419 二〇一三年十一月一日

一面 現業・公企統一闘争

明石・新規採用再開へ

直営堅持へ奮闘

苦情処理設置も一定前進

現業・公企闘争総決起集会(十/十五)

人事院報告に備えよう

対県交渉 現業・公企闘争委員会(十/十 神戸市教育会館)

違法の放置許さない

苦情処理、シルバーの実態追及

青年女性交流会

「仕事に誇りを持つ」

要求の根拠づくりが重要

西脇・村井さん 無投票で二期目当選

神戸など全推せん候補が当選

SAYAMAみえない手錠をはずすまで 完成上映会(案内)

しこう

豊岡裁判闘争

二面

「気持ち切り替え頑張る」

十月十六日控訴審第一回期日

働く女性の交流集会(十/二十七 ひょうご共済会館)

無駄な時間を大切に

香山リカさんが講演

部落解放第三十四回県研究集会(十/十九〜二十 豊岡市)

憲法の危機訴える

県、神戸ともに勧告は見送り

県の独自カット回復には触れず

黒豆収穫祭(十/十九 篠山市)

マジック、抽選会など家族も一緒に楽しむ

県本部第三十三回囲碁・将棋大会(案内)

二〇一三年十一月十五日

No.1420

一面 県本部単組オルグで意思統一(十/九〜二十七)

雇用と年金の接続を

賃金抑制許さない

但馬丹波ブロック

阪神淡路ブロック

県市町振興課と交渉(十一/五)

給与削減は今年度限り

企業職員の苦情処理も追及

国会議員へ要請行動(十/二十九)

地域財源を保障せよ

しこう

いまいち座 かくれんぼしてる間に寝てしまい

長谷川昭三

二面 第五十回護憲大会(十一/三〜五 那覇市)

憲法理念を広げよう

沖繩から「平和・人権」を考える

連合兵庫第十四回定期大会(十/三十一 神戸市)

辰巳さんが副事務局長に

地公賃金問題で支援求める

自治労臨職集会(十/二十 東京ビッグサイト)

雇用上限撤廃継続の運動を

秘密保護法案を廃案に

民主主義の根幹ゆるがす

集団的自衛権の行使とセット

県本部書記の紹介 孫可耶さん

二〇一三年十二月一日

No.1421 一面 一三確定闘争勝利 県本部決起集会(十一/八 県庁前)

地公波及に区切りを

賃金削減は三月末で終了

確定闘争第一波

神戸 住居手当の原資確保

青年女性決起集会

町職連協単代会議(十/二十八)

再任用の実施めざす

条例化止まりの実態を改善

特定秘密保護法の廃案求め座り込み(十一/十九〜二十一 三宮マルイ前)

民主主義の根幹ゆるがす

神戸町 山名さん無投票で再選

十一月十二日町長選挙

しこう

二面 いまいち座 氾濫する横文字… 大植賢

三田市職労 図書館の指定管理導入に反対

市民とともに考える

各戸ピラや講演会

高砂市職 ストの要因は当局に

「処分を撤回せよ」

各地域ブロックが総会

阪神淡路(十/三十 淡路市北淡震災記念公園)

非正規の処遇改善を

猪名川、芦屋、尼崎が発言

播磨(十一/一 高砂市)

スト処分の撤回、雇用と年金の接続を

但馬丹波(十一/十五 豊岡市民会館)

地公波及の成果確認

ブロックの連帯で国下回る

No.1422 二〇一三年十二月十五日

一面 確定闘争第二波

地公削減の終了確認

三木は独自カット解除に

青年女性地域別学習会に二六人

三田市 図書館指定管理反対講演会(十一/二十三)

指定管理なじまない

伊万里の盛市議招き講演会

県本部公営競技評・秋季オルグ(十二/三)

労使関係正常化

経営改善が課題

しこう

二面 いまいち座 数の暴挙Ⅱ強権 大西英剛

部落解放兵庫県民共闘会議(十一/十九)

就職差別撤廃申入

統一用紙の活用求める

ネット募集の対応課題

第四回ピース・セミナー(十一/十三・二十)

憲法、労働法制改悪

大衆運動の強化を

阪神淡路ブロックフットサル交流会

女性選手も参加

人権週間にあわせ

反差別のたたかひの運動課題を考える

本人通知を全自治体で

住民の人権守るのは行政責任

新規加盟単組紹介

南但広域労組

組合も役員も初めて

No.1423 二〇一四年一月一日 新年号

一面 自ら活動して他を動かすは水なり

本多委員長あいさつ

処分撤回、組織強化

元氣にかけつけよう

県本部役員・書記一同

二面 「新春座談会」官兵衛飛躍の地ひょうご

地域の発信に奮闘

ドラマ決定の裏側で

新発見、官兵衛の書状

市内あちこちに目薬の木も

官兵衛ゆかりの地(案内)

三面 近畿地連結六十周年カンボジア訪問

教師の育成が必要

自治労支援の寺小屋教室

自治労の国際支援活動

エフアジヤパンと連携

子どもの育ちと学びを支援

私たちも自治労とともに頑張ります

新春クロスワードクイズ

No.1424 二〇一四年二月一日

一面 県本部旗開き(二/九 神戸市・ラッセホール)

力を蓄える一年に

厳しい時代と立ち向かおう

女性部・臨職評合同学習会(二/十九 ひょうご共済会館)

「仕事を頼みづらい」

正規・非正規の思い出し合

高砂市職 四七七分の署名を提出

処分撤回、賃金カット復元求め

県本部春闘討論集會に参加を(案内)

しこう

二面 いまいち座 豆がたりない! おやすみ漫

反行革予算要求闘争(二/二十四)

人員不足を訴える

欠員補充、保育士採用引き出す

第三十三回囲碁・将棋大会優勝者

本因坊 高橋正行さん

名人 丸尾 力さん

「震災とアスベスト」シンポ(二/十八 神戸市勤

労会館)

震災時の状況から今後の課題を検証

書籍紹介

「産業別統一賃金をめざして」

全員署名に取り組もう(案内)

No.1425 二〇一四年二月十五日

一面 二〇一四春闘討議資料

賃上げで生活改善を勝ち取ろう

総合的見直し反対

全単組で取り組み強化

1 二〇一四春闘をめぐる情勢

二〇一四春闘の行動日程

しこう

いまいち座 頑張れ! イクメン 吉田ノボ

二〇一四春闘のヤマ場は三月十四日

2 二〇一四春闘の具体的な取り組み

3 人事院の給与制度の総合的見直し

4 人員確保および雇用と年金の接続

5 臨時・非常勤等職員の処遇改善

6 民間・中小の労働条件底上げ

7 平和・人権・政治闘争の推進

連合兵庫・官公部門連絡会総決起集會(案内)

県本部結成六十年(一九五四〜一九六三年)

賃金闘争の礎を築く

人勧見送り打破した産別運動

No.1426 二〇一四年三月一日

一面 県本部第一九六回中央委員会(二/七 ひょうご共済会館)

しこう

給与制度見直しさせない

春闘方針・六十周年記念事業を承認

全国統一行動日は三月十四日(案内)

県本部春闘討論集會(二/八 ひょうご共済会館)

地域間格差つけるな

賃上げ競争はやめよう

高砂市長交渉(二/十二)

高砂市長より謝罪

労使正常化に向け確認

青年女性部が春闘討論会(二/二)

「不満を要求に」模擬交渉

しこう

二面 いまいち座 だぶるばいんど

二〇一四春闘討論集會分科会報告①

給与制度の総合的見直し

全国で同じ仕事をしていて賃金差は不当

雇用と年金の接続

希望者全員の再任用 格付けの引き上げを

生活実態アンケートから春闘強化を

要求額は二・七〜三・二万円

人員増、労働量の軽減を

阪淡ブロック

播磨ブロック

臨職評 全単組学習合宿(二/二十五〜二十六 篠

山新たんば荘)

悔しかった毎年の試験

財政難で全体討議

震災と心のケアを考えるシンポジウム(案内)

福島の実状から考える公開学習会(案内)

No.1427 二〇一四年三月十五日

一面 二〇一四春闘 井戸知事に申し入れ(二/二十八)

「実効性ある再任用」「非正規の処遇改善」

賃上げにこだわる

公共民間協 春闘学習会(三/一 県本部会議室)

安全衛生の前進へ要求

春闘の取り組み確認

現業闘争交流会(二/十四〜十五 フルーツフラ

ワーパーク)



新規採用の成果共有

統一闘争の中間総括で議論

スト批准投票七三・七二%で成功

県本部は〇・七ポイント増

連合がシンポジウム(三〇/一)

限定正社員導入は賃金労働条件低下に

しこう)

いまいち座 波任せ 長谷川昭三

二面 一四春闘討論集会分科会報告⑦

非正規の処遇改善と組織化

未組織への情報提供

正規との連携が鍵

町職連協の取り組み

町職運動の前進へ

「できること」を模索

統一交渉を振り返る集い 自治研センター・町職連協(三〇/十五)

町村会交渉の教訓振り返る

全国に誇れる制度

県本部結成六十年(一九六四〜一九七三年)

統一行動、ストを重ね

人勤の完全実施を実現

シンボルマークを決定

第二十四期労働学校受講生を募集(案内)

No.1428 二〇一四年四月一日

一面 新入組員へのメッセージ

南あわじ市職労 青年女性部が新入職員に説明会

組合は成長できる場

人事院交渉で一八二万筆の署名提出(三〇/五〜七)

地域間格差の拡大は不当

賃金引き上げへ連合兵庫が集会(三〇/八 東遊園地)

都市交評、春闘学習会開く(三〇/二十 県本部会議室)

交通の必要性訴え取り組み進めよう

豊岡裁判闘争

高裁も「公務上」認める

基金本部 上告断念、判決確定へ

しこう)

いまいち座 使ってるの？使われているの？

大植 賢

二面 戦争をさせない一〇〇〇人委員会 三・二〇出発集

会

「集団的自衛権」の容認反対

地域・職場で全国署名を

県本部 振興課交渉(三〇/十一)

不適切な再任用の運用調査を約束

シンポジウム 震災と心のケア(三〇/九 神戸市)

孤立させないことが大切

県本部結成六十年(一九七四〜一九八三年)

国民生活を引き上げ

職場改善から健福闘争へ

結成六十周年事業の紹介

No.1429 二〇一四年四月十五日

一面 新入組員へのメッセージ

組合を盛り上げたい藤原青年部長

多くの仲間をつくろう

公営競技評 春闘学習会(三〇/二十七 尼崎市)

実態がたまたか根拠

総務大臣・人事院 春闘最終交渉

意見聞き、検討・対応

勧告に向け交渉、行動を強化

二〇一四反行革・組織集会(案内)

第17回平和・人権・環境を考える集い(案内)

しこう)

いまいち座 物価が上がれば人気は下がる大西英剛

戦争をすすめる「集団的自衛権の行使」反対

四・六関西集会

戦争をさせない全国署名で止めることができる

病院集會 衛生医療評(三〇/七ひょうご共済会館)

「年休が権利、知らなかった」

第九回県本部卓球大会(三〇/十五 養父市)

優勝は神戸市職労

県本部結成六十年(一九八四〜一九九三年)

たたかいは楽しく

自分たちが声あげてはじまる

5・3兵庫憲法集会(案内)

六十周年記念事業(案内)

ゴルフロングランコンペの案内

No.1430 二〇一四年五月一日

一面 第二十四期労働学校・前期(四〇/十九〜二十

うご共済会館)

労組や賃金の基礎学ぶ

六月二十七日 臨時大会

法人格取得も確認

第三十一回保育を考えるつどいに参加を(案内)

新制度下で課題山積

戦争をさせない全国署名スタート 一人五筆以上

稲美町長選

古谷博さんが三期目に挑む

連合兵庫

労働保護ルール改悪阻止で訴え

五月十五日は休刊とします(案内)

しこう)

いまいち座 できるか！ STAP細胞？

おやすみ漫

二面 青年女性部 播磨・但丹で春闘期交流会

「定時で帰れるのが当然」

泊りで夜まで懇親深める

県本部青年部 神戸交通労組と交流(四〇/五)

尼崎斎場で職場安全点検(三〇/二十五)

休憩とれない、高温・騒音

県本部結成六十年

阪神淡路大震災からの復興

直営の大切さ実感

六十周年記念事業(案内)

No.1431 二〇一四年六月一日

一面 反行革・組織集会(五〇/十六〜十七 加西市)

組合員の声を要求に

基本はオルグと学習会

分科会 反行革・人員確保

まずは超勤の縮減を

人員要求の実態つかもよう

分科会 男女がともに担う

「三役に女性はいない」

組織実態点検し議論深める

少年野球大会に協賛

「自治労カップ」に三十六チーム出場

加古川市議会選挙

松崎さんを推せん

6月22日投票

稲美町長 古谷博さん

無投票で三選果たす

労働安全衛生集會に参加を(案内)

しこう

いまいち座 俺たちみんなサルだからどうぞ

地球人

二面 五・三兵庫憲法集會(五/三 神戸市勤労会館)

いのちとくらし、平和を守る憲法

改憲でなく、理念の実現を

戦争をさせない全国署名に協力を(案内)

労働学校後期講座(五/十 三木市)

忙しいときほど交流が必要

まんが集団 第二十七回例会(四/二十六)

筆を使った描き方学ぶ

新書記紹介 瀬合 宏江さん

「間違えないよう必死です」

県本部結成六十年(二〇〇四~二〇一三年)

労使協議をしっかりと

合併はスタートまでが重要

No.1432 二〇一四年六月十五日

一面 第一四七回自治労本部中央委員会(五/二十七)

二十八 仙台市)

政治方針 組織討議へ

豊岡裁判からの課題発言

公災制度の改善を

反行革集會の分科会報告

分科会 給与制度見直し

評価制度に議論集中

四月の地公法改正を受けて

分科会 非正規の継続雇用

横行する雇用止め

委託や試験制度、課題を交流

県に申し入れ八月末実施の総合防災訓練(六/三)

米軍参加は中止を

結成六十周年 記念講演会(案内)

しこう

いまいち座ダブルバインド

二面 ナースアクション(五/三十一 私学会館)

過酷な夜勤実態、改善が必要

電車寝過ごし何度も

明石アスベスト災害

公災認定求め支援団体を結成

狭山事件の再審を求める市民集會(五/二十三 東京)

証拠開示と事実調べを

県本部スポーツ大会

出場めざし各ブロックで熱戦

県本部人権学習会(案内)

No.1433 二〇一四年七月一日

一面 第十七回平和・人権・環境を考える集い(六/七)

丹波市柏原住民センター)

政府の安全保障論を批判

沖繩の戦場化を想定

フォーラムひょうご総会・学習会(六/二十一 神戸)

一〇〇〇人委員会を結成

集团的自衛権反対の運動強める

人員確保・男女平等・一時金闘争

重点職場取りあげ交渉

西脇 来年度四十一人採用を確認

加古川市議会選挙(六/二十二)

松崎さん七期目の当選果たす

人事院に要請はがきを(案内)

しこう

いまいち座ためこみすぎないで!! 大植 賢

二面 第三十一回保育を考えるつどい(六/二十二 豊岡市)

子ども・子育て支援制度

現場の思いを支援事業計画に

県本部労働安全衛生集會(六/十七)

「メンタルで休む人多い」

上野さん 予防活動の重要性訴える

臨職評が対県交渉で確認(六/十二)

試験の仕方は工夫を

雇用は協議が必要

戦争をさせない一〇〇〇人委員会

全国署名一七五万筆を提出

国会前阻止行動も継続

第三十六回県本部女子バレーボール大会(六/十四)

丹波市柏原住民センター)

南あわじが見事優勝

No.1434 二〇一四年七月十五日

二面 第六十四回県本部臨時大会(六/二十七 新長田ビ

フレホール)

人勤期のとりくみ強化を確認

新委員長に森蔭さんを選出

副委員長に左川さん、書記長に尾西さん

十一人から補強意見

格差は不当、アスベスト審査請求

再直営化を視野、米軍参加反対

執行委員の確認

県本部結成六十年記念集會

功労者を表彰

広瀬危機管理官が記念講演

しこう

いまいち座 集团的自衛権 憲法解釈容認 「総理、

お先にどうぞ」 大西英剛

「見直し」で二割以上の格差

人事院要請はがき集中を

集团的自衛権 閣議決定抗議

国民ぬきの変更許せない

憲法を守る、関連法阻止

「平和・人権・環境の集い」分科会報告

分科会 地域の平和運動

丹波と明石、反核リレーを紹介

「担い手づくり」などで交流

分科会 集团的自衛権

反動政治状況を検証

一〇〇〇人委員会・ひょうご全単組の賛同団体を(案内)

No.1435 二〇一四年八月一日

一面 七・二九中央行動

人事院「見直し」に固執

はがき行動、交渉を強化

県人事委員会に申し入れ(七/十八)

反対の意見反映

賃金水準確保を

第三十回反核リレーがスタート(七/十六 県庁前)

集团的自衛権は断じて認めない

青年女性中央大交流会(七/十一~十三 山梨県)

職種別分散会で改善点をさぐる

淡路地区保育所学習交流会(七/十五 淡路市)

減り続ける正規保育士

増員、処遇改善を

しこう

いまいち座 こんなものが出てきたおやすみ漫

衛生医療評議会 対県交渉(七/十五)

「医療勤務環境改善センター」は情報交換を

人員確保、労働条件改善へ

第三十六回県本部野球大会(七/五・八 加西市)

篠山八回目の優勝

神戸市従と近畿大会へ

各地域ブロックで新入組合員交流会

阪神淡路ブロック

若年層は低賃金

泊りで交流深める

播磨ブロック

賃金の基礎を学ぶ

夜はバーベキュー

但馬丹波ブロック

縄跳びで汗流す

五十五人が参加

平和・人権・環境の集い分科会報告

分科会 国際結婚にまつわる支援

離婚や親権など相談事例から学ぶ

明石海峡ぐるり〜んクルーズ(案内)

No.1436 二〇一四年八月十五日 人事院勧告特集号

一面 人事院勧告と報告

職員の給与等に関する報告

月例給・一時金七年ぶり増も

「給与制度の総合的見直し」を一方的に勧告

声明 公務員労働組合連絡会

二面~三面 人事院勧告と報告(二面の続き)

四面~五面 行政職棒給表(二)

六面 行政職棒給表(二)

七面 人事院勧告と報告(二面の続き)

八面 給与等に関する報告の骨子

No.1437 二〇一四年九月一日

一面 一四人勤と課題④

地公の賃下げ狙う

一四確定期は、ベア実施に全力

第十六次沖繩視察団(七/十一~十三)

防衛局が工事強行

辺野古新基地建設反対へ支援と行動を

「第三十回自治労水週間」でツアー(八/六 神出

浄水場)

浄水の流れを学ぶ

平和の火リレー到着(八/六)

県内自治体を八〇〇人が走り抜く

しこう

いまいち座 「起承転結」 吉田ノボ

但丹ブロック 七月に公企評を結成

三六協定締結、議長に吉谷さん

尼崎市バス民間移譲問題

「真摯に対応」を確認

第三十六回自治労近畿地連スポーツ大会(八/四~

五 京都市)

神戸市従が全国大会

南あわじ、篠山は惜敗

各ブロックで職場安全点検

阪淡ブロック

ポルトや夜間照明(水道)

安全衛生委の開催(給食)

播磨ブロック

廊下に物が多い(病院)

清掃は台風接近で中止

但丹ブロック

結露対策を(水源地)

台車の改良必要(給食)

県本部まんがコンクール募集中(案内)

\* \* \* \*

ネットワーク情報

No.141 二〇一三年十二月二十日

「高砂市職不当処分撤回」を求める決起集会(十二

月十七日)

労使対等の原則を無視するな!

決議文

# 自治ひろこ

1416号

2013. 9. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円  
購読料は組合費に含まれる。  
自治労兵庫県本部  
書記長/森藤 守 / 編集人/西岡 裕

## 当面の日程

- 16日 第4回男女がともに担う県本部委員会(県本部)
- 18日 現業公企闘争委員会(県本部)
- 20日 公企評第15回総会(津名ハイツ)
- 21日 第30回自治体に働く障害労働者のつどい(フルーツフラワーパーク)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部  
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920  
E-mail:hyogo@pchiro-hyogo.jp

## 自治労第86回定期大会

# 地公債金に議論集中 政治対応に議論集中

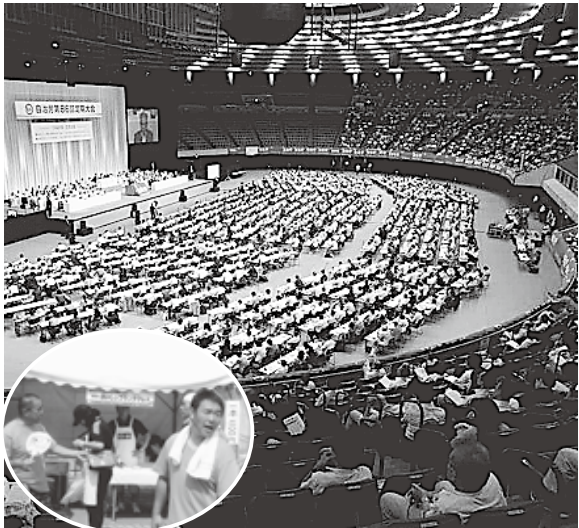
## 影響力ある運動へ

# 総務省対策を強化

8月26、28日自治労第86回定期大会が大阪城ホールで開催され、今後2年にわたる運動方針などを決定した。大会討論では、国の要請による地公債金削減阻止のたたかいについて議論が集中。本部に対し国会、総務省対策、取り組みの強化を求めた。本部は、引き続き未実施自治体へのペナルティを行わせないよう取り組みなどと答弁した。また、1日目終了後、大阪府本部の主催で、自治の未来を「劇場型政治」から取り戻す大阪集会所が開催され、大会参加者も合流し、公務員を敵視する維新の会、橋下市長らの政治手法を批判、堺市長選挙で勝利をめざすと決起した。

## 氏家体制がスタート

自治労第86回定期大会にも圧倒的多数で可決された。第1号議案の014「15年度運動方針案」は5つ議員(副委員長)が、運動方針に関連し豊岡公災認定代議員の多くは、全国統一闘争として取り組んだ、国の要請による地公債金引き下げ強要に対する取り組みについて触れ、本部に対し「国総務省の対策強化などを求めた。また、政治情勢については、「民主系離脱・社民党支援」を継承しつつ他政党に所属する議員とも課題」と連携を模索する



全国から4400人が結集。現評の仲間が屋上で盛り上げた(左)

一闘争として取り組んだ、国の要請による地公債金引き下げ強要に対する取り組みについて触れ、本部に対し「国総務省の対策強化などを求めた。また、政治情勢については、「民主系離脱・社民党支援」を継承しつつ他政党に所属する議員とも課題」と連携を模索する

との「今後の政治対応について」にも議論が集中した。代議員からの発言に対し、本部は地公債金に強化、政治対応については従来のスタンスが基本と答弁した。

## 総合的見直しは拙速

### 県人事委へ申し入れ

県本部は、9月3日県人事委員会に対し、今年度の勧告に向けて、県職労ととも申し入れを行った。冒頭、本多義弘委員長から、青山善敬人事委員長に対し「出店を呼びかけ、県本部は現評の仲間が、フロンティアを出店し販売した。」

え、以下のとおり申し入れ見解を求めた。  
①人事院は、給与制度の総合的見直しを報告したが、給与の構造改革完了後2年しか経過しておらず、拙速といわざるを得ない。  
②「技能労働の給与のあ

## 迅速・公平な補償求める 豊岡公災認定のたたかいを発言



発言する谷副委員長

豊岡市の公務災害認定の取り組みは、02年5月の発生から11年が経過した。被災者の家族や当該労組、県本部で「支える会」を結成し、支える体制をつくった。認定申請から棄却まで7年という歳月はあまりにも長すぎる。公務災害認定の本旨ともいえる「迅速かつ公平な補償」とは、かけ離れている。

10年10月に行政訴訟を起こし、今年6月25日に地裁で「勝利判決」を勝ち取り、家族は「夫の無念を晴らすことができた」と、思いを述べている。しかし、基金本部はこの判決を不服として、高裁へ控訴し、10月には第1回期日がはじまる。公務災害認定申請に対する本部としての取り組み強化を要請する。

## しこう

人生とはわらんもんだ。40年前、公務員になったときは土木部長ぐらいにはなりたいと思っていた。そんなとき、1人の先輩役員が「人よ上の生活をめざしたらエエ。でもなあ、お前が上がるとで位く者が2人3人おとることを忘れたらアカンで」といった。その一言が自分の生き方を変える転機となった▼以降、公務員生活26年、組合役員生活31年である▼「労働者は義務と権利がある。義務は仕事をこなすことで果たせるが、権利は自分が知ろうとしない限り手にしない理由に見直してきているが、引き下げは容認できない。③県の団体会は、県内自治体のほか他団体にも大きな影響を、あるべき地公債金増額を告発し人事院報告に追随することのないよう求める」と要請した。

## サービス低下が懸念 指定管理で学習会

### 三田市職労

三田市は、6月議会まで労使が直営堅持を確認していた、図書館に指



業務の重要性を訴える組合員

定管理者制度を導入する一方向的に表明した。組合はもとより、図書館の利用者ら市民も寝耳に水の状況。三田市の図書館を考える市民の会」が結成され、急遽、請願署名が取り組まれ、8月末からの短期間で2700筆を集約した。

この情勢を受けて、市職労は、8月22日に市内で「指定管理者制度について」学習会を開催し82人が参加した。講師の菊地憲之・県本部執行委員は、先行事例をあげ、サービス低下が懸念され、職員の雇用問題にも波及すると指摘した。

最後に、図書館の組合員は、「同規模自治体で三田市が貸し出し冊数など2位。司書の業務は、全国本を貸すだけでなく、積み重ねた経験で、利用者が求

## いまいち座

不審な行動

憤りの押印



大西 英剛  
(兵庫県職労)



# 職場のたたかい持ち寄ろう



労働者間の連帯である春闘を強調している。その上で、労働者間の連帯である春闘を強調している。その上で、労働者間の連帯である春闘を強調している。

## 組織強化が重要課題(第63回大会)

### 活発な大会論議を

県本部は9月27、28日、第63回定期大会を開き、大会基調では、3つの柱から重点課題をあげている。

1つは、「職場組」を起点とした組合運動の再構築。「仕事の高度化、責任と労働密度が高まる中、賃金労働条件のみならず、働き方をサポートし、場合によっては個人的なトラップに対する「世話役」を務めることを、労働組合の役割として改めて位置づけるおすことを提起、あわせて、単組運動と産別組織を強化することとしている。

### 新しい公務員制度の実現と生活改善及び賃金闘争の取り組み

連合自治労が、民主党政権のもと、労働協約締結権や消防職員の団結権などを求めることをめざし、公務員制度改革関連法案は、昨年11月の衆議院解散により廃案となりました。公務員給与に引き上げ圧力が強まり、公務員給与と勤務条件は致命的影響を受けかねない状況にあることを改めて認識する必要があります。

### 平和人権環境を守る取り組みと脱原発の推進

政府自民党は、憲法改正の発議要件緩和のため憲法第96条改正をめぐり、その第9条の改正、国防軍の創設、集団的自衛権の行使を自論しています。現行憲法の基本理念である平和主義を堅持すべく、憲法改正、憲法解釈の変更をさせない取り組みを強化し、また、普天間基地の即時返還など、在日米軍基地の縮小撤去を求め、平和

### 産別組織の確立と強化

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

### 団結を強め未来を切り開こう 県本部第63回定期大会

とき 9月27、28日 / ところ 舞子ピラ神戸

あけている。格差是正のためには、当事者の参画とともに、正規、非正規がともに問題解決に向かう体制が必要不可欠としている。臨時非常勤等職員の組織強化に、改めて組織の総力をあげて取り組むとしている。

### 反地方草率反合理化を要求し人権保障の拡充、職員の権利安全衛生を働き、職場づくり

小泉構造改革は、民間委託の賃金切り下げや自治体による人員削減を推し進めた。以降、地方公務員数は減り続け、兵庫県内市町では、2011年までの5年間で399人(11.9%)も減少しています。公共サービスの民間委託や民営化は、地方自治体や責任者に押し付け、提供責任の放棄に止まらず、受益負担者目で住民に新たな負担を求め、非正規労働者の拡大にもつながります。

### 安心・安全信頼の社会保障制度の確立と住民の健康と福祉を守るたたかい

正雇用への転換促進施策の拡充と、安定雇用確保を求めなければなりません。臨時非常勤等職員は行方不明の提供に欠くことのできない重要な担い手です。臨時非常勤等職員の処遇改善と安定雇用の確立は、自治労全体の大きな課題であり、全単組での具体的な行動が必要です。

### 産別組織の確立と強化

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

### 公共サービス労働者の総結集の取り組み

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

府自民党は、生活保護水準の切り下げを強行した上に、普天間基地の抑留について社会保障給付の抑制を明言しています。安易な社会保障給付の抑制に反対し、持続可能な社会保障制度を構築するため、財源の確保、積極的な社会保障政策を推進します。

### 安心・安全信頼の社会保障制度の確立と住民の健康と福祉を守るたたかい

少子高齢化、人口減少、高齢者世帯、単身世帯の急増に加え、社会保険の適用から排除されている派遣・非正規労働者の増加など、強化が必要です。経済社会の安定・成長の基盤として安定雇用は不可欠な要件です。雇用の基本は「期間限定」を原則とし、

### 産別組織の確立と強化

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

### 公共サービス労働者の総結集の取り組み

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、

### 産別組織の確立と強化

今年6月の都市交との組織強化を組織強化に引き続き、地域公共サービス労働者の結果を展望し、さらなる連帯強化をはかり、県本部は「組織強化拡大のための12年次推進計画」を策定し、











# 雇用確保、賃下げ阻止に奮闘

## 経過報告で6人が発言

復興支援できる体制を  
兵庫 大西代議員

東日本震災における職  
員の復旧復興応援派遣が長  
引く中で課題を発言す  
る。兵庫県においても台風  
の度重なる襲来や、ゲリラ  
豪雨などにより被害が拡大  
し、復旧作業が滞っている。  
一方、県財政の悪化を背景



にした行革によって、人員削減が進んでいる。職員への負担はますます増加してきており、1000時間を超える超過勤務を行う職員もいる。当局に人員増や超過勤務対策が必要だと求めているものの抜本的な改善には至っていない。被災地派遣後の職場の人員不足など、災害時におけるマンパワーの充実が全国の課題。改善策を本部にも働きかけてほしい。▼(答弁)人員確保競争の取り組みを強化する。本部の要請も強めていきたい。

一時金の水準を守る  
尼崎 小川代議員

売上げの減少に歯止めがかからず、当局との交渉が大変し辛い状況にある中で、当局は一時金の年間日数覚書に必ず5575日から端数の0.75を切り捨てて回答してきた。粘り強く交渉を重ね、年間5575日支給日を遅らせることなく勝ち取ることができたが、依然厳しい状況は継続する。

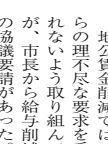


現状を守ることも難しい情勢。取られる前に食い止めるために引き続き本部のよきアドバイス、支援をお願いしたい。▼一時金闘争の取り組みに敬意を表す。引き続き県本部も支援していく。



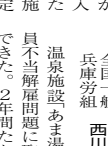
控訴審の支援も  
豊岡 川端代議員

豊岡裁判闘争は、みなさんの協力のおかげで、原告側の主張をほぼ認めてもら



労働対等にこだわる  
高砂市職 石野代議員

地公賃削減では、国からの理不尽な要求を受け入れないよう取り組んでまいり、市長から給与削減実施の協議要請があった。一定



不当な扱いは許さない  
全国一般 西川代議員

温泉施設あま湯の組合員が、市長から給与削減実施の協議要請があった。一定



きたが、3月に労働委員会で和解した。残念ながら職場復帰はならなかったが会社に対して一定責任を認めさせることができたこと



にわたって働いている人もいる。業務のペタランとして行政サービス的重要な役割を担っている職員もいる。しかし、相手は09年に臨時職員の雇用期間を最長3年として、10年の採用者から更新者も含めて3年で雇止めという姿勢に出してきた。実際に容赦ない首切りにあった仲間もいる。私たちは組合加盟し、夏期休暇や通勤手当などが、前足を勝ち取っているが、3年雇止め問題は平行線のまま。臨時職員の安定した雇用の実現を勝ち取ったためか。▼臨職評と連携しながら県本部全体で取り組む。

# 見直しを許さない

## 生活・労働条件を守るろう

### 方針で12人が発言

賃金の復元めざす  
兵庫 金本代議員

人事委員会闘争に取り組んで。現状と課題について発言する。

県職労は、6年目になる賃金カットに加え、地公賃金の削減が行われても賃金削減の回復を何としても実現したい。現給保障止や50歳後半の賃金抑制は、国が実施する中、県は先送りしてきた。これはを引き続き守っていくことが求められている。今回人事院が示した総合の見直しは、地域間格差の拡大、技能労働賃金

要請行動を県内の仲間要請したい。▼県の勧告は市町への影響大きい。引き続き支援する。

総合の見直しに懸念  
神戸市職 吹田代議員

人事院報告は、アベノミクスが民間賃金引き上げに、たいした効果をあてていないことを示している。「総合の見直し」の検討は、現実職場の委託化、賃金引き下げの推進につながる恐れがある。こうした動きは、自民党の意向を受けた地方公務員賃金に対する攻撃であることが分かる。先日、神戸市の人事院報

請する。▼総合の見直しは、本部に結果してたたかいて進める。神戸市長選挙は県本部も推せんを決定して取り組みを進める。

共済制度の充実を  
市町村 生駒代議員

公務員パッシングを背景に市町村共済制度の改善が進められている。その情勢と課題について発言する。

市民と「平和」を考える  
明石 船場代議員

県本部の平和運動、脱原発、護憲の取り組みに敬意を表するとともに、明石での運動を発言する。

「憲法たんば」で上映会  
丹波 堀内代議員

反戦平和運動を強化する立場から、憲法たんばの活動を報告する。

退任役員  
坪田真樹 委員長  
谷 克哉 副委員長  
辰巳信彦 書記次長  
原新本 執行委員長  
大村成行 執行委員長  
高松市 執行委員長  
市来地 執行委員長  
野白瀬 執行委員長  
北村幸浩 執行委員長

市町村共済制度の改善が進められている。その情勢と課題について発言する。医療保険に係る短期給付の抑制や保険費の移行などが閣議決定されている。しかし、短期財政の4割が高

自らの市民が来場した。人労党は、集団的・衡権の行使など、戦争参加への動きを強めている。平和の危機にあるとの認識のもと、取り組みを続ける。▼取り組みに敬意を表する。県本部も平和フォーラムなどに結果して取り組んでいる。脱原発も精いっぱい取り組む。

丹波市職労は、県本部沖繩視察団に毎年参加しているが、観光と異なる学びがある。沖繩の問題を身近なものとして捉えるために続けたい。▼地域の取り組みに敬意を表する。沖繩視察は今年も実施した。現地で実態をたがいに触れることは大切

着している。特に映画上映は、タイムリなものを中心が、8年間で11本、累計3200人が参加している。10月1日には、原発事故の実相を離れ「フタバから速く離れた」を上映する。ぜひ参加を。

業者と比較される中、「自らの職場は自ら守る」という信念のもと意識改革を行ってきた。労働組合として「安全・安心・信頼の1声運動」などを行い、市民のイメージ向上にも努力している。しかし行革の流れは止まらない。私たちは「市場原理だけでは交通政策はなし得ない」との立場で、自然環境や高齢者子どもも移動保障などを行政の責任として明確化させる「交通基本法」制定を働きかけている。▼自治体に動く仲間として、一緒に取り組みを進め

その後、臨職評など関係者で部会を立ち上げ、交渉を行ってきた。民営化は阻

### 新執行部体制

執行委員長  
本多 義弘 (神戸市職)

副執行委員長  
大野 義政 (県職労)

服部 圭司 (南あわじ市職労)

宮本 誠之 (明石市職労)

隅田 龍 (豊岡病院労組)

書記長  
森 守 (宍粟市職労)

書記次長  
西岡 裕 (直属)

執行委員  
上月 茂敬 (県職労)

森 哲二 (県職労)

中本 光一 (神戸市職労)

青木 慎吾 (神戸市職)

酒井 正美 (宝塚市職労)

戎 剛 (淡路市職労)

岡田 義之 (小野市職)

岡部 一成 (相生市職)

吉田 一正 (八鹿病院職組)

立立 幸雄 (稲美町職)

北川 寿一 (福山市職)

吉田 秀夫 (明石市職労)

三宅 一茂 (宝塚市職労)

澤本 明 (県職労)

長谷 敬太 (神戸市職)

早瀬 淳一 (社保労連兵庫)

山本三千子 (加東臨職労)

温井 昭彦 (尼崎市職労)

藤原 敏也 (豊岡市職労)

藤原 潤子 (明石市職労)

鎌浦 利恵 (尼崎競艇労組)

津村 崇夫 (みのり労組)

徳山 銃造 (全国一般兵庫労組)

加地 幸夫 (神戸交通労組)

尾西亮太郎 (三田市職労)

秦 信昭 (直属)

会計監査委員  
橋本 維文 (三田市職労)

松尾 雅史 (加古川市職労)

川端 啓介 (豊岡市職労)



その後、臨職評など関係者で部会を立ち上げ、交渉を行ってきた。民営化は阻

# 総合的

## 強まる改憲の動きを許さず、平和・人権・民主主義を確立するたたかいを強化する決議

昨年12月の衆議院選と本年7月の参議院選で勝利し、国会の「ねじれ」を解消した自民党・安倍政権は、憲法改憲への動きを強めている。自民党がめざす憲法改「正」の狙いは、2012年4月に発表した「憲法改正草案」に見て取れる。

「憲法改正草案」全体を通した特徴は、①国民の義務を大幅に拡大し、権力に制限をかける「立憲主義」を否定して憲法の変質をはからうとしている。②個人の自由や権利の上に「公益及び公の秩序」という国家の利益をおき、基本的人権に制約をかけようとしている。③戦力の不保持と交戦権の否認を定める憲法9条2項を変え、戦争ができる国への変質をはからうとしていることである。

これらは、基本的人権の尊重、民主主義、平和主義を根拠とする憲法の三大原則に基づき、戦後、私たちが培ってきた価値観を徹底から覆すものであり、到底認めるところではない。

安倍政権は当初、憲法改正手続を定めた96条改「正」をめざしたが、それを拙速とみるや、今度は内閣法制局長官を交代させ、速憲とされた集団的自衛権を政府見解だけで変更する解釈改憲に踏み切ろうとしている。憲法改正の厳格な手続きを省き、国の根幹を変えようとする卑劣な動きも断じて許してはならない。

一方、尖閣諸島をはじめとする領有権の問題や、政府関係・国会議員の「侵略戦争の定義は見る方向により異なる」「従軍慰安婦は必要だった」など、歴史認識を歪曲する発言により、近隣諸国との関係は悪化している。政府はこうした動きを背景に11年ぶりに軍事費を増大させ、年末には「防衛大綱」を見直すと言っている。また、政府の姿勢は、在日外国人への排外主義を表面化させ、関係者に恐怖と怒りを与えるばかりか、長年にわたって地域で培ってきた信頼関係を壊そうとしている。差別と排除の論理は、沖縄の切り捨て、生活保護受給者への監視、公務員攻撃につながっており、差別的な政策を許さないたたかいをつくりあげていくことが求められている。

日本国憲法は、第12条で、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」と述べている。政府・自民党が国民の自由や権利を奪おうとするなら、私たちは職場・地域で基本的人権を確立するたたかいを強めなければならない。公務員労働者の労働基本権も、反動的な情勢下であっても私たちの当然の権利として、その実現に向け全力をあげることが必要である。

日本国憲法は、第12条で、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」と述べている。政府・自民党が国民の自由や権利を奪おうとするなら、私たちは職場・地域で基本的人権を確立するたたかいを強めなければならない。公務員労働者の労働基本権も、反動的な情勢下であっても私たちの当然の権利として、その実現に向け全力をあげることが必要である。

自治労兵庫本部は、「憲法改正草案」の問題点の学習に取り組むとともに、在日米軍基地や原発による人権侵害とたたかう仲間との連帯を強め、職場・地域で平和・人権・民主主義を確立するたたかいに全力をあげるものである。

以上、決議する。

2013年9月28日  
自治労兵庫本部第63回定期大会



左上から時計回りで、森藤書記長、服部副委員長、平瀬執行委員、大倉宣言を讀む山本執行委員

決議を提起する

### 組合費の引き下げを神戸市職労 門野代議員

今年度は退職手当引き下げや地公賃金削減が問題となり、市職労では、大型組合費や決起集会などを取り組み、退職手当では経過措置を1年ごとにさせ、地公賃金とでは、削減幅の縮小など成果をあげてきた。しかし、組合員の生活は非常に厳しくなっている。

### 自主福祉の強化に要請高砂市職 山下代議員

高砂では、共済基本型の加入率が削減維持して、しかし県内の加入率は11%程と低く、県本部、

### 青年部の活動発言市職 藤原代議員

青年部を代表して発言する。合理化は職場の中に表れるものであり、青年部では通常の取組に力を入れている。5月には、「合理化の

### 図書館の直営守る市職 前川代議員

当局は来年4月から図書館を指定管理で運営しようとしている。労使で「直営

### 南但広域労組2単組の加盟承認

大会では、南但広域行政事務組合労働組合と北播磨総合医療センター職員ユニオンの県本部加盟を承認した。代表してあいさつした南但広域労組の清水武志委員長は、「まだわからないことばかり。組合員の力を合わせて頑張りたい」と決意を述べた。

### 非正規の雇用守る丹波 臨代議員

今年4月、市内で一番大きい倉庫センターが委託になった。当局は以降順次委託する計画がある。直営の方が経営がからぬ。直営の方が委託を進めていく。これに伴い、臨時職員が「余剰」になると、15年度末で全員の雇止めが提案されている。私たちが正規と同じ仕事をしたいが、

差の拡大、技能労働職賃金の引き下げなど、問題だらけ。到底納得できるものではない。国に追随した勧告を行わないよう求めている。しかし現状で人事委員会

先日、神戸市の人事院報告が行われた。十分な労使協議と合意に形づくりに努力してほしい。あわせて、国による給与削減強要を許さないたたかいを強化する。神戸市長選が控えている。神戸市選は久えきそうさんを推して取り組んでいく。組合を重視し、公務労働を民間に委ねるような市政にはしてほしい。仲間のみなさんの支援を要

か、短期財政の4割が高齢者医療への支出となっており、個人参加も可能な「Pネット明石」と改名した。本年は「Pネット」を別に行っている。これは別に、95年から続く「明石平和の集い」がある。05年には大きな平和イベントにしよう、名称を「Pネット」に変更して、今年も福島の現状などを訴え、1200

し、市内の各種団体や労働者医療への支出となっており、個人参加も可能な「Pネット明石」と改名した。本年は「Pネット」を別に行っている。これは別に、95年から続く「明石平和の集い」がある。05年には大きな平和イベントにしよう、名称を「Pネット」に変更して、今年も福島の現状などを訴え、1200

動を報告する。06年に昇職賞、篠山市職労、丹波市職労、当時のJ-P労組丹波支部などで結成した。以降、年2〜3回の映画上映や講演会を企画し、組合員だけでなく市民と一緒に学べる場として定

### 交通基本法制定めず神戸交通 平田代議員

神戸市交3単組を代表して本大会で都市交評議会議を設立していただき感謝する。これまでの都市交連動を継承しつつ、産別統合の成果を発揮していきたい。公営交通は絶えず民間事

### 特養の民営化で交渉淡路市 谷添代議員

淡路市には、直営で運営している特別養護老人ホー

△福祉の里があるが、12年6月の議会で14年4月に民営化する方針が示された。組合は、福祉の里に働く約80人の職員の出退、特に3分の2を占める非正規職員の雇用保障について、また、高齢者や障害者など利用者へのサービス保障について回答を求めたが、当局は管理運営事項と交渉に

△福祉の里があるが、12年6月の議会で14年4月に民営化する方針が示された。組合は、福祉の里に働く約80人の職員の出退、特に3分の2を占める非正規職員の雇用保障について、また、高齢者や障害者など利用者へのサービス保障について回答を求めたが、当局は管理運営事項と交渉に





# 自治ひろこ

1419号

2013. 11. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森藤 守 編集人/宮本誠之

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920

E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

## 当面の日程

- 8日 秋期闘争勝利！青年女性決起集会 (兵庫県民会館)
- 8日 2013確定闘争勝利！地方財政確立をめざす！ 県本部決起集会 (県庁前オアシス)
- 13日 第4回 ビース・セミナー第1講義 (神戸市勤労会館)



宮本副委員長をはじめとする県本部交渉団

対県交渉  
**違法の放置許さない**  
**苦情処理、シルバークロスの実態追及**

県本部現業公企闘争委員会は10月10日、神戸市教育会館で市町振興課等と対県交渉を行った。その後、現評は教育委員会、公企評は関係部局と交渉を行った。

振興課交渉では、「人事院報告に明記されている技能労働職の見直しなどについては各市町への助言

は行わないこと」を重点課題とし訴えた。賃金労働条件の決定は、労使合意が前提であることを改めて確認した。

「昨年からの継続課題であった介護職員の職の位置付け問題は、「現業職」行政で位置付けは各団体の判断」と無責任な回答であった。市町への助言は、再度調査等を行い、助言することを確認した。

清掃センターの広域化の問題では、センターの統合により、雇用問題が生じていることから、県としてしっかりと指導を行い、労使協議が成るよう求めた。

県教育委員会関係部局の交渉では、淡路市学校用務員に恒常的なシルバークロスを認める問題を追及。県教委は違法性を認識しながらも、「市の判断」と回答したため、引き続き協議の場を設定することを確認した。

公企評と関連部局との交渉では、篠山市で苦情処理調整会議未設置のまま公企職員への処分がなされた事例をあげ、県内の多くの自治体で未設置となっている実態の是正を求めた。これに際して、36協定のない現業が横行しているなど、当局が各種法令を守っていない実態を追及した。

# 明石 新規採用再開へ



統一闘争に向け決起集会を開いた

**直営堅持へ奮闘**  
**苦情処理設置も一定前進**  
 現・公統一闘争

2013現業公企統一闘争が10月25日、1時間ストを背景にたたかれた。県内では、42単組が要求書を提出、15単組がストを配置した。「直営堅持」「苦情処理調整会議の設置」などを重点課題に25日未明まで粘り強い交渉が続いた。尼崎、明石で新規採用の方向性を確認したほか、高砂で苦情処理調整会議を設置するとの回答を引き出した。統一闘争前段には、闘争委員会主催で決起集会を開催した。

## 人事院報告に備えよう

10月15日、現業・公企統一闘争に向けた総決起集会を県民会館で行った。人事院が現業賃金の引き下げと民間委託の推進に言及する中、新規採用の実現、現業・公企労働者の権利確立に全力をあげることを確認した。県内から集まった37単組232人を前に、現業評議会の長谷川克彦議長は、「書面協定はまだ3割程度。権利いかしたたかいかい、何としても新規採用を勝ち取ろう」と述べた。続いて公企評の松井茂二副議長は、「ほとんどの自治体で苦情処理調整会議が未設置の状況を改善させよう」と呼びかけた。決意表明は、現評、公企評、臨職評の代表が行った。行(II)給与の適用問題に取り組みできた西宮水防の中野公紀さんは、「この間の取り組みで一定の成果を引き出してきたが、差別賃金であり、今後も改善を求め続ける」と述べた。

## 「仕事に誇りを持つ」

青年女性交流会  
**要求の根拠づくりが重要**

総決起集会の前段、青年部、女性部は現業公企闘争交流会を開いた。産別闘争として取り進む現業公企闘争の意義を呼びかけ、15単組25人が参加した。

尼崎は交通局の民間移管との課題を抱えながらも、欠員は正規補充との方向性を引き出した。10年をわたって現業職員の採用が凍結されていた明石では、現業職場の将来像について交渉を重ね、15年度から採用を再開することを確認した。

今年度、重点課題に付け加えた苦情処理調整会議の設置では、高砂が調整会議未設置の状況で処分が実施されることの問題を指摘。当局は「設置する。内容は組合と協議したい」と述べた。

**SAYAMA**  
 みえない手錠をはずすまで

**完成上映会の案内**

50年を迎えた狭山事件。石川さんの無実をより多くの市民に知ってもらおうとドキュメンタリー映画が製作されました。上映会への申込、各地域での上映活動をお願いします。

完成上映会  
 2013.11.12(火) 2014.1.13(月)  
 各日第1回 開場14:00 上映14:40~  
 第2回 開場17:30 上映18:10~  
 兵庫県民会館県民ホール

問い合わせは県本部まで

**西脇村井さん**  
**無投票で2期目当選**

神戸市を金推せん候補が当選  
 10月27日投票で行われた神戸市長選各町選区において、県本部推せん候補5人は全当選を果した。新人5人の争いとなった神戸市長選は、「新しいス

組織内の村井さん

テージの神戸」をつくらうと訴えた久米元が、候補(元副市長)が、16万1889票を獲得して激戦区で初選を果した。西脇市選の組織内の村井正信候補は、合併以来初の投票で2期目の当選。南あわじ市選選の森上ゆうじ候補は13万7千8百83票で3期目の当選。豊岡市選選の新温泉町選選の中村茂候補は7万7千4百44票で初選を果した。

「特定秘密保護法」▼参議院でも絶対多数を占めた安倍政権は、国民を縛る恐ろしい法案を投げかけた。1国家安全保障会議「設置法案」セツトである▼「特定秘密保護法」案は、外交防衛など安全保障に関する情報のうち、特に漏えいし日本の安全に著しい支障をおおせられるものを、一定期間「特定秘密」に指定し保護する法案だ。情報を漏らした場合、最大で懲役10年の罰則が科せられる▼この背景には「日米安全保障協定がある。日米が締結した一軍事情報包括保護協定では、軍事情報保護制度は、改革が掲げられていた▼憲法は国民主権を基本原理としているが、国民の知る権利や「報道の自由」は民主主義の根幹である。市民が如割られる可能性がある▼憲法改正手続きのため「国民投票改正」法案成立にも意欲を燃やす安倍政権を思い通りにさせてはならない。「脱原発の取り組み」のように国民運動で制定を食い止めるたがいが急務となっている。

**出発点とし、取り組みを積み上げてきた。12月には闘争委員会を開き、総括論議を深める。**

県本部は7月から現業・公企の闘争態勢を確立し、職場単組の要求づくりを行った。

青年部長は、「私の職場(建設)では、道路補修を直

講義を行う村上さん

当で行っているが、これ以上人員減ると大変」と述べ、統一闘争で新規採用を勝ち取ることの大切さを訴えた。

講演は、現業評議会の村上誠事務局長が行い、尼崎の職場改善や組織づくりの取り組みを話した。村上さんは、学校校務員の学校間における技術格差をなくす研修、循環型社会と働き方を見つめ直し、新規採用を再開させる成果などが取り組みを報告。「自らの仕事に誇りを持ち、人員要求する根拠をつくること重要だ」と訴えた。

「特定秘密保護法」▼参議院でも絶対多数を占めた安倍政権は、国民を縛る恐ろしい法案を投げかけた。1国家安全保障会議「設置法案」セツトである▼「特定秘密保護法」案は、外交防衛など安全保障に関する情報のうち、特に漏えいし日本の安全に著しい支障をおおせられるものを、一定期間「特定秘密」に指定し保護する法案だ。情報を漏らした場合、最大で懲役10年の罰則が科せられる▼この背景には「日米安全保障協定がある。日米が締結した一軍事情報包括保護協定では、軍事情報保護制度は、改革が掲げられていた▼憲法は国民主権を基本原理としているが、国民の知る権利や「報道の自由」は民主主義の根幹である。市民が如割られる可能性がある▼憲法改正手続きのため「国民投票改正」法案成立にも意欲を燃やす安倍政権を思い通りにさせてはならない。「脱原発の取り組み」のように国民運動で制定を食い止めるたがいが急務となっている。





# 自治ひろこ

1420号

## 当面の日程

- 19日 仕事と生活の調和フェスタ (兵庫県公館)
- 20日 第4回 ビース・セミナー第2講義 (神戸労働会館)
- 23日 連合兵庫女性委員会第23回定期総会 (兵庫労働福祉センター)
- 連合兵庫青年委員会第24回定期総会 (ラッセホール)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部  
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920  
E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

2013. 11. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円  
購読料は組合費に含まれる。  
自治労兵庫県本部  
書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

## 地域財源を保障せよ

### 10月29日 国会議員へ要請行動

2014年度の予算編成時期を迎える中、地方交付税総額を確保し、安心できる社会保障制度の確立などを求める地方財政確立中央行動が10月29日、取り組まれた。全体集会を開いた後、参加者は国会議員への要請を行った。



星陵会館で行った決起集会

の冒頭、公務労協の田中地公部会議長は、「地域を守るのは私たち。高齢化時代を迎え、益々福祉が重要になる。地域財源を確立させよう」とあいさつした。

民主党、社民党など政党代表者も激励に駆けつけた。民主党の原口一博衆議院議員は、「公務員の労働基本権回復が地域と人権を守るために必要」と訴えた。

兵庫県本部からは、宮本誠之副委員長をはじめ6人が参加。「地域の財政需要を把握したうえで地方交付税の確保を」と参議院議員に要請を行った。

## 雇用と年金の接続を



市川町職でのオルグの様子

## 賃金抑制許さない

### 県本部 単組オルグで意思統一

秋学期の課題を意思統一するための単組オルグを、県本部は10月9、27日にかけて行った。人事院は勧告を見送ったが、地公賃金削減によるカットの復元や雇用と年金の接続などが重要な課題だ。また来年度には大幅な賃金合理化が狙われており、今確定からの闘争を繰りくりも問われている。県本部は10月15日と22日にヤマ場を設定して交渉を行う。なお神戸市労連は14日、県職労は27日にヤマ場を迎える。

### 但馬波ブロック

但馬ブロック秋学期の取り組みについては、10月16、18日にかけて現業協議会主催による現業学習会を開催し、現業公企闘争の推進に向けた意思統一を行った。学習会では各単組の要求書提出状況や独自課題について報告を受けることも、統一行動日には全国の仲間と運動するため最低でも時間外職場集会を開催することを確認した。また、篠山市当局による現業賃金合理化提案がされるなど、現業賃金引き下げ攻撃が強

## 給与削減は今年度限り

### 企業職員の苦情処理も追及

#### 県交渉

県本部は11月5日、県市町振興課と定期の交渉を行い、地方公務員給与削減の未実施自体への引き下げ

要請を行わないことをはじめ、数点の課題について検討を要する。給与削減については、現時点で国からの動きはないことや今年度限りの情報があるとの見通しを示した。県本部は法で定めた3月の終了を強く要請した。再任用制度の導入について、5団体が未制定であり、条例化に向けて助言しているが実施できる制度設計が必要だと早期の自治体への対応を要請した。苦情処理調整会議の設置については、助言していくとしたが、「企業職は「不服申し立てができない」との



確定闘争の課題を追及した

### 阪神淡路ブロック

阪神淡路ブロックでは、10月14日に阪神地区(北、南の2班)、10月23日に淡路地区のオルグを行った。



阪神人事協に申し入れを行った

まず県本部から、人事院報告の骨子ならびに現業公企統一闘争、賃金確定、一時金闘争の課題などについて説明した。特に、今闘争の重点課題として、来年4月からの無年金期間に対応するための新たな再任用制度の賃金(労働条件)の確保、そして人事院報告で触れられた「給与体系の総合的見直し」について提起し

県本部副委員長を先頭に単組オルグを実施し、闘争課題を意思統一した。但馬波地域においては新温泉町以外に再任用制度が条例上整備されているもの、これまで適用はほと

んどなく、新規採用との兼ね合いもあり、交渉が進展していない状況となっており、雇用と年金の確保を接続するためにも早急な対応が必要となっている。

### しこう

今年の賃金確定一時金闘争もまた、県本部は15日と22日に統一行動を配置している▼このところのフベノ

淡路地区の4単組は、再任用規程がこれまで運用されていなかったことあり、今闘争での取り組みの強化を確認した。続いて、各単組から独自の課題について報告を受けた。尼崎市職労の課長補佐は、係長級の管理職手当廃止の案を提出し、三田市職労の図書指定管理者導入、宝塚市職労の賃金カット提案、西宮市職労伊丹水防の上下水道統合、南あわじ市職労の清掃センター職員配置など、各単組が直面する課題に対する具体的な取り組みについて、共同体制の確立を確認した。

見解を示したため、引き続き協議を進めていく。東日本大震災に関わる長期派遣者の健康管理については、県市と情報共有に努めるとともに派遣職員との意見交換や健康管理について通知しているとし、臨時非常勤の年金支給年齢引き上げに伴う雇用延長については、現行制度を前提に対応するとしたため高齢者雇用安定法の趣旨を遵守するよう強く求めた。

## いまいち座

かくれんぼしてる間に寝てしまい



長谷川 昭三 (兵庫県職労)



第50回護憲大会

憲法理念を広げよう

沖繩から「平和・人権」を考える

憲法理念の実現をめざす 第50回大会(護憲大会)が11月3・5日、沖縄県那覇市内で開催され、1200人が参加。改憲阻止や日米軍事演習の全国化の問題などを討議した。

開会にあたって平和フォーラムの福山真劫代表は、集団的自衛権をめぐる動向に「今こそ大衆運動の強化を」と怒りを込めてあいさつした。

人権、いのち―憲法と沖縄をテーマにしたシンポジウムには、琉球大学の島袋純教授、琉球新報社の与那嶺路代記者、報道カメラマンの國吉和夫さんが登壇。復帰後も安保体制の

もどで米軍の占領は継続している「日本の立憲主義は人権が法前に存在しない」と話した。

2日目は「非核、平和、安全保障」「憲法」など7分科会と3つの交流ひろば、そして2つのフィールドワークで交流を深めた。東京新聞編集委員の半田滋さんは、非核、平和、安全保障の分科会で、「尖閣の状況を見て米海兵隊は抑止力になっていない。嘘だらけの政府に、そのことを認めさせる必要がある」と強調した。

最終日には、憲法をいかに運動を全国で展開することを確認した。



自衛隊の現状や秘密保護法の危険性を語る半田さん

秘密保護法案を廃案に

政府は、10月25日、「特定秘密保護法案」を閣議決定し、臨時会で審議がはじまった。知る権利が侵害され、民主主義の根幹に触れるにもかかわらず、多くの部分でこれほど曖昧な法律案はない。

本法案は、国家安全保障会議(日本版NSC)設置法案とセットとして成立させ、集団的自衛権を具体化する「国家安全保障基本法案」への流れをつくらうとするものであり、憲法理念を法律でねじ曲げ、平和主義をなげがしるに、戦争への道を開くものである。

また、憲法91条「表現の自由」の条文は、広くはこの「国民の義務に止まり、公務員への厳罰

を強くする国家ほど、戦争をたやすくてできる国家あることは疑いようもない。

多くの反対の声がある中で知る権利や報道の自由といった言葉が挿入されたが、それも努力義務に止まり、公務員への厳罰

規定とともに、市民の利益が侵害される可能性が極めて大きい。問題点をいっかがあける。

①秘密の範囲が、政府の恣意的判断で広がりかねない。特定秘密に「公共の安全および秩序の維持」の概念を差し込み、国

にされ、また秘密にされる期限が限定されず、無期限非公開などの措置を可能にし、「秘密にされたまま、担当省庁の判断で廃棄され、歴史的記録からも消される可能性がある。

③公務員には懲役10年の最高刑が示され、国民の不利益に対する内部告発などは全く不可能になる。公務員に対する報道機関の取材も制約され、結果として国民の知る権利が侵害されるおそれがある。

このように、私たちが「特定秘密保護法案」に反対する理由は枚挙に暇が無い。

民主主義の根幹ゆるがす 集団的自衛権の行使とセツト

家の無制限な恣意的判断を許している。特定秘密を指定するものが当該行政機関と関係していることからすると、重要な国家情報

の取材も制約され、結果として国民の知る権利が侵害されるおそれがある。

④国会議員の全てに情報共有の義務を課す。憲法91条「表現の自由」の条文は、広くはこの「国民の義務に止まり、公務員への厳罰

を強くする国家ほど、戦争をたやすくてできる国家あることは疑いようもない。

多くの反対の声がある中で知る権利や報道の自由といった言葉が挿入されたが、それも努力義務に止まり、公務員への厳罰

規定とともに、市民の利益が侵害される可能性が極めて大きい。問題点をいっかがあける。

①秘密の範囲が、政府の恣意的判断で広がりかねない。特定秘密に「公共の安全および秩序の維持」の概念を差し込み、国

にされ、また秘密にされる期限が限定されず、無期限非公開などの措置を可能にし、「秘密にされたまま、担当省庁の判断で廃棄され、歴史的記録からも消される可能性がある。

③公務員には懲役10年の最高刑が示され、国民の不利益に対する内部告発などは全く不可能になる。公務員に対する報道機関の取材も制約され、結果として国民の知る権利が侵害されるおそれがある。

県本部書記の紹介



孫可耶さん

10月に県本部書記として採用された孫可耶さん。県本部には、08年に共済兵庫支部のアルバイトとして働きはじめ、自治研センターや総務などを担ってきた。

「休みの日はボーとするのが好き」という孫さん。大学卒業後、2年間、韓国に語学留学していた。両親の強い勧めもあって留学したが、「行ってよかった」と話す。孫さんの母方

の親せきは、釜山にいて、「言葉の壁があつて子どもはあまりコミュニケーションがとれなかった。言葉を学ぶことで、親せきとの関係も深まった」と喜びをみせる。「日本で育ったが、韓国に行くことになったとき、県本部から少し離れたお気に入りのうどん屋さんまで、たまに運出するのが密かな楽しみとのこと。

県本部では、総務、青年部、女性部を担当する。

辰巳さんが副事務局長に 地公賃金問題で支援求める

10月31日神戸市内で第14回定期大会が開催され、新・信彦前書記次長が選出され会長に辻治前事務局長、一



副事務局長に選出された辰巳さん(右から2人目)

来賓あいさつでは、神戸市長に当選した久元さとうさんがお礼と「生まれ育った神戸のために、全身全霊で仕事にあたりたい」と決意を述べた。質疑では、左川忍神戸市役委員長から神戸市長選のお礼、宮本誠之県本部副委員長からは、給与削減に対するたたかいへの引き続き協力、地方議員の推薦などについて差別

地協の協力体制構築へ助言を、公契約条例の制定と非正規の組織化、処遇改善の取り組みへの協力、支援を要請した。

と運動の進め方を交流し、自治労内外に発信し、世論喚起をはかるために開催」とあいさつ。パネルディスカッションは「自治体や記者の立場から雇止めを考えよう」と、朝日新聞記者や福岡市図書館司書、長崎県職労のメンバーで行われた。取り組みは①賃金労働条件の取り組み②組織拡大③兵庫からは山本三千子臨職労事務局長が市町振興課交渉の取り組みを報告した。

Advertisement for 'Jichirou Mycar Kyosei' (じちろうマイカー共済) featuring a superhero character and text about 'Standard Type' (標準型) insurance benefits.

# 自治ひろこ

1421号

2013. 12. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

## 当面の日程

- 2日 2014春闘勝利! 自治労青年女性中央春闘討論集会 (自治労本部)
- 6日 第2回県本部代表者会議 (東京グリーンパレス)
- 6-7日 連合第17期「女性リーダー養成講座」基礎編 (ラッセホール)
- 7日 第33回自治労兵庫県本部囲碁・将棋大会 (共催会場)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920 E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

## 民主主義の根幹ゆるがす

### 特定秘密保護法の廃案求め座り込み



政府の情報統制につながり、民主主義の根幹をゆるがす特定秘密保護法案の国会審議がヤマ場を迎える中、「法案反対」を訴える座り込みがひょうご憲法集会実行委員会(事務局)自治労の呼びかけで行われた。11月19日から3日間、三宮マイン前で午後3〜5時まで実施。延べ150人が参加した。

「国民の多くは反対している。政府はその声に耳を傾けてほしい」と参加者は訴えた。

「私たちが知る権利を守れ」と街頭から声をあげた



統一行動日に向け取り組むことを確認した

## 地公波及に区切りを

### 賃金削減は3月末で終了

#### 13確定闘争勝利 県本部決起集会

県本部は11月8日、13確定闘争勝利! 地方財政確立をめざす! 決起集会を県庁前で開き、47単組650人が参加した。今確定闘争で①地公賃削減措置を3月末で終了させること②雇用と年金を確実に接続させることなどを統一課題として確認した。また、各ブロック代表からは、賃金独自カットの撤回や図書館の指定管理者制度導入反対などの決意表明があった。

## 確定闘争 第1波 神戸

## 住居手当の原資確保

13確定闘争第1波統一行動日の15日を背景に多くの単組で交渉が行われた。県職労は13日の交渉でも独自カットの回復は非常に困難。現給保障の廃止、高給層の昇給停止、昇格制度改善に加え、6級への任用上の措置廃止も含めて検討

冒頭、特定秘密保護法や原発輸出など、政治情勢に触れた本多義弘委員長は、「人権や生活を脅かす安倍政権のたたかいが求められている。確定闘争、地財確立といった目前の課題を

とこの当局回答に対して、27日のスト通告を行い再検討を求めた。

神戸市労連は11月14日の最終交渉で、住居手当の持ち家費を500円引き下げ7200円に、賃貸分は1900円増の1万1400円として原資分を確保し持ち家の手当を守った。

川西3単組共闘は14日の最終交渉で、一時金の役職加算の5%、8%に1%加算(今限り)、夏期休暇5日に削減(現8日)は、

当分の間7日に縮小で、断腸の思いで妥協した。全体的には、第2波統一行動に向けて交渉を強めている。

## 再任用の実施めざす



午前中に決起集会を行った

10月28日、町職連協は県本部会議室で単代会議を開催し、今確定闘争で再任用条例の運用をめざすことを確認した。

例年、10月末に現業企業の中間総括と確定闘争の意思統一を目的に2日間の日程で交流集会兼単代会議を開催していたが、今年は台風23号の影響で急きょ日程を延期し、単代会議のみとなった。

県内12町の最大課題は高齢者再任用の制度をどう構築し、運用するか。現在

運用できているのは猪名川町の現業職員のみ。条例未制定の町は、まず今年度中に制定させ、運用がまだの町は、県の運用内容を参考にしながら定期的に賃金労働条件をつめていくと確認した。

神河町山名さん 無投票で再選

11月12日町長選挙 神河町長選挙が11月12日に告示され、組織内の山名さん(無投票)が再選も待たない。

## 青年女性性 職場で行動しよう

県本部決起集会の午前、青年部女性部は兵庫県民会館で、秋季闘争勝利! 青年女性決起集会を開催した。集会には30単組85人が集結し、確定闘争やマ場の向け「賃金労働条件改善のため、青年女性性行動しよう」と全体で確認した。

開会にあたって青年部の藤原敏也部長は、「本確定闘争は我々の今後を占う上で大切なたたかい。若者も関心を持ち、みんなと力を合わせて頑張ろう」とあいさつ。来賓には県本部の本多義弘委員長がかけつけた。

女性部の前垣志穂書記長より基調提題の後、青年部より平瀬書記長が10月28日の町振興課交渉の内容を報告。「1残業デーを理由に超勤手当を支払わない問題については、青年部として申し入れを行い、市町振興課も自治体が違反してはいけないが、単組もきっちり動いてもらわないと変わらない」と呼びかけた。

## いまいち座

氾濫する横文字...



大植 賢 (豊岡市職労)

## しこう

先日同窓会があった。地元の小中学校の同級生で、中学校も他小学校からの合流はなく、9年間小・中1校だけのアットホームな環境でほぼ全員の名前をフルネームで覚えていた。男子達、女子達と呼び合っていた頃は速く残っていたが、どこかに面影が残っている。あちらの男子グループはゴルフの話をしていて、ボギーやスコアがどうとか話しているが、ルールがわからないので笑って聞く。こちらの女子グループはダイエットの話をしている。これ興味がある。「春から3ヶ月やったのよ」「どうやって」「1ヶ月で定年退職してずっと家にいるストレッチでやせたのよ」女子会言うなすく▼2013年度以降、年金の報酬比例部分の支給開始年齢が60歳から65歳へと段階的に引き上げられる。おまけに平均寿命は延びているので、貯蓄額では不安だ。年金満額支給まで定年延長で働いてもらうこと。家庭円満と家の健康のため、家庭円満で留守がいい」とは男子達に失礼か。



# 市民とともに考える



ピラまき前段に状況報告を行った

## 各戸ピラや講演会

### 図書館の指定管理導入に反対

三田市職労

三田市職労は、市立図書館への指定管理制度導入に反対する取り組みを続けている。図書館は、2011年1月、労使で「直営を堅持する」と確認したにもかかわらず、当局が一方的に破棄した状態となっている。指定管理の意義や必要性等具体的な議論がなされないまま、導入に向けた手続きだけが強引かつ拙速に進められており、市民に対しても、いまだ十分な説明は行われていない。

同労組は、この間、県本部や阪神淡路ブロックの各

## 「処分を撤回せよ」

### 高砂市職 ストの要因は当局に



11月21日に処分撤回を求めた決起集会が行われた

単組、また地域の民間労組等に呼びかけ「市立図書館を守る」実行委員会を立ちあげ、啓発ビラの配布行動や、講演会の開催など、市民とともにこの問題を考

えようと取り組んでいる。市民ピラ配布を行った17日、図書館組合員の仲間ら、「指定管理の契約は5年、長期的な視点にたった資料収集がでなくなるなど、市民にも大きな影響がある」と参加者に訴えた。市当局は12月議会で指定管理者の承認を認めるとしていた。三田のたたかいは支援を。

高砂市職は、現在、「処分撤回」と一方的な賃金カットの復元を求めてきた。高砂市当局は、6月4日国からの給与削減要請を受け、9・77%と5年層に配慮しているにも関わらず一律削減という提案は市職として受け入れがたいものであった。労使合意の得られないまま一方的に削減案を議会に強行提案するとして

けん入れるとして職員一律7・5%削減の給与削減提案を行なった。国は4・77%と5年層に配慮しているにも関わらず一律削減という提案は市職として受け入れがたいものであった。労使合意の得られないまま一方的に削減案を議会に強行提案するとして

## 各地域ブロックが総会

### 非正規の処遇改善を

#### 猪名川、芦屋、尼崎が発言

阪神淡路



新役員に選出されたメンバーがあいさつ

後、活動会計報告、方針予算案の提起を行い、意見質疑を受けた。単組からの発言として、猪名川臨職労の民間委託さ

れた学童保育事業を再直営化した取り組みをはじめ、三田市の市立図書館への指定管理制導入反対の取り組み、尼崎臨職労組の様々な合理化提案とのたたかい、芦屋指導員労組と尼崎嘱託労組からは臨時非常

## スト処分の撤回、雇用と年金の接続を

播磨 播磨ブロック定期総会は11月1日に高砂市内で32単組85人の参加で開催した。

冒頭、宮本誠之議長が「地公賃金7・8%カット問題において、高砂では市長が頑なに考えを変えず、職員賃金を一律引き下げたため、ストを実施しなければならなくなった。スト実施に対して9月には処分を撤回した。処分撤回に向

けて、各単組の取り組み要請をお願いし、今回の確定は、まず7・8%カットについては約束しており来年3月に止めさせなければならぬ。また雇用と年金の接続が重要となっていく。と、かく希望者全員の雇用を確保し、国公4級再任用賃金をめざした取り組みをお願いしたい」とあいさつした。

活動報告、方針案に対して「スト処分に対して撤回を求め、取り組みを進めて

## 地公波及の成果確認

### ブロックの連帯で国下回る

但馬丹波

但馬丹波ブロックの第43回定期総会が11月5日に豊岡市民会館で開催され、全体の拍手で運動方針を原案どおり可決した。

総会冒頭、三宅労働議長は「今年の地公給与削減問題では拙速な妥結は行わないことを確認し、ブロック共闘一致団結した取り組みにより国の削減率を下回る妥結結果を得ることができた。私自身今日の総会で議長は退任するが、今後もブロック内全単組が一体と

なった取り組みを推進しなければならぬ」と主催者を代表してあいさつを行った。また総会では川端啓介豊

岡市職労代議員より公務災害認定闘争への更なる支援要請がされた。

今回の役員改選ではブロック議長に豊岡病院労組の隅田龍二さんを、副議長に豊岡市職労の山本陽一さん、八鹿病院職組の村上泰啓さん、朝来市職労の村上泰啓さん、丹波市職労の森本英行さん、事務局長に事務局より秦信昭さんを選出し、今後2年間の新体制を確立し、隅田新議長の団結ガンパローで総会を終了した。

新議長に選出された隅田さん

じちろうマイカー共済は『標準型』から

自治労共済本部

詳しくは組合までお問い合わせください

ベースは『標準型』

組合員とその家族に手頃な掛金で安心を提供する「じちろうマイカー共済」の基本補償が「標準型」。この「標準型」をベースにさまざまな特約や割引、車両損害補償などを組み合わせ、よりニーズにあった補償にできます。







# ネット募集の対応課題

## 就職差別 統一用紙の活用求める



景気が低迷、新卒者の就職も厳しい状況が続いている。そして今なお、就職差別が繰り返されている。そのような中、11月19日、部落解放同盟兵庫県連合会とともに、就職差別の撤廃を求め、兵庫労働局へ要請を行った。

親の職業などの公正採用選考に抵触する質問があれば、

## 憲法、労働法制改悪 大衆運動の強化を 第4回 ピース・セミナー

憲法ひよここと平和友好祭が共催して、第4回ピース・セミナーが11月13日、20日に行われた。

第1講座は「安倍政権下の改憲動向」と題して、憲法、兵庫会議の中西裕三さんが問題提起した。憲法審査会の始動など、「安倍総理は第1次政権時にやり残した課題を着々と進めている」と指摘、「集団的自衛権容認など、戦争する国づくりに対して市民の声をあげよう」とまとめた。

第2講座は、労働法制改悪をめる情勢を森博行弁護士に学んだ。安倍政権が狙う雇用制度改革として、

①正社員改革(ジョブ型正社員)②労働者派遣法制度の見直し③解雇ルールその他規制緩和をあげた森さんは、年明け早々には具体的な改悪案が示されるとして、「雇用破壊を許さない運動を」と呼びかけた。

近年、新規採用の減少と

権意識に旧態依然の対応がうかがえ、「統一応募用紙」の活用を求めた。市町の人事担当者会議で、本郷地や家族の状況を聞くことは平等取扱いに反する点検査促しているとした。

企業は、労働局の説明会に参加し、採用担当者の人権意識を高めているが、一部の自治体では、人権意識を高めるが、

ネット活用が進められつつあるが、ネット活用が進められつつあるが、

ネット活用が進められつつあるが、

ネット活用が進められつつあるが、

ネット活用が進められつつあるが、

## 人権週間にあわせ 反差別のたたかひの運動課題を考える

県本部は平和人権環境委員会、反差別のたたかひの強化に向けて議論を重ねている。今回、12月の人権週間にあわせ、本紙で「本人通知制度」通知制度の意義と課題を考える。

## 本人通知を全自治体で 住民の人権を守るのは行政責任

県本部は平和人権環境委員会、反差別のたたかひの強化に向けて議論を重ねている。今回、12月の人権週間にあわせ、本紙で「本人通知制度」通知制度の意義と課題を考える。

05年4月、兵庫県の行政書士が興信所と結託し、不当に戸籍謄抄本や住民票を取得していた事件が発覚した。興信所は、取得した個人情報や結婚や就職時の身元調査に用いていたのである。弁護士ら8士業(有資格者)は、職務上、第三者の個人情報

を請求する権限を持つが、これを悪用(偽造請求用紙の使用)した事件だった。11年には、28人の有資格者が有罪となる個人情報大取得事件(プライバシー事件)が発覚。個人情報が大比ヒネスとなり、組織的に売買されている実態が

浮き彫りになった。犯罪や人権侵害からどう市民の個人情報を守るのか、市町村が防止策を検討する中で、狭山市が通知制度に踏み切ったのである。兵庫は、全国的に出遅れたものの、13年12月現在で20自治体が採用している(表参照)。

「個人情報の持ち主は本人である」との認識を深めることも重要である。プライバシー事件では、有罪となった有資格者に個人情報を取られた住民(被害者)に、通知制度のあるなしに関わらず「被害告知」に踏み切る自治体も少なくない。

県内の全自治体で通知制度を実施させよう。

県内の導入自治体	
姫路市、相生市、豊岡市、木津川市、西脇市、三木市、加古川市、三田市、三木市、市川町、香美町、加東市、川西市、福崎町、新温泉町、丹波市、多可町、福崎町、新温泉町	岡市、三篠山、朝来、稲美、三木市、加西市、丹波市、多可町、福崎町、新温泉町

中であんなに少なくなった。2人とも前に勤めていた民間会社には組合はなく、賃金なども会社の一方的に決められていた。施設はおそらく、現場で働いている人の意見を聞いてつくられたものではなく、いろいろ具合の悪い所が出ていた。リサイクルセンターのヤードが狭いし、作業車のタイヤがノールながら使っている。焼却場の夜間勤務は、今は委託になっているが、2年後には戻ってくる。また賃金も朝来と養父を比較し、低い方を使用している。

賃金や人員、職場の働く環境の問題など、いろいろなことがある組合も初めて、役員も初めてだが、全員で話し合いを要望をまとめていきたい。

## 新規加盟単組紹介 南但広域労組



清水委員長と水谷書記長

南但広域労組は8月29日に結成したばかりの組合。組合員は「ごみ処理施設」に勤務し、ごみの焼却とリサイクルを朝来、養父の両市からの派遣職員と一緒に行っている。

施設の稼働は4月、正規は12月と2月に、嘱託は3月に採用された。両市の現評からの呼びかけがあり、集まって説明を受けて組合を結成した。

## 組合も役員も初めて

中であんなに少なくなった。2人とも前に勤めていた民間会社には組合はなく、賃金なども会社の一方的に決められていた。施設はおそらく、現場で働いている人の意見を聞いてつくられたものではなく、いろいろ具合の悪い所が出ていた。リサイクルセンターのヤードが狭いし、作業車のタイヤがノールながら使っている。焼却場の夜間勤務は、今は委託になっているが、2年後には戻ってくる。また賃金も朝来と養父を比較し、低い方を使用している。

賃金や人員、職場の働く環境の問題など、いろいろなことがある組合も初めて、役員も初めてだが、全員で話し合いを要望をまとめていきたい。

## フットサル交流会 女性選手も参加

阪神淡路フットサルは、フットサル独自のフットサル交流会を行ってほしいとの申し出を受け、2000年にサッカー交流会を開催した。4単組ではじめての交流会は年々参加単組数が増え、6年目は交流会から大会へ移行した。

開催場所は、阪神間では押さえにくく、主に淡路地域で開催していたため、10年には「サッカー以外に淡路地域も交えた交流をした」との要望から宿泊交流会も兼ねた大会も行った。近年、新規採用の減少と

仕事量の増加で、サッカーの人数が落ちる傾向にあるため、13年度からフットサルに移行し継続していくことになり、初の交流会を11月16日に開いた。年齢や運動量も加味しながら1試合15分間のみ5単組総当たり戦で実施した。

フットサルは比較的に参加も多かったことから、今後の女性の参加や他単組へ呼びかけを強める。



洲本が優勝した

### じちろう マイカー共済

カーライフを応援する、頼れる補償

**1** 長期間、無事故の優良ドライバーなら最大22等級・64%割引  
※原付自転車を除きます。

**4** 休日・夜間を問わず、24時間365日安心のサポート体制

**2** 組合員ならではの職域掛金と10%の団体割引で掛金負担を軽減!

**3** 安心が広がる! 掛金がさらにおトクになる! さまざまな特約・割引制度

なるほど納得!

詳しくは組合までお問い合わせください

**全労済** 自治労共済本部

全日本自治労連 兵庫支部 共済本部



# 地域の発信に奮闘

## ドラマ決定の裏側で

天才軍師 黒田官兵衛。彼がいなければ豊臣秀吉の天下統一はなかったともいわれている。2014年のNHK大河ドラマは「軍師官兵衛」だ。彼の生誕地であり、一族の家老から天下人の軍師へと飛躍する舞台となった兵庫県には、官兵衛ゆかりの地が多数ある。そして自治体ではドラマを機に、地域文化再発見に向けた啓発や、住民参加の町づくりが行われている。ドラマの舞台裏で、自治体職員が奮闘している。新春座談会では、官兵衛ゆかりの深い、姫路市、加古川市、伊丹市から参加をいただき、思いをうかがった。

宮本 今年もよろしくお願ひします。1月5日からスタートするNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」では、官兵衛の生誕地である兵庫県が重要な舞台となる。各自自治体で、私たちの仲間が何を思い、どんな風に奮闘しているのか、一般誌(紙)とは違った角度から取りあげたい。まずは、各市と官兵衛の関わりを聞かせていただきたい。

中村 伊丹は官兵衛を有岡城に幽閉した地として知られていて、あれは学術上も異論があるが、便乗している観はあるが、12年10月、午後6時のNHKニュースで「大河ドラマに官兵衛決定」と報じられると、時間外にも聞けず市民から7、8本の電話がかかってきた。「伊丹は何をやるんや」と。市民の中に意識しているのか。市民参加の取り組みは？

宮本 面白い企画として、姫路のお城祭りとして、市内の黒田さん96人集まっていた英賀合戦をイメージして「かんべえん

## 新春座談会 官兵衛 飛躍の地 ひょうご



柿本 英夫さん

姫路市職、「官兵衛の人間性を育んだ姫路を知ってほしい」



中村 明日香さん

伊丹市職、「官兵衛と村重の関係を学術的な視点で発信したい」

中村 匡希さん

加古川市職、「ドラマをきっかけにふる里意識を向上させたい」



宮本 誠之さん

県本部副委員長、教官



## 新発見 官兵衛の書状

### 市内あちこちに目薬の木も



かんべえん

店舗が並んでいる。商店の方と協力して地域の名産を開発・宣伝したり、自分たちの住んでいるところは有岡城の中だよ」と知ってもらうため、P.T.Aと協力してスタンラリーを企画している。そういう意味では、大名家になってからは、村重の歴史の深さを共有し、市民が発信するきっかけにした。また、官兵衛を通して、他の自治体の方との交流が増え、刺

宮本 幽閉に異がある？ 重は、茶人で有名なので、抹茶の菓子も販売している。最近では、市民の方が外に出掛ける時、「伊丹はこんなところだよ」と地元の名産を土産に持っていることもある。市民自らが町をアピールする姿が嬉しく思う。

中村 志町町では、「光姫の会」が発足し、1月26日に光姫の花嫁行列を再現する。地元中学生が光姫役をする。中村 13年の秋以降、取材が多くなって休みがほとんどない。タダで伊丹を全国発信できるの、いいが……

私自身、有岡城のそばに住んでいるし、仕事では有岡城の発掘調査に関わって

切れた。大河ドラマの力を痛感した。13年4月からは民間企業により月2回のツアーに事業化され、特に今年1月から3月までは毎週開催される。

宮本 苦労したこともあろうか？

中村 かんべえんの着く本に入るときもある。真夏には酸欠状態のようになることもある。

宮本 県内の組合員の方々にも各市を訪れてもらいたい。でも、担当者のお勧めポイントは何？

中村 姫路の場合はやはり大河ドラマの世界を体感できる大河ドラマ館。天井が8m、中央には4mの物見櫓が並び、従来に無い大きなスクリーンを味わってほしい。姫路城の歴史館とセットでぜひ見てもらいたい。

外せないのが広雲神社。歴史ある神社でこの重要文化財でもある。ここで重と一箱に家伝の目録を売った。昨年10月にドラマ化が決定し、市内の官兵衛ゆかりの地を巡る記念ツアーを発表した。2時間売り

中村 私も休日出勤が増えた。子ども小さいので、寂しいことも。もともと歴史が好きなので楽しい。観光客も増えて甲斐はあがるが、初めてのことばかりで苦労も多い。仕事を通して、光姫への愛着が深まった。

中村 幽閉に異がある？ 重は、茶人で有名なので、抹茶の菓子も販売している。最近では、市民の方が外に出掛ける時、「伊丹はこんなところだよ」と地元の名産を土産に持っていることもある。市民自らが町をアピールする姿が嬉しく思う。

中村 志町町では、「光姫の会」が発足し、1月26日に光姫の花嫁行列を再現する。地元中学生が光姫役をする。中村 13年の秋以降、取材が多くなって休みがほとんどない。タダで伊丹を全国発信できるの、いいが……

私自身、有岡城のそばに住んでいるし、仕事では有岡城の発掘調査に関わって

## 官兵衛ゆかりの地

### 有岡城跡(伊丹市)

戦国時代末期の天正2年(1574)、武將・荒木村重が伊丹氏に替わって伊丹城の領主となり、大改築を施したのが有岡城。侍屋敷、町屋を堀と土塁で囲んだ惣構えの城で、難攻不落の名城とうたわれた。

### 観音寺(加古川市)

曹洞宗寺院で本尊は観世音菩薩。官兵衛の妻・光が生まれた楠橋家の居城・志方城がかつてここにあった。現在の観音寺の境内を本丸とし、内堀の周囲に二の丸、西の丸が考えられる。

### 広隆神社(姫路市)

奈良時代に吉備備前が創建した歴史ある神社で、国の重要文化財に指定されている。官兵衛の祖父・重隆は、広隆神社で御師と呼ばれたにも関わらず、神社の神符ともうらないの目薬を売ってもらうことと財を成し、黒田家の礎を築いた



てるひめちゃん

宮本 大河ドラマの後ろで、自治体職員が活躍する姿がよくわかった。忙しいとは思いますが、健康気をつけて下さい。







# 自治ひょうこ

1424号

2014. 2. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円  
購読料は組合費に含まれる。  
自治労兵庫県本部  
書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

## 当面の日程

- 31日 自治労結成60周年記念レセプション (東京・帝国ホテル)
- 2日 県本部青年女性2014年春闘討論集会(共済会館)
- 7日 県本部第196回中央委員会(共済会館)
- 8日 県本部2014春闘討論集会(共済会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部  
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920  
E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

女性部・臨職評  
合同学習会

## 「仕事を頼みづらい」

### 正規、非正規の思い出し合う

女性部と臨職評の合同学習会が1月19日、ひょうこ共済会館で開かれた。6回目を数える学習会には、22単組45人が参加。地方自治総合研究所の上林陽治研究員の講演に学んだ。上林さんは、2005年以降の自治体正規、非正規の動向を分析した資料に基づき、課題にふれた。

教員職場では、05年以降臨時を含めて定員を満たさばいように制度変更がなされ、臨時が担任、クラブの顧問を担う現状になっている。事例を紹介し「限界集落」という言葉があるが、公務員職場は「限界職場」になりつつある。そして公務員職場の非正規化は、社会の矛盾を象徴している」と懸念を示した。

この間、正規が非正規に置き換えられてきたが、職別に異なる保育所、学校

ディスカッションでは、職場で起こる日常的な事例を取り上げ議論した



あいさつする本多委員長。えさき参議員(右上)もかけつけた

給食の非正規率が高く、「そのうした職場では民間委託も進んでいる。非正規と委託はコインの表裏の関係にある」と説明した。

最後に「組合がある職場では、時給や昇給がいい」と述べ、運動への期待を強調した。

職場や組合で生じる問題をディスカッションで取りあげ、全体で議論した。テーマは、①臨時職員にも1時金、退職手当の支給を②仕事は忙しいが、非正規の人に頼みにくい、の2点。



①では、「次小の裁判後、一時金が賃金に振り分けられた」「一時金がないのはおかしい」と怒りだして主張して当局は聞き入れない。基本賃金の改善も視野に取り組みたい。②では、「正規と同じように働いてもらわない」と困る実態がある。「保育士は、正規、非正規もまったく同じ労働。労働条件の差は、働きづらさになってきている。など」の意見が出された。それぞれの討論で上林さんから助言をもらった。

## 力を蓄える1年に

### 厳しい時代と立ち向かおう

県本部旗開き

新年のスタートを切る県本部新春旗開きが1月9日、神戸市内のラッセホールで開かれた。本多義弘委員長は、「厳しい時代が下を向いていてはいけません。たまたまを楽しみつつも1年間頑張ろう」と呼びかけた。旗開きには、組織内のえさき参議員議員をはじめ、多くの来賓が駆けつけた。県内46単組91人を含む152人が参加した。冒頭、あいさつに立った本多委員長は、今年1月24日で県本部結成60周年を迎えることになり、1組合員が参加でき

きた取り組みを企画している。県本部を運営していくためにと述べた。また、退職手当や地公賃削減攻撃、そして秘密保護法成立といった政治情勢の右傾化など、2013年の動きを振り返り「私たちが力を蓄える1年にしよう」と訴えた。特定秘密保護法の強行採決への怒りを表したえさきさんは、「戦争する国にしたいじゃない。力いっぱい頑張る」と決意を述べた。

## 477人分の署名を提出

### 処分撤回、賃金カット復元求め

高砂市職

高砂市職の「処分撤回と一方的な賃金カットの復元」を求めたたなかを支援するため、播磨アロックスは12月17日、高砂市南庁舎会議室において「不当処分撤回闘争決起集会」を開催した。

集会を機により、高砂市当局から、「市長交渉を交え交渉を行う。」と設定する」との姿勢を明らかにさせた。

1月7日に、高砂市職は「処分撤回賃金カット復元」の477人分の署名を提出し、組合員の決意を当局に示してきた。これまでもたがたい背景に予算要求闘争後、早急に県本部を交え交渉を行う。

## 2014春闘で賃上げを勝ち取るう!

県本部春闘討論集会に参加  
ひょうこ共済会館  
2月8日(土) 9:30開会

連合は、「2014春闘を賃上げ1%以上」としてたたかうことを決定している。自治労も民間の仲間と連帯して春闘を精いっぱいたたかう。とりわけ、給与制度の総合的見直しは大きな課題だ。討論集会で私たちの課題を確認しよう。

＜講演＞  
給与制度の総合的見直しについて

＜分科会＞

- ①給与制度の総合的見直しに対する取り組み
- ②雇用と年金の接続と高齢期問題
- ③臨時・非常勤等職員の待遇改善と組織化
- ④町職連協の取り組み

たなかと並行して、当時の委員長は、処分を不服として公平委員会に「不利

益処分に関する不服申立て」を行っている。また、一方的な賃金引き下げについては、勤務条件に関する措置要求」を公平委員会に行うこととしている。

同市職は、一律7.5%賃金カット強行に抗議し、昨年6月14日に1時間ストライキに突入した。市当局はその後策として、労使関係正常化に向けた労使協議に委員(当時)に戒告を2人に処分を発令した。

## いまいち座

豆がたりない!!

おやすみ漫

確かに登りはじめて10分後には息が上がり、辛いなあとと思うことも多々あった。学校の卒業旅行で新穂高温泉に行き、そこで北アルプスの山々に魅了された。正面に岐阜県最高峰の笠ヶ岳の綺麗さには感動し、そこから山に取りつかれている。その登山道は笠ヶ岳という国内屈指の急登だったが、笠ヶ岳を知って27年を経ても、トライした。頑張ったご褒美には360度パノラマ、穂高連峰からのご来光、雲海から遠くは富士山が拝み、その景色に感動した山行だったので今年人事院の給与制度の総合的見直しによって厳しく険しい年になるかもわからない。等新道同様粘り強く取り組みなければならぬ。山は辛いながらも足元交互に出せば登れる。当たって砕けてはいけませんが、粘り強く1歩1歩前進できる組織の構築が必要と思う。

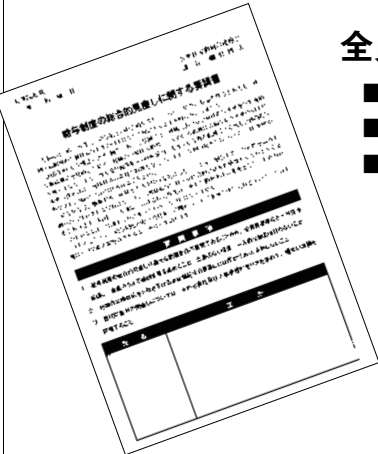


# 給与制度の総合的見直しに反対!

## 全員署名に取り組もう

- 1人3筆以上
- 第1次集約 2月10日(月)
- 最終集約 3月14日(金)

人事院は昨年8月、「給与の総合的見直し」について早急に結論を得ると報告し、地域と高齢層の公務員給与水準の引き下げなどを検討することを明らかにしました。公務員労働組合連絡会は、組合員1人3筆以上の署名を人事院総裁宛に取り組み、一方的な勧告や給与引き下げ反対を訴えます。全組合員の協力を。



## 反行革予算要求闘争

# 人員不足を訴える

## 欠員補充、保育士採用引き出す

県本部は1月24日、1時問ストを配置して反行革予算要求闘争を行った。大阪神淡路ロックでは、4単組が交渉を行なった。伊丹市職労では、職場環境改善を具体的に進めることを確認。伊丹病院労組は、産婦人科の存続、欠員の補充を確認した。三田市職労は、職場要求の改善の確保のほか、この間の当局的な手法を追究し、勤務労働条件について労務協力を基本に進めていくことを見直しについて、若年層の給与改善に向け取り組むことを条件に妥結した。三田市職

労は、職場要求の改善の確保のほか、この間の当局的な手法を追究し、勤務労働条件について労務協力を基本に進めていくことを見直しについて、若年層の給与改善に向け取り組むことを条件に妥結した。三田市職

市職労が保育士採用の環境改善を確認。また臨時保育士が要求人数に及ばない部分については速やかな再協議とした。明石水労は来年度の方角を確認。加古川市職労では現給付の阻止を確保した。高砂市職労は来年度の職員総数を確保、福利厚生事業の実施要求で

前進した。三木市職は独自カットの3月末終了に伴い、これまで実施を見送っていた人勧部分について給料表

改定以外は継続協議となった。加西市職では慢性的な人員不足を訴え、幼保5人採用を確認した。但馬丹波ロックでは、豊岡病院労組が臨時職員の処遇改善に取り組んだが、継続協議となった。

統一行動に先立ち、神戸市は17日、神戸市職労は21日に交渉マラソンを設定し、定数確認。県職労は、1月末ヤマ場に取り組みを進めている。

書籍紹介  
兵庫の町村職連は、県町村会と「統一交渉」を行い、全国で唯一、「確認内容」を「覚書」として締結、それを「準則」として県内全町の水準を向上させてきた。2006年5月に統一交渉

が「終焉」するまでの45年間の苦闘の歴史を自治研センターでまとめた。たたかいて得られた成果と教訓を検証し、今後のたたかいに生きる課題提起としての1冊。ぜひ、「愛読」下さい。

別冊「兵庫県町村職連たたかひの記録」(A4版 198頁) 頒布1500円  
「産業別(町村職)統一賃金をめざして」(A5版 199頁) 頒布1500円

全労済は、営利を目的としない保障の生活として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心と命とある暮らしをまもります。出資金を支払いいただく組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会  
自治労共済本部  
全日本自治体労働者共済生活協同組合

## 震災時の状況から今後の課題を検証



講演を行う中地さん

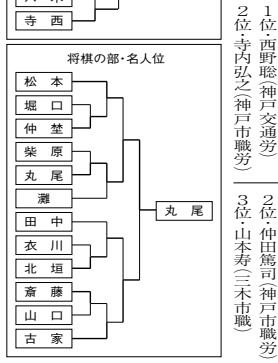
1月18日「震災とアスベスト」シンポジウム。主催者から「震災から19年、アスベスト被害疾病時期はこれから、終わらせてはならない、経験を生かす」が聞かれた。

シンポジウムにしたい」とあいさつ、基調講演の中地重晴さんは「国や自治体に震災時に備えたマシンの備蓄、アスベストの安全な事前の除去促進のための働きかけ」などを提言した。

参加者からは「危険性を繰り返し訴え、行政の責任を明らかにする、震災との関係を明確にしていくこと。提言に賛成(宮本憲一)」「震災時がけがの処理をしていたが、マスクはいわれたことはない(全港浩)」「このマスク一つで死ななくてすんだ命があったかもしれない(明石市職労)との発言があった。

県本部は第33回囲碁将棋大会を12月7日に開催し、囲碁の部に9単組21人、将棋の部には17単組53人が出場した。各クラス毎に熱戦が繰り広げられるとともに、恒例となったプロによる指導対局も行った。本因坊は高橋正行さん(県職労)、名人は丸尾力さん(播磨町職)、各クラスの1、

- 3位は以下のとおり。
- (囲碁の部)
- 本因坊 1位 高橋正行(県職労)  
2位 中村栄(神戸市職労)  
3位 三谷寺司(高砂市職)(Aクラス)
- 将棋の部・名人位
- 1位 松野隆徳(伊丹市職労)  
2位 由川義信(神戸市職労)  
3位 大前 聡(尼崎水労)(Bクラス)



## 第33回囲碁・将棋大会優勝者

### 本因坊 高橋 正行さん

### 名人 丸尾 力さん

- (将棋の部)
- 3位 霜田 隆(神戸市職労)
- (名人位)
- 1位 丸尾力(播磨町職)  
2位 古家慎一(姫路市職)  
3位 松本貴憲(姫路市職)(Aクラス)
- (Bクラス)
- 1位 西野隆(神戸交通労)  
2位 寺内弘之(神戸市職労)
- 3位 藤井隆(神戸交通労)
- 1位 中嶋真一郎(神戸市職労)  
2位 崎谷智哉(姫路市職)  
3位 辺見泰正(香美町職)(Cクラス)
- 1位 古角茂(加西市職)  
2位 仲田篤司(神戸市職労)  
3位 山本寿(三木市職)

ZENROSAI NEWS 51138057

いざというとき、大丈夫ですか?

## 風水害から盗難まで保障、地震にも備える

### 自然災害共済 毎月加入できます!

### 大型タイプ

風水害などのケース 最高保障額 4,200万円  
地震などのケース 最高保障額 1,800万円

全労済は、営利を目的としない保障の生活として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心と命とある暮らしをまもります。出資金を支払いいただく組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会  
自治労共済本部  
全日本自治体労働者共済生活協同組合

# 自治ひろこ

1425号

## 当面の日程

- 14～15日 県本部現業闘争2014交流会  
(フルーツ・アラワーパーク)
- 15日 町村会統一交渉を語る会 (共済会館)
- 16日 第5回ひょうご解放教育交流集会 (姫路市内)
- 1日 シンポジウム「限定社員という働き方・問題点と課題」(チサンホテル神戸)

2014. 2. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920 E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp



自治労の春闘方針を議論した本部討論集会

## 2014春闘討議資料

### 賃上げで生活改善を勝ち取る

## 総合的見直し反対

### 全単組で取り組み強化を

連合は、2014春闘を「底上げ底支え」「格差是正」に向け、全ての働きの処遇改善の実現をめざし、公正で安心・安定的な社会の実現に向け邁進するとしている。

97年ピークに賃金は減少の途であり、雇用不安も増している。経済最先の政策のことで、痛々雇用労働条件の改善を、賃金を超え働く者の団結で取り戻す14春闘にしなければならぬ。「給与制度の総合的見直し」に反対し、生活改善のためを進めよう。

### 1 2014春闘をめぐる情勢

#### 経済情勢と課題

一昨年末に発足した第2レ脱却と名目%以上の経済成長の達成をめぐり、デフレ・成長の達成をめぐり、企業業績の回復が労働者の賃上げをたらずとして、02年以降、戦後最長の景気拡大期において、賃金下落と非正規労働者が拡大し、生活不安が高

まっている。政府財界が、今春闘にあたって、ベア容認の姿勢を示したからといって、企業収益の増大が労働者全体の雇用や賃金にまわるとはならない。働きの団結を強め、労働組合に結果し、交渉でたかみ取りを確保しなければならない。

加えて、今春闘期には物価上昇や4月からの消費増税(3%)も予定されている。今春闘においては、賃上げが最も大きな課題となる。

こうした情勢の中、連合は1月23日、第2回中闘争委員会にて14春闘の進め方を決定し、14春闘を実質的にスタートさせた。

今春闘は、政府、労働界、そして経済界も含めてデフレ脱却に向け賃上げが重要な

この認識のもとで進められることになる。しかし、経済評論家の中には14年度の賃金上昇率は0.6%程度、一方で全国消費者物価の上昇は5倍の3%になる見通しを発表している。

#### 自治労の春闘課題

こうした春闘をめぐる情勢の中、私たち自治労にも課題が山積している。14春闘の取り組みとあわせ、課題克服に取り組まなければならぬ。

1つは、国公給与削減の地方公務員給与への波及阻止の課題であり、3月末で給与削減を確実に終らせなければならない。

2つは、人事院が13年8月、月例給、一時金の改定を見送った一方で、世帯間、地域間の配分見直しと、地方公務員給与と費用削減の一

方、防災減災事業、地域の元気づくり推進費等設置するなど、地方自治体との十分な協議をしないまま、地方の固有財源である地方交付税削減を強行した。

自治体は、東日本大震災からの復興、社会保障分野におけるセーフティネットの確立など、増大する財政需要に直面しており、これに見合う地方交付税の必要総額を確保し、地方交付税の財源確保、財政調整機能を十分に発揮させることが不可欠である。

3つは、13年4月以降、公的年金の支給開始年齢が引き上げられた。13年度末に定年を迎える退職者以降、無収入期間が発生する。こうした年金と雇用と年金の確実な接続を求めていく必要がある。

現行再雇用制度は、公的年金の一部支給を前提としており、給与水準が低位に位置づけられている。今後は公的年金が支給されないため、雇用と年金の接続を確保し、生活できる給与水準の確保が必要となる。

#### <2014春闘の行動日程>

- 要求書提出ゾーン  
2月12日(水)～19日(水)
- 春闘キャンペーン統一行動日  
3月6日(木)  
ポケットティッシュ配布行動
- 集中取り組み期間  
3月10日(月)～14日(金)
- 全国統一行動日  
3月14日(金)  
(29分時間内食い込み集会)

#### <自治労の2014春闘重点課題>

- 地方公務員給与の回復と地方財政の確立
- 人員確保および雇用と年金の接続
- 臨時・非常勤等職員など非正規労働者の処遇改善と組織化の推進
- 民間・中小の労働条件の底上げと労働者保護ルールを守る取り組み

#### <2014春闘「3.14全国統一行動目標」>

- 公務・公務準拠単組
  - 給与削減措置を終了させるとともに、運用の改善等により積極的な賃金改善を図ること。給与制度の見直しにあたっては、十分な労使協議と合意を前提とすること
  - 臨時・非常勤等職員の雇用の安定と処遇改善を図ること
- 民間労組
  - 組合の要求に基づき賃金改善を図り、早期に実施すること
  - 非正規従業員雇用の安定・処遇改善を図ること

4つは、臨時・非常勤等職員の処遇改善である。昨年5月に民主党をはじめとする野党6党は「地方自治体の臨時・非常勤職員に通勤手当や一時金など諸手当を支給することができるとする法律案を参議院に共同提出したが、通常国会閉会で審議未了、廃案となった。改めて昨秋の臨時国会に民主系3党で自治労法改正案を提出し、「官製ワーキンググループ」問題の解決に向け、具体的改善策の実施が必要である。最後に、改正労働契約法が昨年4月1日に施行された。有期労働契約が繰り返され更新された5年を超えたときは無期労働契約に転換することをルール化した。

この法は「自治体の臨時・非常勤職員には適用されないが、自治体によっては5年以内の雇用更新年限を設定するなど、雇用止めの強め動きが想定される。改正労働契約法の趣旨と内容をふまえて、恒常的業務に就く臨時・非常勤等職員を雇用継続、正規職員への転換ルールを求めなければならぬ。

私たちは、この間の賃金合理化、地域給与削減回復の取り組みをはじめ臨時・非常勤等職員の非正規労働者を含めた全ての労働者の賃金水準を全体で底上げする取り組みを各職場単組で議論を深め、地域春闘としてしっかりとたかう決意を固め、運動を強化しなければならぬ。

「軍師官兵衛」自治ひろこ新年号でも取りあげた縁もあって、何年かぶりに大河ドラマを見た。2年前の「平清盛」も神話が舞臺というところもあって挑戦したが3回目で脱落。しかし、今回も引き続き「ナニバト」いよいよ、信長、秀吉、家康重用された、戦国時代を生きた抜いたのも大変興味深い。歴史ヒストリア、NHKアーカイブス、知恵泉など「黒田官兵衛」関連番組もいろいろ見つけた。大河ドラマ初回、小田原城攻めで官兵衛は、丸腰で城門の前に立ち「一命を粗末にならぬ。生きられよ」と、程々その言葉で城は明け渡された。

▼「あり得ないやろ」とつっこみを入れたが、「人を殺すのを嫌い、生かして使うことを心がけた戦国では一風変わった人物」であったそう。その思えば、単身で有岡城に乗り込んで行ったというのさもありなし。今後の展開に期待を持って。せつなか姫路が舞臺なので春になれば広家神社や御着城址などゆかりの地も訪ねてみたい。(誠)

## いまいちば

頑張れ！イクメン！



吉田ノボ

## しこう

「軍師官兵衛」自治ひろこ新年号でも取りあげた縁もあって、何年かぶりに大河ドラマを見た。2年前の「平清盛」も神話が舞臺というところもあって挑戦したが3回目で脱落。しかし、今回も引き続き「ナニバト」いよいよ、信長、秀吉、家康重用された、戦国時代を生きた抜いたのも大変興味深い。歴史ヒストリア、NHKアーカイブス、知恵泉など「黒田官兵衛」関連番組もいろいろ見つけた。大河ドラマ初回、小田原城攻めで官兵衛は、丸腰で城門の前に立ち「一命を粗末にならぬ。生きられよ」と、程々その言葉で城は明け渡された。



# 自治労のヤマ場は3月14日

## 2014春闘の具体的な取り組み

### 【連合春闘のポイント】

連合は、2014春闘を「デフレから脱却し、経済の好循環をつくり出す」ことを実現するための「底上げ・底支え」格差是正に向けた取り組みと位置づけ、正規・非正規組織・未組織に関わりなく、「全ての働く者の処遇改善の実現をめざし、公正で安心・安定的な社会の実現をめざす」としている。

等・均衡処遇の実現、就業率向上など、ワークライフバランスの実現③日本経済・社会の不安定化の克服に向け、労働運動の社会化を進め、波及力のある運動を展開するとしている。

14春闘は、地公給与波及阻止の取り組みの成果課題の延長線上で、今年3月の国公・地公給与の臨時特例法の終了、今年8月の人事院勧告における「給与制度の総合的見直し」を見据えた取り組みとして推進することである。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

14春闘は、2月6日の連合春季生活闘争・闘争開始宣言集会を起点に、全国における春闘の諸行動が開始される。民間大手のヤマ場は3月12日に設定されており、自治労も3月14日に戦術を配置して当局回答を迫ることとしている。

基本的な考え方は、①景気回復と物価上昇の局面を踏まえ、定昇・賃金カーブ維持相当分(約2%)を確保し、過年度物価上昇分はもとより、生産性向上分などを賃上げ(1%以上)として求め、加えて、格差是正・配分のゆがみの是正(1%を目安)を求め、取り組みを進める②社会における格差やゆがみを是正し、働くことを軸とする安心社会の実現に向け、ディーセント・ワークの実現、最低賃金の引き上げ、非正規労働者の均

等・均等処遇の実現、就業率向上など、ワークライフバランスの実現③日本経済・社会の不安定化の克服に向け、労働運動の社会化を進め、波及力のある運動を展開するとしている。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

14春闘は、2月6日の連合春季生活闘争・闘争開始宣言集会を起点に、全国における春闘の諸行動が開始される。民間大手のヤマ場は3月12日に設定されており、自治労も3月14日に戦術を配置して当局回答を迫ることとしている。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

14春闘は、地公給与波及阻止の取り組みの成果課題の延長線上で、今年3月の国公・地公給与の臨時特例法の終了、今年8月の人事院勧告における「給与制度の総合的見直し」を見据えた取り組みとして推進することである。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

14春闘は、2月6日の連合春季生活闘争・闘争開始宣言集会を起点に、全国における春闘の諸行動が開始される。民間大手のヤマ場は3月12日に設定されており、自治労も3月14日に戦術を配置して当局回答を迫ることとしている。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

## 3 人事院の給与制度の総合的見直し

### 【情勢および動向】

人事院は報告の中で給与制度の総合的見直しの検討について表明し、地域間・世代間の配分の在り方や職務や勤務実績に応じた給与、技能・労務関係職種との給与水準などについて検討を行うとした。とりわけ地域間の格差については、昨午人事院自ら格差は「取れんできてきている」として検証を終えたばかりであるにもかかわらず、新しい比較方法を用いて恣意的に格差を編み出し、合理的な説明がなされないまま制度見直しの検討が進められようとしている。

13年8月に人事院が明らかにした「給与制度の総合的見直し」は、①民間の組織形態の変化への対応②地域間の給与配分のあり方③世代間の給与配分のあり方④職務や勤務実績に応じた給与のあり方等が検討事項としてあげられている。特に地域間配分の見直しについては、地方公務員給与の引き下げに直結する問題であることから、地域における取り組み体制を確立する必要がある。

各検討事項については、次のような問題が懸念される。

①については、現行民調の役職定義に該当せず調査していない「基幹となる役職段階(部長、課長、係長、係員)の間に位置付けられる従業員」について、14

各検討事項については、次のような問題が懸念される。

①については、現行民調の役職定義に該当せず調査していない「基幹となる役職段階(部長、課長、係長、係員)の間に位置付けられる従業員」について、14

反対」の取り組みを進める必要がある。

13年8月に人事院が明らかにした「給与制度の総合的見直し」は、①民間の組織形態の変化への対応②地域間の給与配分のあり方③世代間の給与配分のあり方④職務や勤務実績に応じた給与のあり方等が検討事項としてあげられている。特に地域間配分の見直しについては、地方公務員給与の引き下げに直結する問題であることから、地域における取り組み体制を確立する必要がある。

各検討事項については、次のような問題が懸念される。

①については、現行民調の役職定義に該当せず調査していない「基幹となる役職段階(部長、課長、係長、係員)の間に位置付けられる従業員」について、14

14春闘は、地公給与波及阻止の取り組みの成果課題の延長線上で、今年3月の国公・地公給与の臨時特例法の終了、今年8月の人事院勧告における「給与制度の総合的見直し」を見据えた取り組みとして推進することである。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

14春闘は、2月6日の連合春季生活闘争・闘争開始宣言集会を起点に、全国における春闘の諸行動が開始される。民間大手のヤマ場は3月12日に設定されており、自治労も3月14日に戦術を配置して当局回答を迫ることとしている。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

14春闘は、地公給与波及阻止の取り組みの成果課題の延長線上で、今年3月の国公・地公給与の臨時特例法の終了、今年8月の人事院勧告における「給与制度の総合的見直し」を見据えた取り組みとして推進することである。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

14春闘は、2月6日の連合春季生活闘争・闘争開始宣言集会を起点に、全国における春闘の諸行動が開始される。民間大手のヤマ場は3月12日に設定されており、自治労も3月14日に戦術を配置して当局回答を迫ることとしている。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

その後も3月27日の人事院回答指定期まで闘争体制を維持し、地域春闘との連携をはかるとともに、公共民間・全国一般単組の課題解決に向けて、自治労一体となって最後まで春闘をたたかう。

## 4 人員確保および雇用と年金の接続

### 【人員確保関心】

地方公務員総数は、1995年以降、自治体財政の逼迫や05年の集中改革

議会までに再任用条例化を予定しているが、運用については協議中の単組が多くある。雇用と年金を確実に接続すること

議会までに再任用条例化を予定しているが、運用については協議中の単組が多くある。雇用と年金を確実に接続すること

**連合兵庫**

**春闘政策要求実現総決起集会**

とき 3月8日(土) 午前11時  
ところ 神戸・東遊園地

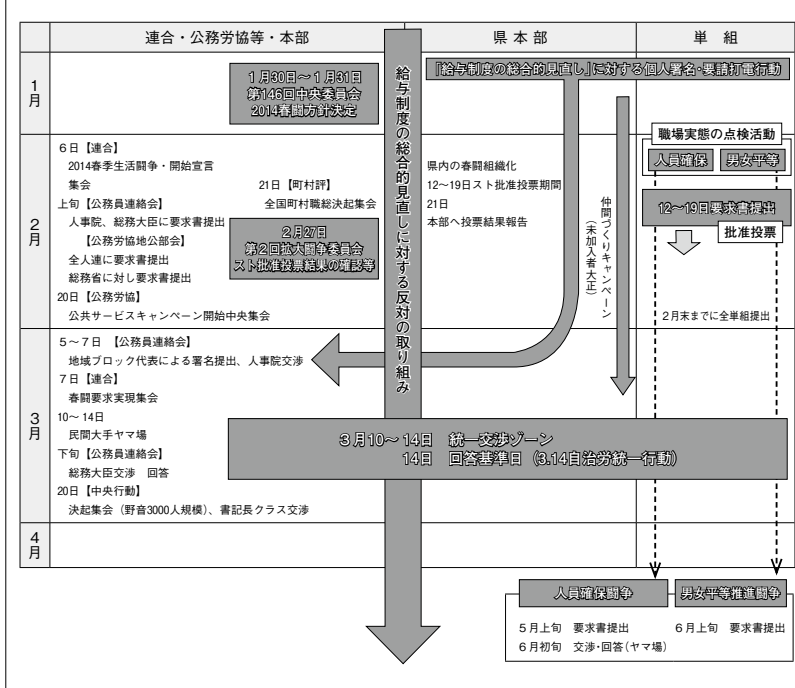
**官公部門連絡会総決起集会**

午前10時20分(場所・日にちは上記と同じ)

※この集会を県本部決起集会と位置付け、全単組の結集を呼びかけます

14春闘は、2月6日の連合春季生活闘争・闘争開始宣言集会を起点に、全国における春闘の諸行動が開始される。民間大手のヤマ場は3月12日に設定されており、自治労も3月14日に戦術を配置して当局回答を迫ることとしている。

【図1】1月から春闘期の取り組みイメージ



【図2】人事院「給与制度の総合的見直し」に反対する取り組み

① 総合的見直しの問題点

- 1) 恣意的なラスパイレス比較 (これまでのブロック単位でのラス比較から、散在する民間賃金の低い県のみを抜き出したうえで比較し、「2ポイント台半ば」の官民較差を捻出) を根拠とした地域間配分の見直しによる俸給表のさらなる引き下げ。
- 2) 50歳台の官民較差・官民給与カーブの差は、人事管理の違い (民間企業は「役職定年制度」等により50歳台前半をピークとして給与が下がる傾向にある) から生じているもの。無理に解消することは、職務給原則や、同等比較を基本とする官民比較の根幹に関わる問題。
- 3) 技能・労務関係職種との給与のさらなる水準抑制、地域手当など諸手当への影響等も危惧される。

② 拙速な見直しを阻止するため春闘期から重層的な取り組み (交渉・協議、署名、ブロック別上京行動など) を配置し、本部・県本部・単組が一丸となって取り組みを進める。

また、臨時・非常勤等職員が組合加入している自治体と、していない自治体の比較では、組合加入している自治体では、賃金はもちろ

- ① 恒常職に就く臨時・非常勤職員の年度変わりによる雇用止め防止。
  - ② 雇用上限制限の撤廃。
  - ③ 任用と任用の間の「空白期間」の設定の廃止。
- 【処遇改善の取り組み】
- ① 全単組でモデル要求の「最低到達条件」の実現。
  - ② 労働基準法や総務省通知を最低基準とした通勤手当 (費用弁償、時間外勤務手当の全額支払い、病欠休暇、忌引休暇など諸休暇制度の整備。
  - ③ 雇用と年金の接続については、正規職員に準じた制度化。

年齢職員の給与構造の見直し、(ウ) 職員の能力・実績のよりの確な処遇への反映など給与体系の抜本改革に取り組み2014年度中から実施に移すとし、早急に具体的な措置を取りまとめるよう人事院に申し渡した。これを受け、同日人事院総裁も「検討を早急に始め、必要な報告を行う」旨の談話を公表している。

これは、まさに政府・自民党と人事院が歩調を合わせているものであり、今後、労働基本権を制約しながら、人事院を利用して総人員費削減を進めることを基本姿勢として示している。さらには国家公務員については、給与原資の中での職員間の配分変更であるものの、地方公務員に関しては結果として賃金水準そのものの引き下げに直結するものであることから、人事院が予定する14人事院勧告までの間、組織全体として「賃金水準の引き下げおよび地域間格差の拡大

に位置付けられる従業員」について、14年から官民比較の対象とする方向で具体的な検討を進めるとしており、定義の変更に伴う水準低下が懸念される。

②については、これまで地域的につながらりのあるブロックを単位に、ラスパイレス比較を行っていたものを、散在する民間賃金の低い県のみを抜き出した上で「2ポイント台半ば」との官民較差を捻出して、俸給表のさらなる引き下げを想定している。現在でも手当により2割近く

の差 (地域手当・本府省手当等) が存在しており、これ以上の較差の拡大は、職務給の原則、同一価値労働、同一賃金の原則からは認められない。

③については、給与構造改革における現給保障の廃止後は残る50歳台後半層の給与差が問題視されているものであるが、給与構造改革の結果、直近で50歳前後の年齢階層では民間が公務を上回って

自治体財政のひっ迫や05年の集中改革プランをたどっている国からの強制により、減少が11年には279万人に減少している。

一方、新たな行政ニーズや事件・事故等に対応する立法によって、事務量は増大している。生活保護を例にとっても、被保護世帯数は10年間で約2倍に増加しているうえ、雇用教育、医療部門との連携が重要となり、福祉事務所の事務は多様化・複雑化している。

自治体では、臨時・非常勤職員や任期付職員を増やし、定数外職員で乗り切ろうとしているが、限界がある。職場では超過勤務が増え、過重労働による「心の病」や健康破壊が増えている。行政改革に際しては、人員確保が大きな課題となっている。

【雇用と年金の接続】

県内においても、全ての自治体が3月

5 臨時・非常勤等職員の処遇改善

【産別統一目標】

- 4月 職場実態の点検活動
- 5月上旬 要求人員の確定
- 6月初旬 交渉・回答
- 6月6日 統一行動日 (予定)

こうしたことからも、各単組は臨時・非常勤等職員のさらなる組織化と雇用安定、処遇改善を重要課題と位置づけ以下取り組みを進める。

特に年度替わりにおける雇用止め、任用更新時の「空白期間」などの課題については春闘期の重要な課題と位置づけ取り組みを進める。

【仲間づくりキャンペーン】

- ① 臨時・非常勤等職員の組織化が進んでいない単組においては、県本部産別建設センターと協力し、組織化への取り組みを推進。
- ② すでに臨時・非常勤等職員の組織化を行っている単組および臨時・非常勤等職員の単組は、本部作成の「仲間作りキャンペーン」リーフレットやDVDを活用し、未加入者の組合加入・拡大の取り組みを実施。

【雇用継続の取り組み】



### 6 民間・中小の労働条件底上げ

労働組合の組織率が低下する中、民間労働者の賃金は、97年をピークに15年間で59万円(12.9%)も下がっている。また、非正規労働者は、雇用労働者の38.2%となった。賃金水準の引き上げと非正規労働者の組織化促進改善で、貧困化、雇用の劣化に歯止めをかける必要がある。

【全ての職場で要求確立に取組む】

(1) 企業の枠を越えて組織労働者の共同共同として、一定の社会的相場(社会的な賃金水準を含めた労働条件の改善)を経営の社会的責任として引き出すたか

(2) 経営困難な職場にあっては、①財務諸表等を開示させ、企業実態の分析②経営改善の要因分析、経営環境の悪化、労組の経営改善の提言③一時的に合理化を受け入れざるえない場合は回復措置の明確化に取組む

(3) 賃金改善が困難な職場にあっては労働条件の引き上げ、労組活動上の権利拡充、職場環境の改善等の要求に取組む

【春闘学習会(3月1日)に結集し、全ての単組で統一要求労働安全衛生に取組む】

【春闘学習会(3月1日)に結集し、全ての単組で統一要求労働安全衛生に取組む】

### 県本部結成 60年 1954~1963年

今年1月24日で県本部は結成60年を迎えた。県本部は60周年記念事業PTを立ち上げ、種々の企画を議論しているが、その環として、本紙で60年の歴史を振り返る連載を行う。

1954年1月24日、芦屋市の宮川小学校で自治労兵庫県連(61年名称変更)の結成大会が行われた。26組合1万9000人の組合員でスタートを切った。

54年に空前の赤字決算となった地方財政を建て直すため、自治労主導で財政再建計画が進められていた。こうした動きを背景に、人事院は54・59年まで勤



芦屋水労結成に関わった新垣さん

### 賃金闘争の礎を築く 人権見送り打破した産別運動

告を見送り。自治体労働者の賃金は劣悪な実態にあり、その改善が大きな課題であった。

県本部が誇る歴史の1つに、町村職連(のちの町職連協)による町村会との統一交渉および町村会準則の確立がある。この礎を築いてきたのは、この時期であり、「町村職員の不当な賃金実態を改善したい」との怒りと情熱であった。

当時の機関紙にも「低すぎる町村給与」「定昇給を確立」などの見出しが並ぶ。そうしたたたかいは積み上げ、59年には公務員として初めて、まとまった賃金闘争を行い、60年には7年ぶりに人事院勧告を行わせた。

その後、男女賃金格差解消

(60年、清掃闘争(自治労産別闘争、62年)と、たたかいが発展し、現在の闘争スタイルが確立されていった。

5000円で食えるか

芦屋水労の結成(52年)に市職から分離、その後55年に地方営企業法適用による水労を結成)に関わった新垣亀一さんに当時の様子を伺った。

### 7 平和・人権・政治闘争の推進

安倍政権は、金融緩和に伴う円安株高による企業利益の回復などを背景に、依然高い支持率を維持している。政府与党は、「強多弱」の国会構構のもと、第185回臨時国会で特定秘密保護法案を強行採決により成立させた。特定秘密の範囲が拡大し、政府にとって都合な事実が隠される恐れがある。「国民の知る権利」を真に向か否定し、国民主権から国家主権

定期昇給相当分4500円、生活向上分(賃金引上げ1%含む)4500円、格差是正分3000円。格差是正は生活向上の要求設定を行い、全ての労働者の底上げをめざす。

定期昇給相当分4500円、生活向上分(賃金引上げ1%含む)4500円、格差是正分3000円。

野古移設反対の現職の稲嶺市長が勝利した。県内移設は認めないという市民の意思表示である。今後の平均対の取り組みを進めなければならない。

自民党は、憲法改正の手続きを定めた国政投票法の改正議論を加速させている。同法は、2007年に公布され、10年5月に施行された。しかし、公務員は、附則において施行までには、附則において施行までには、「公務員が国民投票に際し(中略)制限されることとならないよう」に「検討を加える必要措置を講ずる」とされたが、未措置の状態となっている。憲法で保障された表現の自由は、公務員にも等しく適用されるべきであり、必要対応が求められる。

今後、国政選挙はしっかりと実施されない。自治体議員選挙など、県本部の方針を理解し理念を共有して活動の強化が重要である。

県本部は5月18日投票日の古谷ひろしさん(現3期)の76歳、4月20日投票日の西宮市長選挙では、河野昌弘さん(現1期)68歳、10月に予定される川西市議会選挙では北土あきひとさん(現3期)42歳と多久和桂子さん(現3期)58歳を推薦して取組む。

### 新春クイズ 体操の「白井健三」選手でした

自治ひろこクイズワードクイズの解答は、「白井健三」でした。応募総数は294人、正解者は285人でした。当選者は次の通り。

【商品券】

西田 大吾(神戸市職) 平田 紀子(神戸市職)

西田 隆美(尼崎市職) 上田 茂勝(神戸市職)

辰巳ひとみ(尼崎市職) 吉田 悦子(宝塚市職)

船本 淑子(姫路市職) 愛甲 太洋(川西市職)

塩澤洋次郎(豊岡市職) 牧部真奈美(淡路市職)

前田 克子(明石市職) 小林 豊(姫路市職)

廣瀬 美鈴(小野市職) 田中 弥生(新温泉町職)

ZENROSAL NEWS 51138057

いざというとき、大丈夫ですか?

風水害から盗難まで保障、地震にも備える

自然災害共済 毎月加入できます!

大型タイプ

風水害などのケース 毎月4,200万円

地震などのケース 毎月1,800万円

全労済 全労済 全労済 全労済

自治労共済本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合







14 春闘  
分科会の報告

市職労を中心に10単組、15人が参加した。はじめに歴長の宮本誠之副委員長が「昨年の分科会では、各単組で労使の話し合いもなされず、参加者が少なく温度差もあった。全てで条例化され関心も高

26人が参加。森蔭守書記長を歴長に議論を進めた。冒頭、本部の藤本局長が、午前中の全体講義を補足した。地域間格差は正では、2.5〜5.5程度の賃金引き下げが模索されている。行(二)賃金の見直しでは「公務が直営で行う必要があるのか」と二説では6万円の賃金格差がある」と説明。政府・自民党の考えを説明、「全国で同じ仕事をし、これ以上の賃金差は不当」と力を強めた。

「今春闘の結果では、官民格差が広がる可能性もあり。春闘情勢はどうか」と春闘では大企業と中小の差が広がっている。民間場は人事管理上、そのあたりから賃金が上がる。民間より、賃下りはイセンタータイプにならなければならない。学習会と署名を全組合員で進めていくための工夫も必要。↓本部のパンフレットを活用してほしい。また、賃下げは地域経済へも悪影響をおよぼす。理解を求めて地域でも署名を。みんなで頑張って取り組むことを確認した。

希望者全員の再任用  
格付けの引き上げを  
雇用と年金の接続

求めている4級で運用されているのは単職労や姫路市職など一部の単組しかなく、多くは3級格付けであり、2級で運用しようとして

全国で同じ仕事をしていて賃金差は不当  
給与制度の総合的見直し

「現給保障の廃止、55歳昇給停止が実施されている中で高齢者の賃金を上げる理屈があるのか」と公務職が聞く懸念がある。

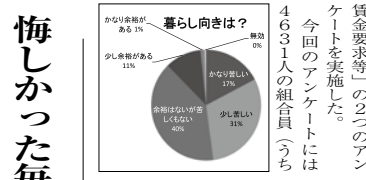
今年も阪神淡路と播磨ブロックではアンケート調査が実施された。半数が生活の苦しさを訴え、仕事増、人員は減、取れない年休、慢性的な超勤の職場実態、きびしい生活、職場の実態を訴え、改善の取り組みを進めよう。



ディスカッションの様子

悔しかった毎年の試験  
財政難で全体討議

臨職評は、全単組学習会を1月25、26日の2日間、28単組63人の参加で篠山新たば荘で行った。



阪神淡路ブロックでは、春闘の取り組みとして「権利職場実態」「生活実態」「賃金要求等」の2つのアンケートを実施した。今回のアンケートには4631人の組合員(うち臨時職員955人)から回答があった。引き続き賃金削減や人員不足による生活や職場環境の悪化が数字に示される結果となった。

要求額は27〜31万円  
人員増、労働量の軽減を

臨時職員955人から回答があった。引き続き賃金削減や人員不足による生活や職場環境の悪化が数字に示される結果となった。

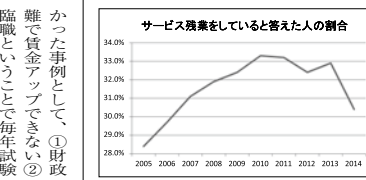
震災と心のケアを考える  
シンポジウム

パネルディスカッション  
被災地派遣職員、被災自治体職員の健康対策

福島の現状から考える  
公開学習会

講師  
竹中柳一さん  
福島県平和フォーラム前代表

播磨ブロック  
賃金要求額(1スアツプ)は、3万1814円(前年3万2962円)114.8%の減となった。自治体の財政難や公務員パッシング、人動の状況からベースアップの期待が弱くなってきているのだから、かきながら、ペーパー生活水準向上維持の基盤であり、14春闘では、ペーパー要求を掲げ民間労働者と



去年2万7000円、一時金要求の平均は、夏2.26万円、冬2.58万円となった。その他にも、仕事が忙しく年休が取れない、仕事が増えているにも関わらず人員が増えない、過労死ラインを超える残業時間など、異常な職場環境が常態化している実態が示された。このアンケート結果をブロック統一として賃金や一時金の要求額に反映させるとともに、阪神淡路両地区への申し入れ行動などの際に、組合員の職場や生活の実態を訴えるための根拠とし、たたかいて進めていく。

夏が2.31万円(前年2.29万円)、0.02月増、冬が2.43万円(前年2.41万円)、0.02月増となった。組合で取りあげられるべき重点課題としては、「退職手当削減阻止」がもっとも多く57.6%、続いて「人員増、労働量の軽減」で51.6%(前年51.5%)、0.1%増となっている。次いで「地域手当の累並み支給」30.8%(前年29%)、1.8%増、「職場環境・設備改善」28.5%(前年28.8%)、0.3%減、「保28.4%」前年28.2%、0.2%増の項目が高いポイントを示した。

「自分たちの雇用形態をよく知り、総務省や市町振興課交渉で有利なものを利用し、交渉しよう」と助言が行われた。

「自分たちの雇用形態をよく知り、総務省や市町振興課交渉で有利なものを利用し、交渉しよう」と助言が行われた。

「自分たちの雇用形態をよく知り、総務省や市町振興課交渉で有利なものを利用し、交渉しよう」と助言が行われた。

ZENROSAI NEWS 51138057

いざというとき、大丈夫ですか?

風水害から盗難まで保障、地震にも備える

自然災害共済 毎月加入できます!

大型タイプ

<p>風水害などのケース</p> <p>最高保障額 4,200万円</p> <p>火災・台風・暴風・洪水・地震・盗難など</p>	<p>地震などのケース</p> <p>最高保障額 1,800万円</p> <p>地震・噴火・津波など</p>
--	--

全労済は、営利を目的としない保障の生活として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。お資金を積み立てたいという組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

※自然災害共済は、火災共済に付帯しての契約となります。自然災害共済のみに加入することはできません。

※最高加入限度は1世帯1人4000円(2013年度)加入の組合員の保障内容

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。ご不明な点がございましたら、まずはお電話にてお問い合わせください。







### 14春闘 分科会の報告

例年、町職連協では春闘期に町職組交流集會を開催しているが、今年度は春闘討論集會に結果することとし、町職分科会(単組12人)を開催した。

分科会の座長は、町職連協の北川寿一事務局長、稲美町職が努め、「町村会交渉が終えんとして、各単組がバラバラにされている。そうした場合、各単組が「できること」を確認して、きたい」と交流の趣旨を説明した。

組織強化につながる具体的な活動報告として藤田悦孝さん(播磨町職)より、この間、播磨町職で取り組んでいる活動内容について報告を受けた。町職連協では職場オクルグを通じて意見交換を実施し、職場の生の声を交わすにかかっているとの

分科会では、冒頭、自治労本部の北川啓子オクルグから説明を受けた。本部が作成した非正規の組織化の意義をまとめたDVD上映に続き、組織拡大パンフレットを紹介した。北川さんは、「現在(仲間づくりキーンペーン)を行っており、既に活動している組合に対して働きかけ、リフレットやDVDを活用し、未加入者に説明するためだけでなく、正規組合員に対しても臨時、非常勤の活動を知

### 未組織への情報提供 正規との連携が鍵

非正規の処遇改善と組織化

取り組みを通して10人の新加入者があったこと、伊丹社労より月1回の加入説明会を行い、ポウリング大会の開催と新聞の発行を

し、組織拡大に向けて福利厚生活動の充実と組合員であることの魅力を訴えているなど、奮闘が語られていた。意見交換では、「職種が多く多様な問題を抱え、それらに対応できるか不安」。明石では、市職労と協力して組織化をしようとして、ユニオンを立ち上げたことも報告された。

反面、「声をかけ側の問題意識がない」など組織化は難しく、正規組合との協力態勢の課題がある。非組合員にも情報を提供し、労働環境条件の変化によって組合に関心を持つ人がいるので、そのタイミングで話してみる。オクルグで大事なのは聞くことである。正規組合の理解と協力、覚悟が必要だと意見交換した。

### 町職運動の前進へ “できること”を模索

町職連協の取り組み

引き下げや通勤手当の改善など、共通した攻撃への対応に意見が集中した。

県本部組織部からは、各町職単組での役員任期や執

報告が行われた。参加単組からは秋春闘争以降の交渉取り組み状況が出され、議論を深めた。特に持ち家に係る住手当行委員会の開催状況、学習会の取り組みなど、組織強化に関わる部分での確認

や、県本部の統一闘争に向けて全12町が一体となって交渉を実施できている。後議論してもらいたい」との要請があった。報告にあったように同様の当局提案がある中、12町がこれまで以上に連携、連帯し、統一交渉に取り組むことが、町職単組の前進につながることを確認し、分科会を終



### 全国に誇れる制度

#### 町村会交渉の教訓振り返る

自治研センター 町職連協



3月15日、町職連協が2005年まで取り組んだ町村会との統一交渉を振り返る集いが、町職連協と自治研センターの共催により開かれた。昨年末、自治研

センターが、この取り組みを検証した書籍を発刊したのを機に開催。2部制の集いに、町職連協役員やOBや現職を中心に40人が参加した。

町職連協と町村会との交渉で、県下町職員の賃金基

るべき姿を示唆する。1部は県本部や町職連協の役員やOBが参加し、町村会統一交渉を語る会を開催。2部は、当時の県地方課(現市町振興課)課長他の来賓も加え、会食を兼ねた懇親会で、統一交渉を振り返った。

OBらは、「これを第一回とし、こうした集いを続けたい」と、現役への叱咤を熱く語り、全国に誇れる取り組みを担った闘士の片鱗をのぞかせた。

### シンボルマークを決定



結成60周年を迎えた県本部は、年間を通じて様々な企画を準備しているが、2月28日の執行委員会でシンボルマークを決定した。まんが集団の大橋賢代表豊岡市職労が作成した。

### 県本部結成 60年 1964~1973年

64年の東京オリンピックの開催、東海新幹線の開業、大阪での70年万博の開催、71年のドルショック、73年の第1次オイルショックと続く10年間。政治的には、日韓条約批准反対闘争、ベトナム反戦闘争、70年安保闘争、沖縄返還闘争がたがわった。

自治労は統一行動、ストを重ね、70年に人事院勧告完全実施を実現。自治労初の66年1021ストは県本部80単組が実施した。68年からの第1次現業統闘争では、差別的低賃金改善闘争を展開、68年の新潟県立病院の2・8闘争は全国に広がり、豊岡神戸、県伊丹病院などで夜

勤制限増員を確認した。68・69年には定年制反対でスト、盛り込み行動を実施。町職連は64年、町村会との統一交渉で賃書による賃金決定基準を確立。71年3地域ブロックが発足した。

1人夜勤の心細さ 県職労は70年に「複数夜勤の月8回以内」を3年計画で実施を確認したが、淡路病院では看護師不足が続き、それ以降も看護師の充足、救急医療確立のためを続けてきた。当時の状況を東野千代子さん、小西まさ子さんに伺った。2人は当時副分会長だった濱田秋さんの指導のもと、たたかいに参加した。

が夜勤拒否の組合タイプ(オレンジ)に入った。当局は他病院から総務部長クラスが来たが、患者が診れないので帰す強引退院させた。玄関の横の会議室が団交の場、患者が帰るのが見える、家族が待つという。何をしているんだろうと思った。ここまでしないとわからない。当局への怒り、患者を巻き込んだのがつらかった。

### 統一行動、ストを重ね 人勧の完全実施を実現

#### 人勧の完全実施を実現



小西さん◎と東野さん

「病棟での1人夜勤の心細さ、怖さは忘れられない。当直の先生も1人、「今日は重症いないか、やっていたら」と心配で聞いてくる。働いていくことの不安、複数夜勤の要求は本当に切実だった。」

「夜勤回数増えもしいなら」という当局に対し、5病棟まで

て看護師の完全充足を確認した。これらのたたかいを通じて、院内保育所、看護学院、夜勤者のタクシー送迎、看護宿舎など、東野さんは、「過去のたたかいの成果や組合の必要性を次世代に伝えることが課題」と振り返った。

## 第24期労働学校 受講生を募集中

県本部の第24期労働学校を右記のとおり開始します。組合活動の基礎を中心に学びますので、青年層を中心にご参加下さい。詳細は組合事務所に問い合わせを。

- 前期講座■
  - 日程 4月19日(土)~20日(日)
  - 場所 ひょうご共済会館
  - 内容 ①労働組合は何のためにあるの? ②ワークショップ「身近な組合づくりを考える」③賃金の基礎中の基礎をまなぶ
- 後期講座■
  - 日程 5月10日(土)~11日(日)
  - 場所 コープこうべ共同学苑(三木市内)
  - 内容 ①職場の問題を改善しよう②組合の基本は支え合い。自主福祉とは? ③平和や人権も労働組合の課題

# 自治ひろこ

1428号

2014. 4. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

## 当面の日程

- 6日 守れ憲法!許すな秘密保護法!関西集会 (扇町公園)
- 12~13日 地連・組織拡大アクション21 (神戸グリーンヒルホテル)
- 13日 但馬丹波ブロック臨職評学習会 (養父公民館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920 E-mail:hyogo@pchiro-hyogo.jp

## 地域間格差の拡大は不当 人事院交渉で182万筆の署名提出



交渉支援を行う兵庫の参加者

公務員連絡会自治労は、人事院の「給与制度の総合的見直し」に反対し、3月5、7日と2ブロック別上京行動を実施した。県本部は3月6日の行動に14人が参加した。

### 豊岡裁判闘争

豊岡の過労自殺公務員災害認定闘争で大阪高裁は3月11日、地方公務員災害補償基金本部 上告断念、判決確定へ

豊岡の過労自殺公務員災害認定闘争で大阪高裁は3月11日、地方公務員災害補償基金本部 上告断念、判決確定へ

あつたことに加え、地域福祉計画という新規事業計画の策定を、職員が協力しあうという職場の状況にはなく、責任のある立場からプレッシャーを感じていたと業務の困難性を認めた。また4月の残業は約92時間、5月の残業は約67時間と認め

定、業務の過重性や長時間労働など複数の要因を総合的に判断し、組合員の負担が公務員が原因と判断され原告の主張がほぼ認められる形となった。

「4月に新入職員11人および入職3年以内の若手職員」の交流会を実施し、青年部の活動理念や具体的な取り組みについて伝える場を設けています。昨年秋実施した青年部員対象のアンケート結果を踏まえ、4月を迎えました。本紙を読まれている方の中には、新しく自治労の仲間になられた方もおられることでしょう。今号では、新入職員のみならず最も年齢が近い青年女性部(青女部)の活動を紹介します。青女部では、様々な取り組みを通じて、交流や学習を深めています。協力いただいたのは、南あわじ市職労青年女性部長の藤本佳幸さんです。

「組合員」なら、動員とか賃金闘争というイメージが先行してしまいます。それが重要ですが、私たちの職場は、ある意味、運命共同体なのです。何十年と顔

「組合員」なら、動員とか賃金闘争というイメージが先行してしまいます。それが重要ですが、私たちの職場は、ある意味、運命共同体なのです。何十年と顔

交通の必要性訴え 取り組み進めよう 都市交評、春闘学習会開く

「27年度末をもって事業廃止」の判断行なった(神戸) 最後は兵庫交通の平田副代表、長い間ご苦労さでした。一方、この季節は新しい仲間を迎える。学校を卒業しても就職できなかったという不安の中で、厳しい競争にさらされてきた世代。当然、賃金や労働条件へも影響は現れており、労働組合の必要性はますます高まっている。先月開かれた県本部の「組織化重点推進会議」で「声をかけてもなかなか組合に入ってくれない」という役員が悩みが交流された。いかに労働組合の必要性を理解してもらうのか。毎年のこの季節は、声をかける私たちが「組合とは何か」を自問自答する季節でもある。

今年も桜の季節がやってきた。職場から多くの仲間が去っていき、今年定退職を迎えた方々は、1972年から76年頃に就職された方々が大半である。春闘での賃上げ率が過去最大となったのが74年32.9%であり、その前後に就職された世代である。当時の日経連との結果を受けて、賃金抑制攻撃を強めた。春闘再構築をたかたかてこられた世代、長い間ご苦労さでした。



淡路3市の青年女性部長会議の様子。右端が藤本さん

「新人職員のみならず幅広い年齢層」の交流会を実施し、青年部の活動理念や具体的な取り組みについて伝える場を設けています。昨年秋実施した青年部員対象のアンケート結果を踏まえ、4月を迎えました。本紙を読まれている方の中には、新しく自治労の仲間になられた方もおられることでしょう。今号では、新入職員のみならず最も年齢が近い青年女性部(青女部)の活動を紹介します。青女部では、様々な取り組みを通じて、交流や学習を深めています。協力いただいたのは、南あわじ市職労青年女性部長の藤本佳幸さんです。

「組合員」なら、動員とか賃金闘争というイメージが先行してしまいます。それが重要ですが、私たちの職場は、ある意味、運命共同体なのです。何十年と顔

交通の必要性訴え 取り組み進めよう 都市交評、春闘学習会開く

「27年度末をもって事業廃止」の判断行なった(神戸) 最後は兵庫交通の平田副代表、長い間ご苦労さでした。一方、この季節は新しい仲間を迎える。学校を卒業しても就職できなかったという不安の中で、厳しい競争にさらされてきた世代。当然、賃金や労働条件へも影響は現れており、労働組合の必要性はますます高まっている。先月開かれた県本部の「組織化重点推進会議」で「声をかけてもなかなか組合に入ってくれない」という役員が悩みが交流された。いかに労働組合の必要性を理解してもらうのか。毎年のこの季節は、声をかける私たちが「組合とは何か」を自問自答する季節でもある。

今年も桜の季節がやってきた。職場から多くの仲間が去っていき、今年定退職を迎えた方々は、1972年から76年頃に就職された方々が大半である。春闘での賃上げ率が過去最大となったのが74年32.9%であり、その前後に就職された世代である。当時の日経連との結果を受けて、賃金抑制攻撃を強めた。春闘再構築をたかたかてこられた世代、長い間ご苦労さでした。

## 組合は成長できる場

### 青年女性部が 新入職員に説明会

記録的な降雪をもたらした4月が終わり、4月を迎えました。本紙を読まれている方の中には、新しく自治労の仲間になられた方もおられることでしょう。今号では、新入職員のみならず最も年齢が近い青年女性部(青女部)の活動を紹介します。青女部では、様々な取り組みを通じて、交流や学習を深めています。協力いただいたのは、南あわじ市職労青年女性部長の藤本佳幸さんです。

「組合員」なら、動員とか賃金闘争というイメージが先行してしまいます。それが重要ですが、私たちの職場は、ある意味、運命共同体なのです。何十年と顔

交通の必要性訴え 取り組み進めよう 都市交評、春闘学習会開く

「27年度末をもって事業廃止」の判断行なった(神戸) 最後は兵庫交通の平田副代表、長い間ご苦労さでした。一方、この季節は新しい仲間を迎える。学校を卒業しても就職できなかったという不安の中で、厳しい競争にさらされてきた世代。当然、賃金や労働条件へも影響は現れており、労働組合の必要性はますます高まっている。先月開かれた県本部の「組織化重点推進会議」で「声をかけてもなかなか組合に入ってくれない」という役員が悩みが交流された。いかに労働組合の必要性を理解してもらうのか。毎年のこの季節は、声をかける私たちが「組合とは何か」を自問自答する季節でもある。

今年も桜の季節がやってきた。職場から多くの仲間が去っていき、今年定退職を迎えた方々は、1972年から76年頃に就職された方々が大半である。春闘での賃上げ率が過去最大となったのが74年32.9%であり、その前後に就職された世代である。当時の日経連との結果を受けて、賃金抑制攻撃を強めた。春闘再構築をたかたかてこられた世代、長い間ご苦労さでした。



大植 賢 (豊岡市職労)









### 戦争をさせない全国署名で

# 止めることができる



1500人が参加し、集会後はデモを行った

## 戦争をすすめる 「集団的自衛権の行使」反対

4・6関西集会

安倍政権は昨年、「特定秘密保護法」強行採決。さらには国会で「集団的自衛権の行使容認」を憲法解釈の変更で進めようとするなど、実質的な改憲の道に踏み込んでいく。こうした情勢を受け、学者、有識者ら

の呼びかけで3月には「戦争をさせない1000人委員会」が発足するなど、国民レベルの運動がはじまっている。このような動きと連動して、平和フォーラムは4月6日、大阪・扇町公園で「守る憲法！許さぬ秘密保護法！関西集会」を開催。1500人が参加した。集会では、福山真劫、平和フォーラム代表が「憲法が戦後最大の危機に陥って

いる。集団的自衛権の行使容認は平和憲法の放棄になる。行使容認、原発再稼働、沖縄の新基地建設について国民の多数は反対。1000人委員会を地域、職場で呼びかけ、1000万人署名を頑張れば絶対とめる」と訴えた。集会終了後はデモ行進を行い、「集団的自衛権の行使容認反対」「秘密保護法廃止」「原発再稼働反対」を訴えた。

## 病院集会 「年休が権利、知らなかった」



分散会の様子

衛生医療評は3月7日、共済会館で病院集を開き、13単組63人が参加した。飯田雅子議長が「評議会の交流から権利に気づき、職場の問題を一緒に解決しよう」とあいさつした。

分散会では、7つに分かれ職場の課題を交流。参加者からは、「年休が権利であることが知らなかった」「他病院の現状や勤務体制を知ることが、自分の病院の業務改善策が見つかった」「良い刺激を受けた。今後の活動にいかしていきたい」との声が出された。また、今年も臨時職員は、分科会を設定。その中では、人員不足でリーグ業務も担当している(看護師)、業務内容を事前説明を變更されることある(介護福祉士)等の実態が報告された。



県本部結成60年 1984~1993年

83年末に県本部は、全国で最初の完全組織化を達成。87年国鉄分割民営化。89年総評解散連合発足。93年は細川非自

民6党連立内閣発足。自民党38年の政権に幕。小選挙区比例代表制が成立。81年の第2臨調発足後、行政改革、民営化の風が吹きま

くつた。自治労は、非正規労働者の処遇改善と組織化を取り組んできたが、全国協議会が結成されたのが2003年。初代議長で県本部執行委員を10年務められた中谷紀子さんに語ってもらった。三木市は80年に全小学校で

## たたかいは楽しく 自分たちが声あげてはじまる



初代全国議長も務めた中谷さん

給食労働組合を結成した。ところが、毎年月に契約更新があるのだが、組合をつけたその年、全員解雇となった。解雇撤回ということまで3カ月間、座り込み、1日スト、試験会場のピケなどありとあらゆるたたかいはした。県本部現地闘争本部の設置、地労委のあつせ

も入れない。「文句があるならいつでも辞めなさい、替わりはいくらでもいる」とい感じ。それに対して、「何を言っているかわからないので三木市職に相談に行ったが非正規職員の規定はないというので、総評オラッグと播磨ブロックの力を借りながら82年2月三木市学校

なこともあり、最終的には市議会も入ってようやく白紙撤回、再雇用されることができた。団体交渉ははじめから全員参加30人以上。たたかいはしんどいだけでない。楽しくたたかいたいと続かない。当初時給550円だったが、賃金交渉では年収150万円をめざした。それがたたかいの成果もあり、98年には年収400万円程度、退職金もつよくなった。

## 優勝は神戸市職労 第9回県本部卓球大会



12チームが出場した

第9回県本部卓球大会は3月15日、養父市つるぎが丘公園八咫総合体育館で養父市職労の協力も開催された。神戸市職労が優勝に輝いた。大会は予選リーグ、決勝トーナメント方式で行われ、準決勝で前年度優勝の姫路市職が接戦の末敗れるという展開の中、常に安定した試合運びを進めた神戸市職が優勝した。準優勝は朝来市職、第3位には姫路市職が輝いた。

**【60周年記念事業】**

### ゴルフロングランコンペの案内

開催期間 6月1日(日)~8月31日(日)

開催場所 西脇カントリークラブ

参加対象は組合員または自治労共済加入者。詳細は、各単組に案内します。

### 安倍政権下で進む“壊憲”の危機

5・3兵庫憲法集会に結集し、戦争準備をストップさせよう!

5月3日 13:30~16:00 講師 河上 暁弘さん  
広島市立大学広島平和研究所准教授

神戸市勤労会館 大ホール

じちろうマイカー共済は「標準型」から

長期、無事故の優良ドライバーに有利!

- 最大22等級 ●64%割引
- 職域掛金と10%の団体割引
- 24時間365日安心のサポート体制

自治労共済生活協同組合員用の掛金で提供中

特約割引、車両損害補償の組み合わせでニーズに応えます

自治労共済本部







# 「定時で帰れるのが当然」

## 播磨・但丹で春闘期交流会

青年女性部

**泊りで夜まで懇親深める**

播磨・但丹の各ブロック青年女性部は、14春闘期に交流会を開催した。職場実態や賃金交渉を話し合い、春闘への結集をはかった。

2月28日、3月1日、新温泉町内で開いた但丹ブロック交流会には、9単組から35人が参加。2日間にわたる分散会では、職場の

### 休憩とれない、高温・騒音 尼崎斎場で職場安全点検

阪神淡路ブロック現業評議会は3月25日、尼崎市立弥生ヶ丘斎場で職場安全点検を実施。当該職場の尼崎環境財団職員労働組合の組合員を含め5単組13人が参加した。

現評議長、斎場所長のあいさつ後、当該の組合員から、職員体制や業務内容、労働条件などについての説明を受けた。ここでは課題として、炊事場のボイラーによる高温と騒音などが出された。その後、運ばれてきたご遺体を受け入れ、遺族が別室へ火葬骨上げと進む一連の流れとともに作業環境について、詳しく説明を受けながら、危険な個所はないか施設の点検を進めた。

最後に、施設点検を踏まえ、参加者それぞれの



炉の裏を点検する様子

気づいた点について意見を交換を行い、次のような意見が出された。

- ・施設内の殺菌などの注意表示が少なく、通路の安全が確保されていないところがある。
- ・取骨室など、ご遺族が利用する場所で温度が高くなる場所がある。
- ・電気系統の点検に必要な照明が確保されていない。

今後は、出された意見をあらためて現評事会で議論し、改善の要望を行っていく予定である。



但丹ブロックでの分散会と神戸交通労組青年部との交流会

開き、前兵庫地方自治研究センター理事長の小島修二さんから「世界の公務員と

日本の公務員」と題し講演を受けた。参加者からは日本と外国の権利意識の違いや労働組合の影響力の違いに驚いた、などと感想が出た。

**神戸交通労組と交流**

県本部青年部と神戸交通労組青年部の交流会を4月5日、神戸交通労組事務所で開催した。自治労と都市交が昨年6月に統合してから青年部レベルでは初めての交流会で、県本部から10人が参加した。

藤原敏也青年部長が、自治労の組織や県本部青年部の活動等を説明。その後の

### 【60周年記念事業】

#### カンボジア寺子屋事業への支援カンパ

— ご協力をお願い —

県本部はエフアジパンの協力のもと、カンボジアの寺子屋で学ぶ子どもたちに文房具等を贈呈します。ご賛同をいただき協力をお願いします。

**組合員 1人100円**  
**最終集約 6月20日(金)**



と当局と話を進めていった。事業所もライフラインが全滅、でも被災者が避難へと続々とやってきていた。クリンセンターも被害を受け、燃やせな

所のごみもとれないといけな

全国から仲間が応援に来てく

れた。泊る所はない、事業所!

## 直営の大切さ実感 阪神淡路大震災からの復興



神戸市従の南さん

94年に村山連立内閣発足。95年の阪神淡路大震災、大きな被害を受け、必死で取り組んだ震災復興。しかしこれ以降、震災による財政赤字を口実とした行革合理化のたたかいが続。97年に消費税5%に、99年に多紀郡4町が合併、02年に初の給与引き下げ勧告が出た。

震災当時の清掃職の実態について神戸市環境支部の南昭支部長に話を伺った。当日は車が動かず、昼間支部事務所へ着くと、全国から「応援に行く」と電話がかかってきた。

当時は、災害が起こったまの「マニュアル」はなく、支部

意見交換では神戸交通労組から「統合のメリットは」などの質問があり、「組合の最大の武器は数」などのやりとりが行われた。

県本部からも神戸交通労組ではどのような活動をしているかを質問。「交流会

を開催したり、市民アピールとして、年2回車両をデコレーションしたバスを運行している」などの回答があった。お互い積極的に質問しあう有意義な学習会となった。

ZENROSAI NEWS 51734271

基本補償(標準型) + 特約・割引 = あんしん共済

特約をプラスして、さらに広がる安心!  
家計にうれしい割引制度で、掛金がおトク!

じちろう  
**マイカー共済**

自動車総合補償共済  
カーライフを応援する、頼れる補償

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

**自治労共済本部**

全労連、産別を問わず、保障の生活として共済事業を認め、組合員の皆さまの安心と幸福を願い、活動しています。お預かりしている「あんしん共済」は、各種共済をご利用いただけます。





# いのちをくらし、平和を守る憲法

## 改憲でなく、理念の実現を

5・3兵庫憲法集会

憲法施行67年目を迎えた。自治労兵庫県本部は、神戸市勤労会館で「やめる安会実行委員会(事務局)自倍ストップ戦争準備」を



憲法集会で話す河上さん。5月10日大阪府の関西集会で開かれた平和フォーラム

して坂本三郎副実行委員長(一部解放同盟兵庫連委員)が、安倍政権による

平和憲法がつかない危機にある。各地で改憲を許さず憲法を守る運動を進めていこうとあいさつ。

「日本の誇りを取り戻すこと」と強調した。

その後、課題別報告として①労働法制改悪の沖縄基地問題②慰安婦問題の報告が行われた。

最後に「憲法を私自身の手で行く」と宣言し、参加者全員でたたかいを誓い合った。

「日本国民の誇りを取り戻すこと」と強調した。その後、課題別報告として①労働法制改悪の沖縄基地問題②慰安婦問題の報告が行われた。

最後に「憲法を私自身の手で行く」と宣言し、参加者全員でたたかいを誓い合った。

大植賢代表は、県本部のコンクールですそ野を広げようと提案、参加者で確認した。



県本部結成60年 2004~2013年

また、この10年で私たちの賃金労働条件は大きく変わった。「50年に1度」といわれた給与構造改革、そして「平成の大合併」である。

超勤完全支給のたたかい。全国に先駆け、99年に合併した篠山市。市職労で初代書記長

の任に就いた酒井和正さんに取材した。「当事者としては、「先駆け」という意識はなかったが、結果的にそうだった。兵庫県内はか富士や鳥取など、全国に講師として招かれた。伝えたかったのは、「合併はスタートするまでが重要なこと」ということ。

勤務手当支給との書面を交わしていたが、瀬戸市長(当時)が反故に、「予算を超える分は支払わない」との態度に出たのである。完全支給を求め、県本部現地地闘争部を設置しての取り組みもつた。

が開催され、12単組22人が参加した。この講師の1日目は青年部女性部が企画、

## 労使協議をしっかりと合併はスタートまでが重要

09年「国民生活第一」を訴える民主党が政権交代を実現。戦後続いた自民党政治は終えんしたかに思えたが、民主党の政権運営のまずが自民党の政権復帰を許すこととなった。自治労は02年の全競労(現、公競労)との統合に続き、11年に全国一般と、13年には都市交と組織統合を果たした。

目的、賃金労働条件をしっかりと労使で協議しておくことだ。合併後の単組運動で最も印象に残ったのは、時間外手当完全支給のたたかいだ。合併後の混乱や業務の変化によって職員の時間外が増えた。市職労は03年に「02年度時間外

「間違えないよう必死です」

県本部書記の瀬合宏江さん。4月に採用された。生まれも育ちも淡路だ。県職労で臨時職員として働いていた経験もあり、「初めて組合事務所へ勤めて働

「淡路にはいろいろな観光スポットがあるが、最近では築100年といった古い民家を改装したカフェが増えていて、新たな淡路の魅力」と地元をアピールする。

運動部が企画、2日目は「自治労共済」入権平和運動について学習した。

に気がなくなる。問題を見抜くためには仲間との討論が必要。苦しい時こそ「外に出よう」と強調した。

その後、分教会で職場実態を交流。参加者からは「他単組の状況を聞き自分の単組の改善点が見えた。」などの感想が寄せられた。

組合員のみ皆さまに充実した内容の共済をご提供しています

総合共済 団体生命共済 長期共済/税制適格年金 親子共済 火災共済+自然災害共済 マイカー共済

全労済 全日本自治労共済生活協同組合連合会

# 自治ひろこ

1432号

2014. 6. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森蔭 守 編集人/宮本誠之

## 当面の日程

- 17日 2014労働安全衛生生集会 (神戸市教育会館)
- 21日 平和フォーラム・ひょうご学習会 (ラッセホール)
- 28日 講演会「DVから見た女性の権利」  
(ザ・マカスカスエア神戸)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920 E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

## 結成60周年 記念講演会

テーマ 神戸における大震災からの復興

講師

矢田 立郎さん(前神戸市長)

とき 6月27日(金) ※臨時大会終了後  
ところ 新長田「ピフレホール」



# 政治方針 組織討議へ

## 本 豊岡裁判からの課題発言

自治労本部第147回中央委員会が5月27・28日、仙台市で開催された。被災地での開催となったが、被災自治体では災害に備えた適切な人員配置、職員モチベーション維持やメンタル対策が大きな課題となっている。中央委員会では、「給与と制度の総合的見直し反対の取り組み」をはじめとした当面の闘争方針などが採択された。また、「新たな政治対応方針」を組織討議に付すことが決まった。

### 公災制度の改善を

冒頭、氏家雄委員長は、「新保守新自由主義への道が猛威を振るっている。集団的自衛権の行使、解釈改憲など安倍政権の暴走に歯止めをかける必要がある。自民党の一強多弱を食い止めるためには中道リベラルの結果が必要だ。自治労が一丸となつてたかうしかない」と決意を述べた。本委員会では自治労の総合的見直し反対の取り組み、闘争をさせないたたかい、



兵庫県本部は、報告の部 豊岡市職員労働組合の公務士認定裁判で勝利

## 反行革集会の分科会報告

4月の地公法改正を受けて、運動提起が行われ、その後2グループに分かれて議論を深めた。町職単組および各都市

## 米軍参加は中止を

8月末実施の総合防災訓練



井戸敷三知事は4月28日の定例記者会見で、県と阪神地域8市町が8月に実施する総合防災訓練に「在日米軍の参加を要請した」と述べた。また、阪神8市町は、受け入れ本部が6月3日、兵庫県職労とともに「在日米軍の参加中止を求める」要請を兵庫県に行った。森蔭守書記長は、「防災

判決を勝ち取った経緯と地方公務員災害補償制度の改善に向けた取り組みを本部に要請した。具体的には、基金支部での公務士認定から勝訴決定まで1年以上の年月を要したこと、災害補償基金が公務士災害認定をさせない機願となっていること、公務災害補償が労災補償と同程度の適用とさせるなどの制度改定を強く求めた。本部からは安全衛生確立に向けた方針の中で同様の取り組みを進めていくと確認した。

## 横行する雇用止め

臨時非常勤等職員の継続雇用についての分科会には、25人が参加した。当局は財政難を理由に、正規職員から臨時職員におきかえている。恒常的な仕事を担っている臨時職員だが、法的には有期雇用のため、1年や3年と雇用年限をつけておられる。継続雇用については、意見交換を行った。

訓練への米軍参加要請は唐突で驚いている。経過など詳細を聞かせてほしい」と説明を求めた。災害対策局の瀬尾和章課長は、「南海トラフ地震では、『困難』ともいえる事態が想定されている。消防、警察だけでなく対応できないと考え、東日本大震災で経験のある米軍に要請した」と答えた。また、阪神8市町には、県が説明し理解を得ていることも付け加えた。県本部からは、米軍の指揮命令系統はどうなるのか、米軍にどんな支援活動を要請しているのか等、疑問点をぶつけたが、県当局は「訓練の中止は決まっていない。現段階では米軍が

## いまいち座



ダブルバインド

参加できるか尋ねているにすぎない」と無責任な説明に終始した。大野義政副委員長が「軍隊は戦争を遂行するための団体。米軍の参加要請を再考してもらいたい。また、県行政として、軍隊に協力

## しこう

この数カ月、テレビや新聞などで「集団的自衛権」という言葉を聞かない日はない。日本は憲法9条のおかげで戦争をしな



# 電車寝過ぎし何度も

## 過酷な夜勤実態、改善が必要

ナースアクション

衛生医療評議会が毎年 会館において開催し、14 組17人が参加した。飯 組17人が参加した。飯 ショーンを5月31日、私学 田雅子議長(西神戸医療セ ンター)は、冒頭のあいさ つで、「私たち医療労働者 が自ら行動し、発言しない と何も改善しない。職場 地域で声をあげよう」と参 加者に訴えた。

澤本明事務局長の提起で は、「夜勤の苛酷さから、何 度も電車で乗り過ぎしてし まった」「からついてバス に乗れず、タクシーで帰宅 した」など、自身の経験 に触れ、職場改善を訴えた。 また、今日の政治情勢に関 連し、医療労働者が有事の 際に動員される危険性、 組合員の権利を代弁する候 白衣を着て、元町駅前 で看護師と介護士の処 遇改善を訴えた。



衛生医療評議会が毎年 会館において開催し、14 組17人が参加した。飯 ショーンを5月31日、私学 田雅子議長(西神戸医療セ ンター)は、冒頭のあいさ つで、「私たち医療労働者 が自ら行動し、発言しない と何も改善しない。職場 地域で声をあげよう」と参 加者に訴えた。

伊丹病院労組の4単組が 行った。会場からは「育児 休業者をスムーズに復帰さ せる取り組み(県職労)」「夜 間の入院患者受入に手当支 給(赤穂)」の報告に質問 や感想が寄せられた。

集会後は、元町駅周辺と 大丸前交差点に会場を移 し、市民に向けて看護師と 介護士の労働実態を訴える とともに、労働環境改善に 向けて活動の支援を呼びか けた。

公災認定求め 支援団体を結成 明石アスベスト災害 阪神淡路大震災のれき 処理でアスベストを吸い、 悪性腫瘍や皮膚癌を発症した として、公災認定を申請し たが、「公務外」とされ ない明石市の職員の遺族 が、決定不服として5月 21日、地方公務員災害補償 基金神戸支部に対し「審査 を確認している。

証拠開示と事実調べを 再審を求める狭山市民集会 51年前、石川一雄さんが 不当逮捕された5月23日、 「狭山事件の再審を求める 市民集会」が、東京におい て開催された。

かけつけアピールした。 集会終了後、参加者はデ モ行進し、道行く人々に、 石川さんの無実と、1日も 早い再審開始を訴えた。ま た、集会前日には、人権政 策確立を求め国会議員への 要請行動を実施した。

公災認定求め 支援団体を結成 明石アスベスト災害 阪神淡路大震災のれき 処理でアスベストを吸い、 悪性腫瘍や皮膚癌を発症した として、公災認定を申請し たが、「公務外」とされ ない明石市の職員の遺族 が、決定不服として5月 21日、地方公務員災害補償 基金神戸支部に対し「審査 を確認している。

健康した上郡の投手 豊病が加東市職労、準 優勝に佐用町職、第3位に 神河町職となった。上位2 チームが県本部大会に出 場。また、前年度県本部大 会優勝の小野市職も出場権 あり、プロックからは3 その裏山が2点を取りし 返す一進一退の攻防となっ たが、同点で迎えた5回に 新温泉が一挙3点を入れ、 7回にもグメ押しした3点に より、11対5の大差で優勝 の栄冠をつかんだ。

証拠開示と事実調べを 再審を求める狭山市民集会 51年前、石川一雄さんが 不当逮捕された5月23日、 「狭山事件の再審を求める 市民集会」が、東京におい て開催された。

かけつけアピールした。 集会終了後、参加者はデ モ行進し、道行く人々に、 石川さんの無実と、1日も 早い再審開始を訴えた。ま た、集会前日には、人権政 策確立を求め国会議員への 要請行動を実施した。

かけつけアピールした。 集会終了後、参加者はデ モ行進し、道行く人々に、 石川さんの無実と、1日も 早い再審開始を訴えた。ま た、集会前日には、人権政 策確立を求め国会議員への 要請行動を実施した。

## 優勝は三田(野球) 女子バレーは宝塚

阪淡プロック

阪神淡路プロック野球大 会が、5月17日と24日の淡 路市で開催され、7単組が 熱戦を繰り広げた。 準決勝を勝ち上がり県本 部大会出場を決めた宝塚市



淡路で行った野球大会

職労と三田市職労が、決勝 をたたかった。息詰まる接 戦の末、安定感で勝った三 田市職労がサヨナラ勝ちでプ ロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で

開催された。 4チームがエントリーし、2つの県本部出場権を 争った。宝塚市職労がサヨナラ勝ちでプロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で

開催された。 4チームがエントリーし、2つの県本部出場権を 争った。宝塚市職労がサヨナラ勝ちでプロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で

開催された。 4チームがエントリーし、2つの県本部出場権を 争った。宝塚市職労がサヨナラ勝ちでプロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で

開催された。 4チームがエントリーし、2つの県本部出場権を 争った。宝塚市職労がサヨナラ勝ちでプロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で

開催された。 4チームがエントリーし、2つの県本部出場権を 争った。宝塚市職労がサヨナラ勝ちでプロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で

開催された。 4チームがエントリーし、2つの県本部出場権を 争った。宝塚市職労がサヨナラ勝ちでプロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で

## 県本部 スポーツ大会

# 出場めざし各プロックで熱戦



アタックを決める豊病

県本部野球大会出場権を かけて播磨プロック町職野 球大会が4月26日、27日と 2日間にわたって上郡町で 開催。今年度はチームが エントリーし、安定した

開催された。 4チームがエントリーし、2つの県本部出場権を 争った。宝塚市職労がサヨナラ勝ちでプロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で

開催された。 4チームがエントリーし、2つの県本部出場権を 争った。宝塚市職労がサヨナラ勝ちでプロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で

開催された。 4チームがエントリーし、2つの県本部出場権を 争った。宝塚市職労がサヨナラ勝ちでプロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で

開催された。 4チームがエントリーし、2つの県本部出場権を 争った。宝塚市職労がサヨナラ勝ちでプロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で

開催された。 4チームがエントリーし、2つの県本部出場権を 争った。宝塚市職労がサヨナラ勝ちでプロック大会優勝を決めた。 また、女子バレーボール 大会が6月1日に宝塚市で

高まる訴訟リスクに備え、安心して公務に従事していただくための保険です。

自治労の公務員賠償責任保険 スタート

(公務員賠償責任保険+看護職賠償責任保険+薬剤師賠償責任保険)

一般職(事務職の他、農業・土木・電気等の技術職も含みます)の他、毎月15日締切、翌月1日発効

専門職(保育士や社会福祉士、建築士等)も加入できます。

●保険料が現行制度より安く、補償が厚くなりました。

●専門職(看護師・保育士等)の業務に起因する事故も補償します。

●初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償します。

# 自治ひょうこ

1433号

2014. 7. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/森藤 守 / 編集人/宮本誠之

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920 E-mail:hyogo@pchiro-hyogo.jp

## 当面の日程

- 3日 「給与制度総合の見直し」等人事院勧告に対する単組代表者会議(共済会館)
- 7日 2014年度第10回執行委員・専従者会議(原本部会議室)
- 9日 2014年勤期ブロック別上京行動

異本部は、人員確保、男女平等闘争を6月6日、夏期一時闘争を13日に行い、各単組ではストライキなど戦術配置して交渉が実施された。

阪神淡路ブロックでは、要求書は26単組、32単組中

男女金 男時 女保 男保 女保 男時

## 重点職場取りあげ交渉

### 西脇 来年度41人採用を確認

異本部は、人員確保、男女平等闘争を6月6日、夏期一時闘争を13日に行い、各単組ではストライキなど戦術配置して交渉が実施された。

阪神淡路ブロックでは、要求書は26単組、32単組中

# 沖縄の戦場化を想定

## 第17回平和・人権・環境を考える集い

## 政府の安全保障論を批判

異本部は6月7日、丹波市の柏原住民センターで第17回平和・人権・環境を考える集いを開催した。「平和をメインテーマにした集いには、沖縄から伊波洋一、宜野湾市長を招き、記念講演を受けた。伊波さんは、米国の軍事戦略を分析したうえで、「米国は沖縄を戦場にすることを研究している。日本政府もその前提で議論を進めているが、再び沖縄を犠牲にするのか」と参加者に問いかけた。分科会では、「地域から平和を考える」など、4つにわかれて議論を深めた。



講演を行う井波さん(左)と山岡ウオークで柏原の自然に触れる参加者

今年の集いは憲法たんばと共催で行い、組合員、共同団体の丹波、篠山市民など150人が参加した。開会にあたって本多義弘委員長は、「戦争や甚大な原発事故など、悲惨な経験をおぼえてはいけない」とあいさつした。

「沖縄基地問題と安倍政権の軍事的危険性を考える」と題した記念講演を伊波さんが行った。中国の経済成長を踏まえた米国は、

が提出し、6日の統一行動には6単組が参加した。また、13日の一時闘争も同時交渉した単組が16あった。合併後、定員適正化計画で人員が減少し続けた淡路3市職労は、適正な人員配置と超過勤務の縮減を訴

え、取り組みを進めた。宝塚市職労と三田市職労では、人員不足で早急に対応が必要な重点職場を取りあげ交渉を進めた結果、人員配置を含めて検討することを確認した。

播磨ブロックでは、高砂

## 1000人委員会を結成

### 集团的自衛権反対の運動強める

フォーラムひょうこは6月21日、神戸で学習会と戦争をさせない1000人委員会(ひょうこ)の結成集会を開き、高良鉄美琉球大学を講師に、自衛隊の再任用希望者の全員雇用を要求、6月に再任用希望者の募集締め切り、7月には人員採用計画を再作成するの場で再協議を希望する」との回答を得た。

また、昨年結成した南但広域労組は、事前協議協定を締結するとともに今月初めて独自人員配置計画を早期に明らかにすることを要求した。

米中全面戦争や核戦争を回避するため、「非対称戦争」を研究している」と述べた伊波さんは、この作戦で米国は日本が南西諸島で先端を開いて中国軍を攻撃するよう求め、沖縄に「戦場」としては戦場になるとを意味している」と述べた。

日本の安全保障政策は本土を戦場にするを想定している」と強調し、「自らの頭で考えない安全保障論だ」と批判。数年前には日本の何十倍もの経済力を有する中国と競争するのはなく、学び合い、互いに成長できる関係を構築すること

## 私たちの声届けよう

### 人事院に要請はがきを

2014年勤期の取り組み	
【全国統一行動日(時間外集会)】	
第1次	6月20日(金) 人事院要求書提出の翌日
第2次	7月10日(木) 第2次ブロック別上京行動最終日
第3次	7月29日(火) 中央行動に合わせ
第4次	8月上旬 人事院勧告日の翌日
【要請はがき行動】	
期間	7月末日まで
対象	全組合員

「地域間配分の見直し」などを含む給与制度の総合的見直しを、人事院は勧告しようとしている。これは政府の公務員給与政策と歩調をあわせるもので、人事院は第三者としての責任を放棄することになる。対人事院闘争に集中し、生活を守るたかいかいを強めよう。

### いまいち座

大植 賢 (豊岡市職労)

ためこみすぎないで!!

大植 賢 (豊岡市職労)

教授から講演を受けた。高良さんは「戦争の反省から生まれた平和憲法」集团的自衛権は平和憲法のDNAを変えるもの。武器輸出3原則の緩和、秘密保護法の強行、教育委員会制度の改悪などに戦争の臭いを感じている。自衛隊は軍人数では独仏、英を上回り、実質世界3位の軍事予算。沖縄の基地軽減という

が、普天間の辺野古への移設で73.8%が73.1%になるだけ。沖縄のリスクは米軍基地、アメリカのやる解争にくっついていって憲法解釈の変更を反対しよう」と訴えた。講演後、「結成集会アピール」を確認、解雇変更の閣議決定に反対する運動を発展させていくことを参加者全員で確認した。学習会の前後には、フォーラムの総会が行われた。

実施した。

①の分科会では、憲法たんば、ピースネット、明石、平和友好祭運動から報告を受け「担い手づくり」などで交流を深めた。

加古川 松崎さん  
7期目の選挙結果です  
6月22日市議会選挙

「戦争になったらどうに逃げたらえの?」集团的自衛権の憲法解釈の変更を進めたい安倍政権のニュースに、妻が真剣に聞いてきた。子どもと一緒にどこまで逃げるか自信満々。「子どもは逃げんとなあ」と話した。「戦争となつたら国はホントの事は言わんな」「アンタもあやしいな」「インターネットがあるから昔みたいには隠せんぞ」▼逃げる「避難」の言葉が出てきて、話は自然と福原案の話に移る。「子連れで西へ西へと逃げていく、愚かな母と沖縄に移住した歌人の伊方智の思いに共感して、妻は事故以来何年も口にする。「どこに逃げたらいいか」は切実だ▼」に逃げるかを考えていたら、遠方の懐かし親戚や友人の顔が浮かんできた。懐かしく近い関係になった。争いが近しい関係に感じて会いたくなってくるから不思議だ▼夏が近づいてどこに逃げるかよりも、どこに遊びに行くかの話したい。



# 全国署名175万筆を提出

## 国会前阻止行動も継続

### 戦争をさせない1000人委員会



日比谷野音には3000人が集まった

戦争をさせない1000人委員会は、集団的自衛権の行使容認の閣議決定強行に反対する集会を6月12日、日比谷野音で開いた。あわせてこの間取り組んできた全国署名175万筆(署名は継続中)を衆参両議長宛に提出した。

主催者あいさつを行ったルポライターの鎌田慧さんは、「戦後レジームからの脱却とは、私たちが築いてきた戦後民主主義を破壊しようという野望だ」と批判。その後、大江健三郎さん、菅原文太さん、香山リカさんなどがかけつけ激励した。



「子どもと楽しく遊ぼう」のワークショップ

# 現場の思いを支援事業計画に

## 子ども・子育て支援制度

第31回保育を考えるつどい

県本部は6月22日、豊岡市内で第31回保育を考えるつどいを開催し、230人が参加した。

社会福祉協議会の内海千寿議長は「子ども子育て支援新制度の本格実施が来年4月に迫っている。各単組で学習会を開催し、自分の自治体の子ども子育て支

援事業計画の内容や今後の動きについて当局・協議、現場の思いや組合の要求が反映できるように取り組んでいただきたい。この保育を考えるつどいは、労働組合としての人員確保や非正規職員の処遇改善など職場改善とあわせ、日々の保育改善と専門的な知識の研修の場でもある。互いの報告に学び合い、実りあるつどいにしていただきたいと主催者あいさつを行った。また、本多義弘委員長、太

## 県本部労安集会 「メンタルで休む人多い」

### 上野さん 予防活動の重要性訴える

6月17日、県本部労働安全衛生集会が開催され、17単組30人が参加した。開会にあたって草本誠之副委員長が、「この集いを機に各単組、職場で労働安全衛生

(労安)の取り組みを進めてほしい」とあいさつした。取り組み報告では、豊岡

市過労自殺公務災害認定闘争の勝訴、明石市震災アセスメント公務災害認定の取り



自治労顧問医の上野さん

講義は、「過重労働が心身に及ぼす影響と対策」と題して自治労安全衛生対策室顧問医の上野満雄さんが行った。上野さんは地方公務員の自殺や心身の疾患、セクハラ、パワハラ、いじめなど職場の人間関係の問題に触れ、労安委員会は、過重労働だけでなく、ハラスメント、環境改善などありとあらゆる内容が議題となる。予防活動としてしっかりとやしてほしい」と訴えた。分談会では、各単組での労安の取り組みを交流した。

## 試験の仕方は工夫を 雇用は協議が必要

### 臨職評が対県交渉で確認



追及する臨職評の前田議長

県本部臨職評は6月12日、市町振興課と教育委員会との交渉を行った。交渉には加古川パート分会、三田

嘱託分会、伊丹市職労臨職部も参加。それぞれが抱える問題を訴えた。市町振興課交渉では①試

験制度②空白期間③年休の繰り越し④外部委託などについて訴えた。市町振興課は試験について能力の実証として必要、しかし試験の仕方は各自自治体で工夫できることを助言すると答えた。また、雇用と年金の接続のため、60歳以降の雇用について今年申入書に付け加えた。そして臨職等の任用根拠や処遇について、総務省と本部臨職協との協議を確認事項を、各市町に徹底することや、関係担当者会

議等での更なる徹底を再度確認した。教育委員会交渉では児童の命に係わる多岐のアレルギーや伝染病などの研修が研修を受けられるように各自自治体への助言を求めたところ、教育委員会も助言していることを述べた。また外部委託導入による臨時職員の雇用問題は、市の雇用者責任で丁寧な協議が必要、総務省通知の主旨は指導したいと答えた。

## 南あわじが見事優勝

### 県本部女子バレーボール大会



優勝した南あわじのメンバー

第36回自治労県本部女子バレーボール大会は、6月14日、丹波市柏原住民セン

ターで丹波市職労協力のものと開催し、南あわじ市職労が見事優勝に輝いた。今大会は、予選を勝ち抜いた県職労神袖、神戸市職労、宝塚市職労、南あわじ市職労、小野市職、加東市職労、佐用町職、豊岡市職労、豊岡病院労組、丹波市職労の10チームが参加し、熱戦を繰り広げた。

大会はトーナメント方式で行われ、初戦で前年度優勝の小野市職がセットカウント2-0のストレート負けという展開の中、終始安定した試合運びを進めた南あわじ市職が優勝した。準優勝には佐用町職が輝いた。

じちろう  
**マイカー共済**は  
『標準型』から

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会  
**自治労共済本部** 詳細は組合までお問い合わせください  
全日本自治労労働者共済生活協同組合



ベースは『標準型』

組合員とその家族に手頃な掛金で安心を提供する「じちろうマイカー共済」の基本補償が「標準型」。この「標準型」をベースにさまざまな特約や割引、車両損害補償などを組み合わせ、よりニーズにあった補償にできます。

# 自治ひろこ

1434号

2014. 7. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円  
購読料は組合費に含まれる。  
自治労兵庫県本部  
書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

## 当面の日程

- 16日 第30回反核平和の火のり出発式(兵庫県庁前)
- 18~20日 第16次県本部沖繩視察団
- 26~27日 地連青年女性協議会「2014夏季セミナー」(神戸セミナーハウス)
- 29日 2014人勤期729中央行動

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部  
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920  
E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

# 新委員長に森蔭さんを選出

## 人勤期のとりくみ強化を確認

第64回臨時大会

県本部は第64回臨時大会を6月27日、新長田フレホールにて開催した。情勢は、安倍政権の給与水準引き下げを狙った「給与の総合的見直し」に対するたたかいや、戦争のできる「集団的自衛権行使」容認反対の取り組みなどが大きな焦点となっている。大会では、11人の代議員から方針に対する補強意見などがあり、人勤期の取り組みをはじめとする「正面の闘争方針」や「会計補正予算」などが賛成多数で採択された。また、本多義弘委員長の任期途中での辞任に伴う役員選挙が行われ、森蔭守さんを委員長に、左川憲さんを副委員長に、尾西亮太郎さんを書記長に選出した。

### 副委員長に左川さん、書記長に尾西さん

冒頭、本多委員長は「近畿労働兵庫の常勤役員に選任され、委員長を辞任することにした。『給与制度見直し』や来年の統一方選挙を控える中、新しい体制でたたかう態勢を整えよう」と述べた。

副委員長に左川憲さん、書記長に尾西亮太郎さんを選出した。左川さんは「近畿労働兵庫の常勤役員に選任され、委員長を辞任することにした。『給与制度見直し』や来年の統一方選挙を控える中、新しい体制でたたかう態勢を整えよう」と述べた。



選出され決意を述べる、上から森蔭委員長、左川副委員長、尾西書記長



族からこれまでの支援に対するお礼があった。

報告の部では、稲美町長選挙支援や加古川市議会選挙の取り組み、臨職評の取り組みの発言があり、一般経過報告、第3四半期会計報告、第2第3四半期監査報告が承認された。

協会の部では、六粟病院組織化、三田図書館指定管理反対、総合防災訓練準備参加中止、アスベスト中皮腫公務員認定、公務員共済制度の存続、「給与制度見直し」反対、現業評議会体制の強化などの意見や猪名川臨職労から直営を取り戻したお礼の発言があった。執行部答弁の後、6議

### 11人から補強意見 格差は不当、アスベスト審査請求再直営化を視野、米軍参加反対

(経過への発言)

稲美町職 六田代議員  
組織内の古谷町長を無投票で再選させることができた。支援に感謝。

明給労 前田代議員  
臨職評の対県交渉で定年や採用年齢制限を設けることとできなかったこと、正規との間で通勤手当に格差をつけたことの不当性を確認している。今後またたか

執行委員

執行委員の確認  
臨時大会では、次の通り役員を確認した。

- 石田 幹治(加東市職)
- 和成 栄(宍粟市職)
- 森本 英行(丹波市職)
- 特別執行委員 本多 義弘(神戸市役)

### 記念集会 功労者を表彰 広瀬危機管理官が記念講演

県本部は、臨時大会終了後に結成60周年記念集会を開催した。集会は森蔭守委員長のあいさつ。自治労運動への功労者17単組1直属支部64人の表彰式を行い、神戸市の広瀬朋義危機管理監・理事より記念講演を受けた。

広瀬さんは「来年1月で震災から20年、42%の市民が震災未経験者。神戸も「市民の安全推進条例」をつくった。備えを怠れば死者の数が99%減らすことができる。まず命を守る、助け合い、地域のコミュニケーションの大切さ、支援に感謝の気持ち、忘れてはならない教訓」と話された。



支援を。加古川市職 松木代議員  
市議選で松本市議の7選を果たすことができた。連帯して反行革をたたかう。

方針への発言  
震災時にアスベストの調査、支援へお礼。  
高砂市職 石野代議員  
55歳昇給停止、現給保障廃止の提案を受けたため、14人勤ではさらなる賃金合理化が予想される。反対運動強化を要する。

尼崎市職 村上代議員  
尾西現業部長が書記長に就任した。現業闘争に支障が出ないようにはし。

### いまいち座

集团的自衛権  
憲法解釈容認  
「総理、お先にどうぞ」



大西 英剛 (兵庫県職)

### しこう

都議会の差別発言が明るみに出たが、発言した者はなかなか名乗り出ない。やっと思いついたように1人の議員が謝罪した。名乗り出ない議員は心臓が鉄板でできているのか? 兵庫県でもまさかの涙の会見。説明に驚かされた。うちの子どもが状態とよく似ていた。あきれた態度である。政府はいつも理屈がいつもつともらしい会見(解釈)を行う。原発の汚染水の問題では100%大丈夫。集团的自衛権では戦争はしないからと平然と意見が通る。心臓も鉄板以上、鋼鉄でできているのだろ? 嘘つきは泥棒のはじまりとよくいつていたが、兵庫県議は嘘をいつて泥棒になってきたのか? 嘘をつくとエンマさまに舌を抜かれるといわれたが都議は舌を抜かれていたのか? 政府はしっかりと嘘で固めているが後戻りできない。嘘だけはいつてはくれない。国民、市民のことを考えてくれる行政にしてほしい。総理を替えてもらわないと。(024)



# 丹波と明石、反核リレーを紹介

## 分科会 地域の平和運動



報告する右より川崎さん、藤原青年部長、狩郷さん

「地域の平和を考える」は、伊波さんを助言者に迎えて実施。冒頭、3人から報告を受けた。

### 「担い手づくり」などで交流

県職労の川崎さんは、憲法たんばの取り組みを紹介。情勢にあわせて講演会や映画会を企画し市民にも呼びかけてきた。一定の市民権を得ている」と述べた。明石市職労の狩郷さんは、ピースネット明石の取り組みを紹介。「02年の有事法制化に危機感を覚え、地域レベルの運動がスタートした。現在は、ピースネット明石とピースフュスタ明石が地域を網羅する運動として定着している」と説明した。

県本部青年部の藤原部長は、今年で30年目を迎える反核平和の火リレー運動を報告する。この分科会は自治研センターが担当し、集団的自衛権の問題点を考えた。丹治初彦弁護士の講演を中心に進めた。同氏は、県本部の顧問弁護士であり、刑法への造詣が深い。開会にあたり、同じくセンターの理事に就く大野県本部副委員長が分科会の趣



講演する丹治弁護士

### 反動政治状況を検証

丹治理事は冒頭、安倍政

「この分科会は自治研センターが担当し、集団的自衛権の問題点を考えた。丹治初彦弁護士の講演を中心に進めた。同氏は、県本部の顧問弁護士であり、刑法への造詣が深い。開会にあたり、同じくセンターの理事に就く大野県本部副委員長が分科会の趣

# 「平和・人権・環境の集い」分科会報告



「総合的見直し」反対「人権闘争の意思統一」を行った単代会議

安倍首相は7月1日、臨時閣議を開き集団的自衛権行使を容認する決定を行った。平和憲法の柱である第9条を空文化するもので、「戦争には参加しない」と

いう日本の政策を180度転換することとなる。ひよこ憲法集実行委員会事務局・自治労県本部は2日、この選挙の抗議行動呼びかけ、三宮で

街頭宣伝を行った。県内各地から約100人が集まり、「戦争に参加すると殺し殺されることになる。子どもたちにそんな未来を残していいのか」「国民を抜



三宮で街頭行動を実施

# 国民ぬきの変更許せない

## 憲法守る、関連法阻止

集団的自衛権 閣議決定抗議

人事院勧告まで大衆行動を背景に人事院交渉を強化していく」と訴えた。

「見直し」の問題点  
①全国一律の賃金水準の引き下げ、②高齢層の賃金水準の引き下げ、③現業職の賃金水準引き下げなど。

意図的に民間賃金の低い12県だけを取り上げ官民較差が2ポイント早ぼとして全国共通の俸給表水準を引き下げようとしている。

# 全単組の賛同団体を

## 1000人委員会・ひょうご

戦争をさせない 1000人委員会  
Anti-War Committee of 1000

6月に発足した「戦争をさせない1000人委員会・ひょうご」の賛同団体が呼びかけられています。全単組の賛同をお願いします。

じちろう  
**マイカー共済**は  
『標準型』から

全共済 自治労共済本部

詳しくは組合までお問い合わせください

ベースは『標準型』

組合員とその家族に手頃な掛金で安心を提供する「じちろうマイカー共済」の基本補償が「標準型」。この「標準型」をベースにさまざまな特約や割引、車両損害補償などを組み合わせ、よりニーズにあった補償にできます。



# 自治ひょうこ

1435号

2014. 8. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円  
購読料は組合費に含まれる。  
自治労兵庫県本部  
書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

## 当面の日程

- 4～6日 原水禁・広島大会
- 6日 水の浄水工程と水循環を考えるツアー  
(神出浄水場、舞子海上プロムナードほか)
- 7～9日 原水禁・長崎大会
- 9～10日 県本部2014現業評議会総会・各種集會  
(舞子ピラ)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部  
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920  
E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

## 職種別分散会で改善点をさぐる

### 青年女性中央大交流集會



台風の影響により参加できなかった仲間も多かったが、21人が集った。交流し、まなびあひ 地方自治確立にむけ 2014.7.11-13

7月11、13日、山梨県で自治労青年女性中央大交流集會が開催され兵庫県内から11単組21人が参加した。基調講演では埼玉大学教授の伊藤修さんより講演があった。伊藤さんは「労働時間の規制緩和は労働時間の増加につながる」と政府が推進する規制緩和政策の問題点を指摘した。夕方は文化交流として、中国地連北信地連、関東甲地連から構成の発表があった。

2日目は本集會のメイン開催され、1日かけて同職種の入と職場実態、組合の取り組みなどを交流した。「同職種の仲間と業務の詳細など」を話して、き、とても有意義だった。などの感想が出された。夕方には兵庫、秋田、栃木、大分で越県交流を行い、組織の結びつきを深めた。



7月9日上京行動での兵庫・近畿の参加者

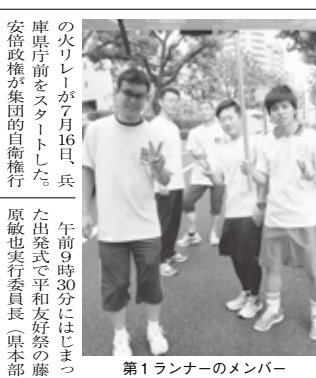
7月16日に、自治労公務員連絡会人事院が検討を進めている「給与制度の総合的見直し」に対し、最後のたたかいを進めている。7月には全国各地からの上京行動を背景に人事院交渉に臨むとともに、29日には中央行動決起集會を開催し、たたかう決意を表明した。

## 人事院「見直し」に固執 はがき行動、交渉を強化

### 7・29中央行動

## 集団的自衛権は断じて認めない

### 第30回反核リレーがスタート

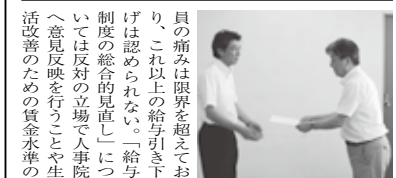


第1ランナーのメンバー

7月16日、兵庫の火リレーがスタートした。兵庫県庁前をスタートした。安倍政権が集団的自衛権行使を容認する中、「憲法を守れ」と県内全自治体を青年女性で走りつなぐ。

午前9時30分にはじまった出発式で平和友好祭の藤原敏也実行委員長(県本部青年部長)は、「集団的自衛権の行使は戦争参加を意味する。私たち青年が戦場

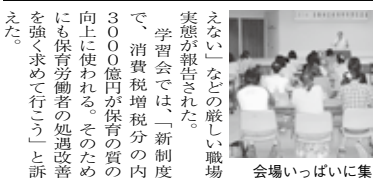
8月上旬と見られる人事院勧告まで「人事院総裁宛要請はがき行動」や対人事院交渉を強化しながらたたかいを進めていく。



員の痛みは限界を超えており、これ以上の給与引き下げは認められない。「給与制度の総合的見直し」については反対の立場で人事院へ意見反映を行うことや生活改善のための賃金水準の確保など6項目にわたって申し入れた。

## 減り続ける正規保育士

淡路地区保育所学習交流集會が7月15日、淡路市内で行われ71人が参加した。子ども子育て支援新制度の概要と問題点をテーマにブロック事務局の根川美佐男さんの講演があった。本会が、いずれも「正規保育士が減り続け、保護者の多様なニーズに十分答えられない。正規保育士の増員を求め、聞き入れてもら



会場いっぱい集った

えいな」などの厳しい職場実態が報告された。学習会では、「新制度で、消費税増税分の内300億円の保育の質の向上に使われる。そのためには保育労働者の処遇改善を強く求めて行く」と訴えられた。

**いまいち座**

こんなものが出てきた

おやすみ漫



衛生医療評 対 交 渉

「医療勤務環境 改善センター」は情報交換を

人員確保、労働条件改善へ



衛生医療評の交渉団

衛生医療評議会は、県に 対して「2014年度兵庫 県の医療・介護の環境改善 を求める要求書」を6月16 日に提出、7月15日に幹事 など10人で交渉、意見交換 を行った。例年なら健康福 争として年度末に行ってい たが、今回は衛生医療評議 会が、今年度末に交渉書 を提出した。

冒頭、飯田雅子議長が「医 療福祉現場の厳しさは、年々 増している。兵庫県として も責任ある指導をお願いし たい」とあいさつを述べた。

要求書は「医療体制の整 備拡充」と「人員確保と労 働条件改善」に大きくくま め、「看護師業務計画に組合 の意見を反映すること」「介 護職の処遇改善を行うこと」などを基本に今後、各 病院に対して医療の充実に 向けて適切な指導が行われ るよう強く要請した。 今年度から取り組まれる 「医療勤務環境改善支援セ ンターの設置」については、 現場で働く職員の方で代表 する労働組合と十分に情報交 換を行い、進捗状況などの 情報を提供を求め終了した。 また、各自自治体・病院で 取り組みを要請している「医 療提供体制の整備に向けた 「新たな財政支援制度」に 対する要請書」を衛生医療 評としても提出し、県内の 自治体病院診療所への必 要な基金が配分されるよう 要請した。

篠山8回目の優勝 神戸市従と近畿大会へ 県本部野球大会



雨の中、篠山対県職労

7月5日と8日加西市で 第36回県本部野球大会が開 催された。篠山市職労が8回 目の優勝をかざった。

大会には神戸市職労、新 温泉町職労、上郡町職、加 西市職、三田市職労、県職 労、姫路市職の9 チームが出場、開会式と第 1試合は雨の中の試合とな ったが熱戦を展開した。 第1日目の予選、Aゾー ンは上部1・2新温泉、加 西1・7三田、新温泉4、 2神戸、Bゾーンは篠山12 1・6県職、宝塚4・2姫路、 2日目の準決勝は新温泉3

各地域ブロックで新入組合員交流会

若年層は低賃金 阪淡B泊りで交流深める

阪淡ブロックは5月31日、6月 1日、洲本市内で青年女性交流会 を開催した。採用から3年目まで の新規組合員を対象に実施し、4 単組39人が参加した。

賃金面では、親と生活している人 が多く、強い不満はなかったもの の、「民間で働いていたときよりも 下がった」と公務職場の若年賃金 が低い実態が出された。その他、「持 ち帰り残業がある」といった実態 も出され、具体的に対応が必要と 課題も確認した。



講演では藤原敏也青年部長が 「新入組合員のみならず」と題 し、労働組合とは何か、どんなこ とをしているかを解説した。 その後、分散会交流が行われ 日々働く中で自分自身がおかし いと感じていることなどを話し合っ た。

また、2日目は「団結縄跳び」 (大縄跳び)が行われ、仲間と ともに汗を流し団結を深めた。

離婚や親権など 相談事例から学ぶ

国際結婚にまつわる支援

平和な環境を考へる 集いでは、在日外国人 の生活相談業務を担う 兵庫国際交流協会労 組(HIA労組)がスキ ルをいかし、集いに集 まる様々な人たちに在日外 国人問題に関心を持って もらうことを目的として 「多文化共生社会」の分 科会を開催している。

今回の会場である丹有 地域では、フィリピン、 中国などの国際結婚が増 えており、それに伴う生 活上の相談や子育て、日 本語教育の支援が必要と なるケースが少なくない ため、「渉外実務(離婚 や親権など)、DV被害 者支援、在留資格など、 国際結婚にまつわる現 状と必要な支援」をテ ーマに大阪のRINKUす

まずは、〇×クイズで、 私たちの外国籍住民の現 状に関する知識がどれく らい曖昧かを確認し たあとで、日本に住む外 国籍住民の「法律や制度



ある、「窓口や職場で外 国籍住民の方が困ってい たら、ぜひ声をかけて」と HIA労組から要望も出 された。

7月4日に神戸市のセンター長 谷で播磨ブロック青年女性部新入 組員交流会が開催された。 ます賃金学習会として、県本部 書記次長の西岡裕さんを講師に迎 え、賃金の基礎を学んだ。 その後、分散会で職場実態を交 流。比較的時間外勤務は少ないと

6月20日から21日に、豊岡市の シルク温泉やまびこで但丹ブロッ



「おすすすめ安心タイプ」は

一般補償 + 付随諸費用補償



大切な愛車だから さまざまな損害に備えておきたい。 事故はもとより、盗難、いたずら、 身の回り品の損害まで補償!

詳しくは組合まで お問い合わせください 全労済 自治労共済本部

# 自治ひろこ

1436号

2014. 8. 15

月2回(1日・15日)発行 定価10円  
購読料は組合費に含まれる。  
自治労兵庫本部  
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-6 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0820  
E-mail: jhyogo@kchiro-hyogo.jp

## 人事院勧告特集号

この「自治ひろこ」は、人事院勧告の特集号となります。内容について不明な点がありましたら、自治労兵庫本部までお問い合わせ下さい。

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-6 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0820  
E-mail: jhyogo@kchiro-hyogo.jp

# 月例給・一時金7年ぶり増も

## 「給与制度の総合的見直し」を一方的に勧告

人事院は8月7日、月例給を0.27%・10990円、一時金を0.15%引上げる勧告を行った。その一方で、「給与制度の総合的見直し」と称し、俸給表平均2%（0.4%）引下げと地域手当等への配分、さらに高年齢職員への賃金抑制の見直しなどを2015年4月から実施するよう勧告した。本年の給与改定に関する勧告・報告については、月例給・一時金とも7年ぶりの引上げ改定となるが、給与制度の総合的見直しについては、恣意的に生み出した改革を用いて、給与水準引下げありきで本年の勧告を行ったことは極めて遺憾である。自治労は、2014確定勧告においては、公民教養マンス分給料表を中心に確実かつ広範に配分することを求め、同時に「給与制度見直しの阻止」を重要課題と位置づけ、人事委員会対策を前面重視し、要請・交渉に固く取り組むとともに、首长との協議の開始と交渉体制の確立などを図るとしている。

与党の賛成が過半数に達し、議院運営法改正案が衆議院で可決された。自治労は、この改正案が、給与制度の総合的見直しを促進するものとして、極めて遺憾である。自治労は、この改正案が、給与制度の総合的見直しを促進するものとして、極めて遺憾である。自治労は、この改正案が、給与制度の総合的見直しを促進するものとして、極めて遺憾である。

平成26年7月1日 定額給付金の支給  
衆議院議員 伊吹純毅 議員の給与改定  
参議院議員 山田隆司 議員の給与改定  
内閣府大臣 菅義偉 議員の給与改定  
人事院職員 1級事務官 別紙第一

職員給与等に関する報告  
人事院は、本年7月1日、月例給を0.27%、一時金を0.15%引上げる勧告を行った。その一方で、「給与制度の総合的見直し」と称し、俸給表平均2%（0.4%）引下げと地域手当等への配分、さらに高年齢職員への賃金抑制の見直しなどを2015年4月から実施するよう勧告した。本年の給与改定に関する勧告・報告については、月例給・一時金とも7年ぶりの引上げ改定となるが、給与制度の総合的見直しについては、恣意的に生み出した改革を用いて、給与水準引下げありきで本年の勧告を行ったことは極めて遺憾である。自治労は、2014確定勧告においては、公民教養マンス分給料表を中心に確実かつ広範に配分することを求め、同時に「給与制度見直しの阻止」を重要課題と位置づけ、人事委員会対策を前面重視し、要請・交渉に固く取り組むとともに、首长との協議の開始と交渉体制の確立などを図るとしている。

## 声 明

1. 人事院は、本年7月1日、月例給を0.27%、一時金を0.15%引上げる勧告を行った。その一方で、「給与制度の総合的見直し」と称し、俸給表平均2%（0.4%）引下げと地域手当等への配分、さらに高年齢職員への賃金抑制の見直しなどを2015年4月から実施するよう勧告した。本年の給与改定に関する勧告・報告については、月例給・一時金とも7年ぶりの引上げ改定となるが、給与制度の総合的見直しについては、恣意的に生み出した改革を用いて、給与水準引下げありきで本年の勧告を行ったことは極めて遺憾である。自治労は、2014確定勧告においては、公民教養マンス分給料表を中心に確実かつ広範に配分することを求め、同時に「給与制度見直しの阻止」を重要課題と位置づけ、人事委員会対策を前面重視し、要請・交渉に固く取り組むとともに、首长との協議の開始と交渉体制の確立などを図るとしている。









(単位:百円)

Table with 10 columns (1-10) and 35 rows (1-35). Each column contains numerical data representing financial metrics. The table is organized into 10 sections, each with a header row and 35 data rows. The data includes values for various categories, likely related to public works or administrative costs, with some cells containing negative values indicating adjustments or losses.



行政職俸給表 (一)

Table with columns for grade (1-5), salary type (e.g., 月給, 年給), and salary amount. It lists various administrative positions and their corresponding pay scales.



行政職俸給表 (二)

(単位: 百円)

Table with columns for grade (1-5), step (1-10), and salary. It lists various administrative positions and their corresponding pay scales.

別表第6 地域手当の支給地域及び支給割合

地域(支給割合)	支給地域
2級地(10%)	大阪府 大阪市 守口市
3級地(15%)	大阪府 池田市 西宮市 兵庫県 高槻市 門真市 芦屋市
4級地(12%)	京都府 京田辺市 徳川市 大阪府 豊中市 吹田市 羽曳野市 兵庫県 神戸市 三木市 天理市
5級地(10%)	滋賀県 大津市 草津市 栗東市 京都府 京都市 枚方市 茨木市 八尾市 兵庫県 芦屋市 東大阪市 交野市 徳島県 徳島市 伊予市 三田市 兵庫県 姫路市 大和郡山手
6級地(8%)	滋賀県 彦根市 守山市 甲賀市 京都府 宇治市 向日市 木津川市 大阪府 岸和田市 泉大津市 泉佐野市 兵庫県 三木市 赤松市 阪南市 徳島県 田原町 鳴門 太子町 兵庫県 明石市 大和郡田舎町 赤穂市 徳島市 香芝市 和歌山県 王寺町 和歌山市 橋本市
7級地(3%)	滋賀県 彦根市 東近江市 大阪府 高槻市 加古川市 三木市 兵庫県 姫路市 宇陀市

(注) 本表は平成20年4月1日現在の地域を表示しており、実際の指定は施行日(平成27年4月1日予定)現在の地域による。

① 国家公務員の再任用  
 定年退職後、再任用が支給されたが、再任用の要件が厳格化され、再任用の状況が厳格化された。平成25年度は再任用の状況が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

② 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

③ 給与と勤務期間の関係  
 給与と勤務期間の関係については、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

④ 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

① 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

② 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

③ 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

④ 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

⑤ 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

① 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

② 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

③ 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

④ 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

⑤ 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

① 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

② 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

③ 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

④ 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。

⑤ 再任用の取扱い  
 再任用の取扱いについては、再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。再任用の要件が厳格化された。



給与動告の骨子

○ 本年の給与動告のポイント

月例給、ボーナスともに7年ぶりの引上げ

- ① 民間給与との較差(0.27%)を埋めるため、世代間の給与配分の観点から若年層に重点を置きながら俸給表の水準を引上げ
- ② ボーナスを引上げ(0.15月分)、勤務実績に応じた給与の推進のため勤労手当に配分

俸給表や諸手当の在り方を含めた給与制度の総合的見直し

- ① 地域の民間給与水準をふまえて俸給表の水準を平均2%引下げ
  - ② 地域手当の見直し(級地区区分の見直し、新データによる支給地域の指定見直し)
  - ③ 職務や勤務実績に応じた給与配分(広域異動手当、単身赴任手当の引上げ等)
- \* 平成27年4月から3年間で実施。俸給引下げには3年間の経過措置。段階的实施に必要な原資確保のため、平成27年1月の昇給を1号俸抑制

I 給与動告制度の基本的考え方

- ・ 国家公務員給与は、社会一般の情勢に適切するように国会が随時変更することができる。その変更に関し必要な動告・報告を行うことは、国家公務員法に定められた人事院の責務
- ・ 動告は、労働基本権制約の代償措置として、国家公務員に対し適正な給与を確保する機能を有するものであり、能率的な行政運営を維持する上での基盤
- ・ 公務には市場の抑制力という給与決定上の制約がないことから、給与水準は、経済・雇用情勢等を反映して労使交渉等によって決定される民間の給与水準に準拠して定めることが最も合理的

II 民間給与との較差等に基づく給与改定

1 民間給与との比較

約12,400民間事業所の約50万人の個人別給与を实地調査(完了率88.1%)  
 \* 民間の組織形態の変化に対応するため、本年から基幹となる役職段階(部長、課長、係長、係員)の間に位置付けられる従業員の個人別給与等を把握し官民の給与比較の対象に追加

<月例給> 公務と民間の4月分給与を調査し、主な給与決定要素である役職段階、勤務地域、学歴、年齢の同じ者同士を比較

- 民間給与との較差 1,090円 0.27%(行政職(一)…現行給与 408,472円 平均年齢 43.5歳)

(俸給 988円 はね返り分(注) 102円)  
 (注) 俸給等の改定に伴い諸手当の額が増減する分

<ボーナス> 昨年8月から本年7月までの直近1年間の民間の支給実績(支給割合)と公務の年間の支給月数を比較

- 民間の支給割合 4.12月(公務の支給月数 3.95月)

2 給与改定の内容と考え方

<月例給>

(1) 俸給表

- ① 行政職俸給表(一)
  - 改定率 平均0.3% 世代間の給与配分の見直しの観点から若年層に重点を置いて改定
  - 初任給 民間との間に差があることをふまえ1級の初任給を2,000円引上げ
- ② その他の俸給表 行政職(一)との均衡を基本に改定(指定職俸給表は改定なし)

(2) 初任給調整手当

医療職俸給表(一)の改定状況を勘案し改定

(3) 通勤手当

交通用具使用者に係る通勤手当について、民間の支給状況等をふまえ使用距離の区分に応じ100円から7,100円までの幅で引上げ

(4) 寒冷地手当

新たな気象データ(メッシュ平均値2010)に基づき、支給地域を見直し

<ボーナス>

民間の支給割合に見合うよう引上げ 3.95月分→4.10月分  
 勤務実績に応じた給与を推進するため引上げ分を勤労手当に配分(一般の職員の場合の支給月数)

		6月期	12月期
26年度	期末手当	1,225月(支給済み)	1,375月(改定なし)
	勤労手当	0.675月(支給済み)	0.825月(現行0.675月)
27年度	期末手当	1,225月	1,375月
	以降	0.75月	0.75月

【実施時期等】

- ・ 月例給：俸給表、初任給調整手当及び通勤手当は平成26年4月1日
- ・ 寒冷地手当は平成27年4月1日(所要の経過措置)
- ・ ボーナス：法律の公布日

III 給与制度の総合的見直し

次のような課題に対応するため、俸給表、諸手当の在り方を含めた給与制度の総合的見直しを動告

○ 民間賃金の低い地域における官民給与の実情をより適切に反映するための見直し

- 官民の給与差をふまえた50歳台後半層の水準の見直し
- 公務組織の特性、円滑な人事運用の要請等をふまえた諸手当の見直し

1 地域間の給与配分の見直し、世代間の給与配分の見直し

【俸給表等の見直し】

- ① 行政職俸給表(一) 民間賃金水準の低い2県を一つのグループとした場合の官民較差と全国の較差との率の差(2.18ポイント(平成24年~26年の平均値))をふまえ、俸給表水準を平均2%引上げ。1級(全号俸)及び2級の初任給に係る号俸は引下げなし。3級以上の級の高位号俸は50歳台後半層における官民の給与差を考慮して最大4%程度引下げ。40歳台や50歳台前半層の勤務実績に応じた昇給機会確保の観点から5級・6級に号俸を増設
- ② 指定職俸給表 行政職(一)の平均改定率と同程度の引下げ改定
- ③ ①及び②以外の俸給表 行政職(一)との均衡を基本とし、各俸給表における50歳台後半層の在職実態等にも留意しつつ引下げ。医療職(一)については引下げなし。公安職等について号俸を増設
- ④ その他 委員、顧問、参与等の手当の改定、55歳超職員(行政職(一)6級相当以上)の俸給等の1.5%減額支給措置の廃止等

【地域手当の見直し】

- ① 級地区区分・支給割合 級地区区分を1区分増設。俸給表水準の引下げに合わせ支給割合を見直し  
 1級地20%、2級地16%、3級地15%、4級地12%、5級地10%、6級地6%、7級地3%

\* 賃金指数93.0以上の地域を支給地域とすることを基本(現行は95.0以上)

\* 1級地(東京都特別区)の支給割合は現行の給与水準を上回らない範囲内(全国同一水準の行政サービスの提供、円滑な人事管理の要請等をふまえて地域間給与の調整には一定の限界)

- ② 支給地域 「賃金構造基本統計調査」(平成15年~24年)のデータに基づき見直し(級地区区分の変更は上下とも1段階まで)

- ③ 特例 1級地以外の最高支給割合が16%となることに伴い、大規模空港区域内の官署に在勤する職員に対する支給割合の上限(現行15%)、医師に対する支給割合(同)をそれぞれ16%に改定

2 職務や勤務実績に応じた給与配分

- (1) 広域異動手当 円滑な異動及び適切な人材配置の確保のため、広域的な異動を行う職員の給与水準を確保。異動前後の官署間の距離区分に応じて、300km以上は10%(現行6%)、60km以上300km未満は5%(現行3%)に引上げ
- (2) 単身赴任手当 公務が民間を下回っている状況等をふまえ、基礎額(現行23,000円)を7,000円引上げ。加算額(現行年間9回の帰老回数相当)を年間12回相当の額に引上げ、遠距離異動に伴う経済的負担の実情等をふまえ、交通距離の区分を2区分増設
- (3) 本府省業務調査手当 本府省における人材確保のため、係長級は基準となる俸給月額額の6%相当額(現行4%)、係員級は4%相当額(現行2%)に引上げ
- (4) 管理職員特別勤務手当 管理監督職員が平日深夜に及ぶ長時間の勤務を行っている実態。災害への対応等の臨時・緊急の必要によりやむを得ず平日深夜(午前0時から午前5時までの間)に勤務した場合、勤務1回につき6,000円を超えない範囲内の額を支給
- (5) その他 人事評価結果を反映した昇給効果の在り方については、今後の人事評価の運用状況等をふまえつつ引き続き検討。技能・業務関係職種給与については、今後もその在職実態や民間の給与等の状況を注視

3 実施時期等

- 俸給表は平成27年4月1日に切替え
- 地域手当の支給割合は段階的に引上げ、その他の措置も平成30年4月までに計画的に実施
- 激変緩和のための経過措置(3年間の現給保障)
- 見直し初年度の改正原資を得るため平成27年1月1日の昇給を1号俸抑制

IV 雇用と年金の接続及び再任用職員の給与

○ 雇用と年金の接続

- ・ 公務の再任用は短時間が約7割、補充的な業務を担当することが一般的
- ・ 平成28年度に年金支給開始年齢が62歳に引き上げられ、再任用希望者が増加する見込み。職員の能力・経験の公務外での活用、業務運営や定員配置の柔軟化による公務内での職員の活用、60歳前からの退職管理を含む人事管理の見直しを進めていく必要
- ・ 本院としても引き続き、再任用の運用状況や問題点の把握に努めるとともに、民間企業における継続雇用等の実情、定年前も含めた人事管理全体の状況等を詳細に把握し、意見の申出(平成23年)をふまえ、雇用と年金の接続のため適切な制度が整備されるよう積極的に取組

○ 再任用職員の給与

- ・ 転居を伴う異動をする職員の増加と民間の支給状況をふまえ再任用職員に単身赴任手当を支給【実施時期：平成27年4月1日】
- ・ 本年初めて公的年金が全く支給されない民間の再雇用者の個人別給与額を把握。今後もその動向を注視するとともに、各府省の今後の再任用制度の運用状況をふまえ、再任用職員の給与の在り方について必要な検討





# 7月に公企評を結成

## 36協定締結、議長に吉谷さん

但馬丹波ブロックでは、県本部方針に基づきブロック連携した取り組みを進めてきた。3年前より交流会を開き、今年3月7日の交流会では役員体制を協議し、更に5月23日の交流会において具体的に幹事会制について確認する中、7月18日に新温泉町「ゆめ春来」において、水道下水道等公営企業職場で働く各単組組合員を中心に、但馬丹波ブロック公営企業評議会(略称「但馬ブロック公企評」)を結成した。今後は、但馬ブロック公企評として総会方針に基づき、



ブロック旗を掲げる吉谷議長と古谷事務局長

### 神戸市従が全国大会 南あわじ、篠山は惜敗 近畿地連スポーツ大会



優勝した神戸市従のメンバー

第36回自治労近畿地連スポーツ大会が、8月4～5日にかけて、京都市で行われた。バレーボール大会は、ハンナリーザアリーナで行われ、南あわじ市職労は1回戦で東近江市職労と対戦し、接戦の末、セットカウント1対2で敗れた。結果、豊中市職が優勝した。野球大会は、わかさスタジアム等で行われ、篠山市職労は1回戦で自治労寝屋川と対戦し2対4で惜敗した。神戸市従は決勝戦で自治労寝屋川に、5対1で勝利し、2年連続3度目の優勝を果たした。優勝した神戸市従は、9月に北海道で開催される全国大会への出場権を獲得した。

### 「真摯に対応」を確認 尼崎市バス民間移譲問題

尼崎市は、市営バス事業について2016年3月末をもって一括して民間事業者に移譲することを決定し、その準備が進められている。しかし、事業移譲まで2年を切っているにも関わらず、ほとんど職員の出遇に関する協議が行われておらず、不安を抱えながら働かざるを得ない状況となっている。こうした中で、県本部は「尼崎市交通局民間移譲対策」をまとめた。この中で、県本部は「真摯に対応」を確認し、8月19日には、県本部都市交評、尼崎交通労組連名で有川康裕事業管理部長に対して「尼崎市交通局事業民間移譲に関する要求書」を提出した。提出にあたっては、五百旗頭英裕県本部都市交評議長は「職員の不安を私しよくできておらず、誠意ある対応を強く求めると厳しく申し入れを行い、当局からは、「真摯に対応を進めていく」との回答を引き出し、早急に具体的な協議を進めていくことを確認した。

### 阪淡ブロック (水道)ボルトや夜間照明 安全衛生委の開催(給食)

阪神淡路ブロックでは、水道部が7月25日に尼崎市神崎水場で、現業評議会が8月7日に淡路市給食センターで、それぞれ職場安全点検活動を実施した。神崎水場(写真)では、施設概要、安全衛生の取り組みの説明を受けた後、各施設を巡視。参加者からは、フェンスのボルトの老朽化や夜間照明について指摘があった。安全衛生委員会の定期開催や各施設の安全対策など、他施設の模



神崎水場(写真)では、施設概要、安全衛生の取り組みの説明を受けた後、各施設を巡視。参加者からは、フェンスのボルトの老朽化や夜間照明について指摘があった。安全衛生委員会の定期開催や各施設の安全対策など、他施設の模

### 各ブロックで職場安全点検

7月17日に播磨ブロック医療評は高砂市大病院で点検活動を実施した。はじめに高砂市職より病院の概要について説明を受けた。診療科目19科で一般病棟は274床ありICUやCCU、人間ドック、緩和ケアなど合わせ、全体で290床となること。概要説明の後、ブロック医療評幹事を病院内の点検活動を実施した。この施設は、院内保意識を出した。院内保育施設に関して、柵の高さや庭の鉄骨が危険。廊下に物が多いところもあり危険などの指摘があった。また、脱脂用のゴミ箱があるやエレベーターのみが患者用と職員用に分かれておらず、職員など自分たちの職場でも高砂市民病院のよいところをいかしていきたいなどの

### 廊下に物が多い(病院) 清掃は台風接近で中止

274床ありICUやCCU、人間ドック、緩和ケアなど合わせ、全体で290床となること。概要説明の後、ブロック医療評幹事を病院内の点検活動を実施した。この施設は、院内保意識を出した。院内保育施設に関して、柵の高さや庭の鉄骨が危険。廊下に物が多いところもあり危険などの指摘があった。また、脱脂用のゴミ箱があるやエレベーターのみが患者用と職員用に分かれておらず、職員など自分たちの職場でも高砂市民病院のよいところをいかしていきたいなどの

### 結露対策を(水源地) (給食)台車の改良必要

但馬丹波ブロックでは、公営企業評議会が7月18日に新温泉町新市水源地の点検を実施した。この施設は無人の施設であり、機械設備を中心に点検を行った結果、室内には明るく、全体的に照度が保たれており室内通路は整理整頓がされている。また、現業評議会は8月6日に豊岡市出石小学校給食センター(写真)の職場点検活動を実施した。この施設は昨年稼働した新施設であり、機械設備を中心に点検を行った結果、適正な空調管理のもと、調理室出入口には自動ドアが完備され、動線が動きやすいように設計されている。一方、一部通路についてコンテナ搬入時に接触した跡があった。



但馬丹波ブロックでは、公営企業評議会が7月18日に新温泉町新市水源地の点検を実施した。この施設は無人の施設であり、機械設備を中心に点検を行った結果、室内には明るく、全体的に照度が保たれており室内通路は整理整頓がされている。また、現業評議会は8月6日に豊岡市出石小学校給食センター(写真)の職場点検活動を実施した。この施設は昨年稼働した新施設であり、機械設備を中心に点検を行った結果、適正な空調管理のもと、調理室出入口には自動ドアが完備され、動線が動きやすいように設計されている。一方、一部通路についてコンテナ搬入時に接触した跡があった。

### テーマは「落書き、似顔絵」 県本部まんがコンクール募集中

- ①テーマ 「似顔絵」「落書き」
- ②応募メ切 9月19日(金)
- ③応募対象 組合員、組合員の家族、退職者
- ④賞金 入賞者には、商品券を贈呈
- ⑤作品規格 B5版。1コマ・4コマ自由、カラー・白黒 各自由
- ⑥応募点数 1人3点以内
- ⑦作品送り先 県本部教宣部まで



要求書を提出する五百旗頭さん  
「真摯に対応を進めていく」との回答を引き出し、早急に具体的な協議を進めていくことを確認した。

### 公務員賠償責任保険制度

地方公務員の訴訟リスクは、ますます高まっています。

保険料・補償内容(支払限度額)	タイプS (30万円)	タイプA (100万円)	タイプB (300万円)	タイプC (500万円)
年間の補償額	7,440円	6,240円	5,040円	3,840円
法律上の損害賠償金	3億円	1億円	5,000万円	3,000万円
訴訟対応費用	500万円			
知事対応費用	500万円			

### 2013年度制度改定のお知らせ

- 国民生活保護法による監督委員の選任
- 地方自治法243条の2第1項による職員の選任
- 労働時間短縮2割(1/2)による給与の削減
- セワハラ・パワハラ等の被害者に対する支援

加入対象者は自治労兵庫県本部かつ地方公務員団体または特定地方独立行政法人(公務員型)に所属する職員(特別職、教員、警察官は除く)となります。今年度から加入となります。(知事・副知事・市長・副市長・議員)以外の特別職は取扱店または引当保険会社までお問い合わせください。

加入受付締切日 2013年9月13日(金)

## 12月17日 「高砂市職不当処分撤回」を求め決起集会

播磨プロック共闘会議は12月17日、高砂市役所南庁舎内会議室で「高砂市職不当処分撤回闘争決起集会」を開催した。国による給与削減強制問題で各単組が交渉を行っていた今年6月、高砂市当局は「一律7.5%カットを行う」との回答に終始した。年収ベースで換算すると若年層のカット率の方が高くなることから、高砂市職は国と同様に「若年層に配慮したカット率」を求めたが、当局は一律カットに固執。やむなく同市職は1時間間のストライキを行った。

果本部、播磨プロック、市職の三者で6月24日に市長へ申し入れを行い、7月23日には「双方が検証・総括したうえで労使関係の構築について協議する」と文書回答があった。しかしその後の協議がなされないまま、当局は9月27日、委員長(当時)に戒告をはじめ組合員247人に処分を発令した。11月18日、三者は交渉を申し入れたが、指定日が過ぎても協議日時の設定すら行われず、今回の決起集会にいらした。

集会を目前に控えた12月16日、当局から「副市長との協議を持ちたい」との打診があり、播磨プロックの宮本誠之議長、市職労の山下忠之委員長、石野功書記長で協議を行った結果、副市長から交渉日程の遅れに列する謝罪と「市長交渉を設定する」との回答を受け、17日の屋外集会を屋内に変更して実施した。



## 労使対等の原則を無視するな!

播磨管内から22単組99人が駆けつけ、会場を埋めた。

果本部の本多義弘委員長は、「若年層を守る」という組合の主眼は当然、団結を強化し、粘り強くたたかおう」と激励のあいさつを行った。播磨プロックの宮本議長は、先日の副市長との協議で、①当局の説明責任が果たされていない②合意に向けた努力が行われていない③職員は7.5%カットにもかかわらず市長は5%カット。ストに追い込んだ市長の責任の所在④自治労の全国闘争として取り組んだ結果、労使合意の努力を行わず、ストに追い込んだ市長の責任のみ。事の重大さの認識を、と4点にわたって訴えたことを説明した。市職労の石野書記長は、「給料を勝手に下げて、文句をいえば処分という理不尽な手法がまかり通れば、今後働く者の権利はどうにでもできることになる。労使対等の原則を無視した市長の姿勢は大きな問題」と、闘争の根柢を強調した。

中播地区(神河町職)、西播地区(宍粟市職労)、北播地区(加東市職労)の仲間が、「高砂市当局は労使対等をわかっていない」「他の自治体は若年層に配慮している。当然だ」などと、高砂市職のたたかいを激励した。

### 【決起集会で確認した決議文】

#### 決議文

高砂市当局は、国からの要請を受けて独自の全員一律7.5%カットを労使の合意なく市議会に強行提案したため、高砂市職は6月14日に1時間ストライキを実施した。

東播磨においては他の各自治体では削減措置を行わなかった。また、県下においても他の単組は緩和措置を取るなどして労使合意で決着している。交渉において高砂市職は削減やむなしと譲歩し合意点を見出そうとしたにもかかわらず、「全員一律削減」という組合として到底呑めない提案に固執した高砂市当局の姿勢を疑わざるを得ない。

ストライキ後、果本部、播磨プロック、高砂市職は連名で高砂市長に対し、「協議の場を設定し、今後に向けた誠意ある対応を」申し入れた。副市長名で「新たな関係の構築についての協議を行うことについて同意します」と回答したにもかかわらず、その後一切協議も行わずに、9月27日に突如として高砂市職の当時の委員長に戒告をはじめ組合員247人に処分を発令した。ストライキに至った理由は、交渉で何ら具体的な譲歩案を示さなかった高砂市当局にあり、市長とそもそも交渉において、労使は対等の立場であり、労働条件の一方的な不利益変更は不当労働行為である。高砂市の一方的な賃金カットは使用者としての高砂市長の責任が問われる。高砂市当局は労使正常化に向けた努力を行うべきであり、早期に組合との交渉に忠じなければならぬ。

自治労播磨プロックは、高砂市職の「処分撤回と一方的な賃金カットの復元」を求めたたかいに連帯し、ともにたたかいをすすめていく。  
以上、決議する。

2013年12月17日  
自治労播磨プロック 共闘会議